

高3

2025年度

EVOLUTION

年間指導カリキュラム



現役生対象 大学受験指導

研伸館

<https://www.kenshinkan.net>

2025年度 開講講座&目次

	講 座	掲載ページ	
英語	高3東大京大特選英語	8	
	高3京大 阪大・医学部英語	10	
	高3阪大 神大英語	12	
	高3関関 同立英語	14	
	高3スタンダード英語	16	
	高3英作文法演習	18	
	高3英作文法 ESSENTIALS	20	
数学	高3東大京大特選理系数学	22	
	高3東大京大特選文系数学・高3東大京大文系数学	24	
	高3京大 阪大・医学部理系数学	26	
	高3京大 文系数学	28	
	高3阪大 神大理系数学*・高3スタンダード理系数学	30	
	高3阪大 神大文系数学	32	
	高3スタンダード文系数学【～7月期】	34	
	高3共通テスト数学【9月期～】	36	
	高3数学理系HS【～7月期】	38	
国語	高3東大 国語	●	40
	高3京大 国語	●	42
	高3阪大 神大 国語	●	44
	高3共通テスト 国語	●	46
	高3関関 同立 現代文	●	48
	高3関関 同立 古文	●	50
		高3東大京大特選物理	52
理科	高3京大 阪大・医学部物理	54	
	<OD>高3京大 阪大・医学部物理 基礎構築【～7月期】	56	
	高3阪大 神大物理	●	58
	高3東大京大特選化学	60	
	高3京大 阪大・医学部化学	62	
	<OD>高3京大 阪大・医学部化学 基礎構築【～7月期】	64	
	高3阪大 神大化学	●	66
	<OD>光速シリーズ物理基礎	●	68
	<OD>光速シリーズ化学基礎	●	69
	<OD>光速シリーズ生物基礎	●	70
	<OD>光速シリーズ地学基礎	●	71
社会	高3論述 日本史	●	72
	高3早慶 関関 同立 日本史	●	74
	高3共通テスト 日本史	●	76
	高3日本史	●	78
	高3論述 世界史【春期・夏期・9月期～】	●	80
	高3早慶 関関 同立 世界史	●	82
	高3共通テスト 世界史	●	84
	高3共通テスト 地理	●	86
	高3論述 地理【9月期～】	●	88
	高3共通テスト 地理演習【9月期～】	●	90
	<OD>速習講義 共通テスト歴史総合	●	92
	<OD>速習講義 共通テスト地理総合	●	93
	<OD>速習講義 共通テスト倫理	●	94
	<OD>速習講義 共通テスト政治・経済	●	95
<OD>速習講義 共通テスト公共	●	96	

※●がついている講座は、クラス判定に関係なく、研伸館の校内生であれば誰でも受講可能な「ランクフリー講座」です。

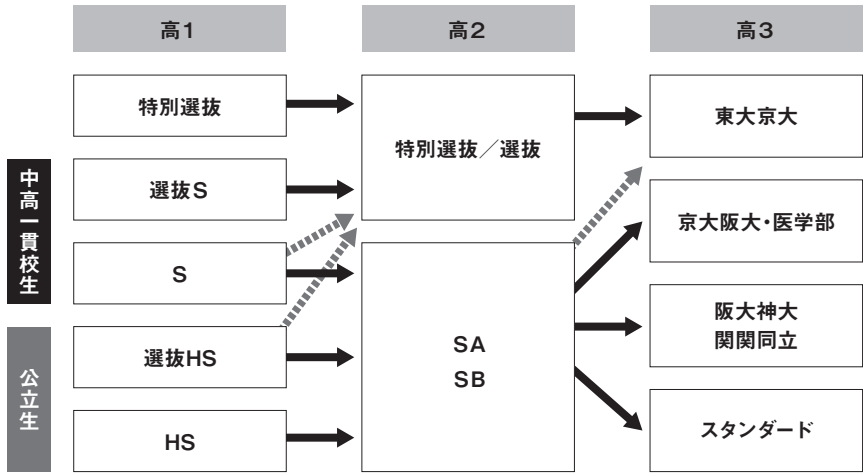
※★西宮校は「高3阪大理系数学」・「高3神大 国私立大理系数学」

高3クラス設定

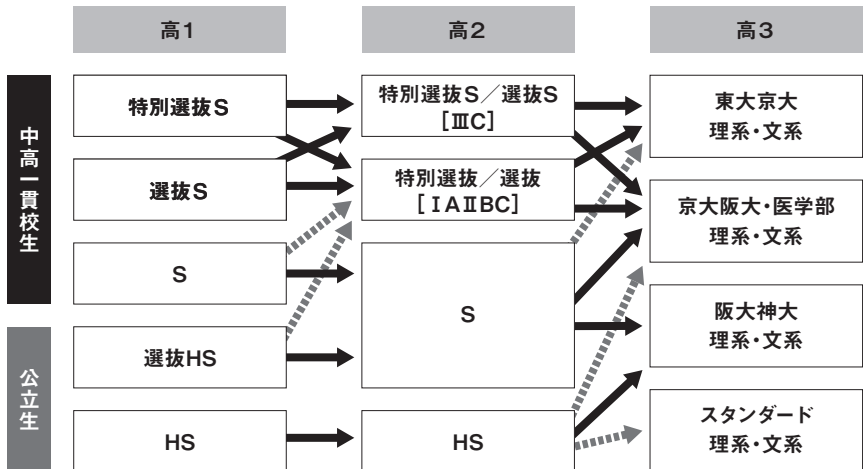
高3では、志望大学レベル別のクラス設定で、本格的な受験対策を行います。
各大学で実際に出題されるレベルの問題に対応できる思考力や実践力を鍛えながら、
知識の確認も行うなど、大学入試で求められる力を総合的に身に付けます。

クラス	レベル・対象
東大京大	東大・京大・旧帝大医学部レベル
京大阪大・医学部	京大・阪大・国公立大医学部レベル
阪大神大	阪大・神大レベル
共通テスト	大学入学共通テスト受験者対象
関関同立	関関同立レベル
スタンダード	中堅国公立大・私立大レベル

英語



数学



講座内容

カリキュラム

研伸館で開講している基幹講座の講座案内です。
(ただし、講習講座などは除きます)

■ 講座のテーマや指導内容の概要

高3東大京大特選英語

講座案内 高1・高2 英語特別選抜で一貫して追求してきた、「英語で発想し、英語で問題解決する『英語脳』の育成」の最終段階に当たるのが本講座です。時には大学教養レベルのオリジナル素材をまじえて知的枠組みを広げ、大学入学後も役立つ実践的な英語力を目指します。また、東京大学や京都大学といった最難関大学が求める学力を検証した上で、その合格ラインを余裕で超えるための質の高い演習も行います。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、国立公立大学医学部医学科など

使用教材 【テキスト】EXPLORATION III [至高編] / 【補助教材】『ぼんぼん出てくる英単語』（通称「ぼん単」）

指導内容と目的

概 論 ▶ 知的好奇心を刺激する問題に立ち向かう

研伸館の最高レベルに位置づけられる本講座は、来たるべき最難関大学入試を突破することをあくまで「通過点」と位置づけ、英語のネイティブ・スピーカーと限りなく近い発想で英語を運用する「英語脳」を育成することを目的としています。本講座ではその最終段階として、東京大学や京都大学をはじめとする最難関大学の難易度を

■ 毎回の授業の指導予定項目を掲載

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			語彙	文法構文	英文和訳	読解総合	和文英訳	英作文
3月期	第1回	東大京大判定テスト①	●		●	●	●	
	第2回	論説文読解 / 和文英訳	●		●	●	●	
	第3回	論説文読解 / 和文英訳 / 英作文	●		●	●	●	●
春期講習		論説文読解 / 和文英訳	●		●	●	●	
		論説文読解 / 和文英訳 / 英作文	●		●	●	●	●
		論説文読解 / 語文訂正 / 和文英訳 / 英作文	●	●	●	●	●	●
		論説文読解 / 和文英訳	●		●	●	●	
4月期	第1回	東大京大判定テスト②	●		●	●	●	
	第2回	論説文読解 / 和文英訳	●		●	●	●	
	第3回	論説文読解 / 小説読解 / 和文英訳	●		●	●	●	
5月期	第1回	論説文読解 / 語文訂正 / 和文英訳	●	●	●	●	●	
	第2回	論説文読解 / 和文英訳 / 英作文	●		●	●	●	●
	第3回	東大京大判定テスト③	●		●	●	●	
6月期	第1回	論説文読解 / 和文英訳	●		●	●	●	
	第2回	小説読解 / 和文英訳 / 英作文	●		●	●	●	●
	第3回	論説文読解 / 語句整理 / 和文英訳	●	●	●	●	●	

高3

英語

数学

国語

ここに書いてある内容を十分に検討し、自分にあった講座を納得した上で受講していただければ学力向上に非常に有効となるでしょう。

高3東大京大特選英語

講座案内 高1・高2英語特別選抜で一貫して追求してきた、「英語で発想し、英語で問題解決する『英語脳』の育成」の最終段階に当たるのが本講座です。時には大学教養レベルのオリジナル素材をまじえて知的枠組みを広げ、大学入学後も役立つ実践的な英語力を目指します。また、東京大学や京都大学といった最難関大学が求める学力を検証した上で、その合格ラインを余裕で超えるための質の高い演習も行います。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、国立大学医学部医学科など

使用教材 【テキスト】『EXPLORATION Ⅲ [至高編]』／【補助教材】『ぼんぼん出てくる英単語』（通称「ぼん単」）

指導内容と目的

概論 ▶ 知的好奇心を刺激する問題に立ち向かう

研伸館の最高レベルに位置づけられる本講座は、来たるべき最難関大学入試を突破することをあくまで「通過点」と位置づけ、英語のネイティブ・スピーカーと限りなく近い発想で英語を運用する「英語脳」を育成することを目的としています。本講座ではその最終段階として、東京大学や京都大学をはじめとする最難関大学の難易度を想定した最高難度の論説文読解、小説読解、大意要約、和文英訳、自由英作文などに取り組み、英語の運用能力を最大限まで高めていきます。

3月～夏期 ▶ 英語運用能力の総点検と伝統的設問形式の攻略

この時期は、高校2年間で培ってきた英語運用能力が入試実践レベルに耐えうるかどうかを授業内演習（東京大判定テスト）で確認しつつ、「英文和訳」や「和文英訳」といった伝統的な出題形式への対処法を確立していきます。本講座で扱う英文素材は、英語という言葉の背後にある歴史や文化を垣間見ることのできるものを厳選しています。内容理解が進むにつれて、英語のネイティブ・スピーカーのマインドセットに対する理解も深まり、それが初見の英文に対する予備知識として大いに役立つことになるでしょう。リスニングについては、テキスト掲載の英文にはリスニング用音源を用意しています（一部を除きます）。授業の予習・復習段階でリスニングを組み込むことで、学習効率アップを図ることができます。

9月～12月 ▶ より実践的な英語運用能力の開発

この時期からは設問形式の種類を幅を広げて、「内容説明」や「大意要約」、筆者の意見を踏まえての英語での「意見陳述」など、インプットとアウトプットの力を様々な形で鍛え上げていきます。ただし、設問形式の変化は求められる力の変化を意味しているわけではありません。本講座で身につけてきた英語運用能力はもっと根源的で本質的なものなので、筆者の論点と出題者の意図を正しく汲み取ることができれば、たとえ初見の設問形式であったとしても恐るるに足りません。実際の入試本番で出題形式が変更されていたとしても揺らぐことのない絶対的な自信を獲得するのが、この時期の最大の課題となります。

冬期・直前期 ▶ 受験大学に焦点を絞る

冬期講習では共通テスト前の記述力最終チェックとして「実践演習」に、共通テスト後は受験大学に対応する設問形式に特化した「最終チェック講義」に取り組みます。また、受験直前の総決算として、「東大英語ファイナル演習」「京大英語ファイナル演習」など、大学別の問題演習に取り組みます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			語彙	文法構文	英文和訳	読解総合	和文英訳	英作文	
3月期	第1回	東大京大判定テスト①	●		●	●	●		
	第2回	論説文読解/和文英訳	●		●	●	●		
	第3回	論説文読解/和文英訳/英作文	●		●	●	●	●	
春期講習		論説文読解/和文英訳	●		●	●	●		
		論説文読解/和文英訳/英作文	●		●	●	●	●	
		論説文読解/誤文訂正/和文英訳/英作文	●	●	●	●	●	●	●
		論説文読解/和文英訳	●		●	●	●	●	
4月期	第1回	東大京大判定テスト②	●		●	●	●		
	第2回	論説文読解/和文英訳	●		●	●	●		
	第3回	論説文読解/小説読解/和文英訳	●		●	●	●		
5月期	第1回	論説文読解/誤文訂正/和文英訳	●	●	●	●	●		
	第2回	論説文読解/和文英訳/英作文	●		●	●	●	●	
	第3回	東大京大判定テスト③	●		●	●	●		
6月期	第1回	論説文読解/和文英訳	●		●	●	●		
	第2回	小説読解/和文英訳/英作文	●		●	●	●	●	
	第3回	論説文読解/語句整理/和文英訳	●	●	●	●	●		
7月期	第1回	論説文読解/和文英訳	●		●	●	●		
	第2回	東大京大判定テスト④	●		●	●	●	●	
	第3回	論説文読解/和文英訳	●		●	●	●		
夏期講習① 高3東大京大特選英語		論説文読解/和文英訳	●		●	●	●		
		小説読解/和文英訳	●		●	●	●		
		論説文読解/小説読解/和文英訳	●		●	●	●	●	
		論説文読解/大意要約/和文英訳	●		●	●	●	●	
		論説文読解/大意要約/和文英訳	●		●	●	●	●	
夏期講習② 高3東大英語 設問形式別特講		要約問題特講	●		●	●	●		
		段落整理特講	●		●	●	●		
		自由英作文特講	●		●	●	●	●	
		整序英作文・和文英訳特講	●	●	●	●	●	●	
		英文和訳特講	●		●	●	●	●	
夏期講習③ 高3京大英語実践演習		言い換えの把握/論理性的の追求							
		対比の把握/典型性の追求							
		抽象文の理解/会話文型の自由英作文	●		●	●	●	●	
		複雑な構造把握/論理整合型の自由英作文							
9月期		東大京大判定テスト⑤	●	●	●	●	●		
		第2回	論説文読解/対話文読解/和文英訳	●	●	●	●	●	
		第3回	論説文読解/大意要約/和文英訳/英作文	●	●	●	●	●	
10月期	第1回	論説文読解/小説読解/和文英訳	●		●	●	●		
	第2回	論説文読解/対話文読解/和文英訳/英作文	●		●	●	●	●	
	第3回	東大京大判定テスト⑥	●		●	●	●		
秋の特別講座		高3時事テーマ自由英作文	●					●	
11月期	第1回	論説文読解/大意要約/和文英訳	●		●	●	●		
	第2回	論説文読解/誤文訂正/和文英訳	●	●	●	●	●		
	第3回	論説文読解/文法語法/和文英訳/英作文	●	●	●	●	●	●	
12月期	第1回	論説文読解/文整理/和文英訳	●		●	●	●		
	第2回	東大京大判定テスト⑦	●	●	●	●	●		
	第3回	論説文読解/和文英訳	●		●	●	●		
冬期講習		東大京大特選英語実践演習	●		●	●	●	●	
直前講習		最終チェック講義+ファイナル演習	●	●	●	●	●	●	

※「読解総合」では、英文和訳以外の設問形式をもつ英文読解を扱います。

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3京大阪大・医学部英語

講座案内 京都大学や大阪大学の入試レベル、およびそれを超えるレベルの精選された問題を扱い、どんな設問形式にも対応できる柔軟な英語運用能力の育成を図ります。夏期までは「英文和訳」や「和文英訳」を中心に文法や構文の運用能力を実践レベルまで高めることに注力します。夏期以降は様々な設問形式に取り組むことで「英文読解」と「英作文」の能力をバランス良く引き上げ、大学入学後も通用する英語運用能力を育成します。

この講座からの合格大学 京都大学、大阪大学、国立大学医学部医学科など

使用教材 【テキスト】『EXPLORATION Ⅲ [上級編]』／【補助教材】『ぼんぼん出てくる英単語』（通称「ぼん単」）

指導内容と目的

概 論 ▶ 読解力と発信力をバランス良く鍛える

本講座の目的は、最高難度を誇る京都大学や大阪大学の入試英語の攻略法を、英語の根本的な発想まで遡って体系的に習得することにあります。そのためには、英文を読み進めながら論点を整理し筆者の主張を深く理解する読解力、そして英語で発想し英語で問題解決を示す発信力の確立が不可欠です。本講座では、この2つの力をバランス良く鍛えるカリキュラムを用意し、設問形式の変化に左右されない英語運用能力の確立を目指します。各大学別の設問形式別攻略や共通テスト対策については講習講座において実施し、最新傾向に対応した実践的訓練の場を提供します。

3月～夏期 ▶ 英語運用能力の徹底強化と伝統的設問形式の攻略

この時期は、高校2年間で培ってきた英語運用能力を入試実践レベルに引き上げつつ、「英文和訳」や「和文英訳」といった伝統的な出題形式への対処法を確立していきます。本講座で扱う英文素材は、英語という言葉の背後にある歴史や文化を垣間見ることのできるものを厳選しています。内容理解が進むにつれて、英語のネイティブスピーカーのマインドセットに対する理解も深まり、それが初見の英文に対する予備知識として大いに役立つことになるでしょう。英作文については比較的短めの和文英訳から始めていき、夏期までには京都大学や大阪大学の過去問に取り組むための基礎固めを完成させます。いわゆる自由英作文についても様々な形式に触れることで基本的な取り組み方を指導していきます。

9月～12月 ▶ より実践的な英語運用能力を確立する

この時期からは英文読解における設問形式のバリエーションを広げて、「内容説明」や「大意要約」など、インプットとアウトプットの力を様々な形で鍛え上げていきます。ただし、設問形式の変化は求められる力の変化を意味しているわけではありません。本講座で身につけてきた英語運用能力はもっと根源的で本質的なものですので、筆者の論点と出題者の意図を正しく汲み取ることができれば、たとえ初見の設問形式であっても十分に対応できます。また、英作文においては過去の京都大学や大阪大学の問題と比べても遜色のない難易度の問題に取り組むことで発信力強化を図ります。

冬期・直前期 ▶ 受験大学に焦点を絞る

冬期講習では共通テスト前の記述力最終チェックとして「実践演習」に、共通テスト後は受験大学に対応する設問形式に特化した「最終チェック講義」に取り組めます。また、受験直前の総決算として、「京大英語ファイナル演習」「阪大英語ファイナル演習」など、大学別の問題演習に取り組めます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			語彙	文法構文	英文和訳	読解総合	和文英訳	英作文
3月期	第1回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第2回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第3回	論説文読解／和文英訳／英作文	●		●	●	●	●
春期講習		論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
		論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
		論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
		論説文読解／和文英訳／英作文	●		●	●	●	●
4月期	第1回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第2回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第3回	小説読解／和文英訳／英作文	●		●	●	●	●
5月期	第1回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第2回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第3回	論説文読解／和文英訳／英作文	●		●	●	●	●
6月期	第1回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第2回	小説読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第3回	論説文読解／和文英訳／英作文	●		●	●	●	●
7月期	第1回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第2回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第3回	論説文読解／和文英訳／英作文	●		●	●	●	●
夏期講習① 高3京大版大・医学部英語		論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
		論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
		論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
		論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
		論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
夏期講習② 高3京大英語実践演習		言い換えの把握／論理性的の追求						
		対比の把握／典型性の追求						
		抽象文の理解／会話文型の自由英作文	●		●	●	●	●
		複雑な構造把握／論理整合型の自由英作文						
		難解な語彙の処理／課題文読解型の自由英作文						
夏期講習③ 高3阪大神大英語 実践演習		阪大神大対策演習①	●		●	●	●	●
		阪大神大対策演習②						
		阪大神大対策演習③						
9月期	第1回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第2回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第3回	論説文読解／和文英訳／英作文	●		●	●	●	●
10月期	第1回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第2回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第3回	論説文読解／和文英訳／英作文	●		●	●	●	●
秋の特別講座		高3時事テーマ自由英作文	●					●
11月期	第1回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第2回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第3回	論説文読解／和文英訳／英作文	●		●	●	●	●
12月期	第1回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第2回	論説文読解／和文英訳	●		●	●	●	
	第3回	論説文読解／和文英訳／英作文	●		●	●	●	●
冬期講習		京大版大・医学部英語実践演習	●		●	●	●	●
直前講習		最終チェック講義＋ファイナル演習	●		●	●	●	●

※「読解総合」では、英文和訳以外の設問形式をもつ英文読解を扱います。

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3阪大神大英語

講座案内 大阪大学や神戸大学のような難関国公立大に合格するためには英語の基本知識を漏れなく習得し、共通テストと二次試験の両方をバランス良く対策していく学習が必要になります。前期においては文法理論に立脚した英文読解の方法論を根底からたたき上げると同時に、英作文の書き方を基本から習得していきます。夏期以降は共通テストの対策を行いながら、大阪大学や神戸大学などの二次試験に対応できる発展的な力を養います。

この講座からの合格大学 大阪大学、神戸大学、大阪公立大学など

使用教材 【テキスト】『INTEGRATION Ⅲ [上知編]』 / 【補助教材】『ぼんぼん出てくる英単語』（通称「ぼん単」）

指導内容と目的

概論 ▶ 英語理解に必要な知識を網羅し、読解や英作文に応用できる力を養う

本講義は、英語の理論を、①文法 ②語法 ③構文 ④内容把握 ⑤論理展開の5つの要素に分け、この5つの要素を偏りなく、かつ深く追求していき、最終的にそれらすべての要素を統合することで、共通テストはもちろん難関国公立大の二次試験で高得点を取る力を養っていきます。

3月～夏期 ▶ 知識獲得および思考力養成期

読解においては、実際の大阪大学や神戸大学の二次試験とほぼ同程度の難易度の素材を使い、徹底して構造・内容把握の訓練を行っていきます。このことにより、英文を緻密にかつ正確に読む力を養います。英作文においては、各種文法を整理しながら、入試でよく使う表現なども学び、和文英訳、自由英作文に関わらず、どのような入試英作文の問題にも対応できる基礎を養います。また夏期には、本格的に大阪大学や神戸大学の入試問題レベルに相当する問題演習を行うことによって、実践力を養っていきます。この時期からは自由英作文についても本格的に指導していきます。

9月～12月 ▶ 共通テスト対策および応用力養成期

夏期までに身につけた文法、語法、構文、内容把握の力を統合し、さらに英語長文で頻繁に見られる論理展開や背景知識にも触れ、英文読解の精度を上げていくのと同時に、共通テスト、国公立大二次試験いずれにしても制限時間内で解ききれるようにも訓練していきます。また、択一問題の選択方法や記述解答の作成方法についても講義し、実際の入試問題に正確かつ自信を持って対応できる力を養っていきます。英作文は、英文法や語彙などの知識のみならず、大阪大学レベルの英作文の対処法も指導していきます。

冬期・直前期 ▶ 受験大学に焦点を絞る

冬期講習では共通テスト対策となる「実践演習」に、共通テスト直前には予想問題演習「共通テスト英語ファイナル」に、共通テスト後は受験大学の設問形式に対応した「最終チェック講義」に取り組みます。また、受験直前の総決算として、「阪大英語ファイナル演習」「神大英語ファイナル演習」「大阪公立大英語ファイナル演習」など、大学別の問題演習に取り組みます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			語彙	文法構文	英文和訳	読解総合	英作文
3月期	第1回	文型把握①/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
	第2回	文型把握②/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
	第3回	文型把握③/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
春期講習		準動詞①(基本)/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
		準動詞②(主述関係の把握)/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
		関係詞/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
		whatの構文/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
4月期	第1回	節の把握/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
	第2回	thatの可能性/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
	第3回	共通関係・修飾関係/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
5月期	第1回	仮定法/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
	第2回	名詞化構文/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
	第3回	同格/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
6月期	第1回	比較①/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
	第2回	比較②/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
	第3回	否定/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
7月期	第1回	倒置/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
	第2回	itの構文/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
	第3回	省略・挿入/英文読解/英作文	●	●	●	●	●
夏期講習① 高3版大神大英語		英文和訳/和文英訳/長文読解	●	●	●	●	●
		英文和訳/和文英訳/長文読解	●	●	●	●	●
		英文和訳/和文英訳/長文読解	●	●	●	●	●
		英文和訳/和文英訳/長文読解	●	●	●	●	●
夏期講習③ 高3版大神大英語実践演習		版大神大対策演習①			●	●	●
		版大神大対策演習②	●			●	●
		版大神大対策演習③			●	●	●
9月期	第1回	長文読解+設問攻略①/英作文	●	●	●	●	●
	第2回	長文読解+設問攻略②/英作文	●	●	●	●	●
	第3回	長文読解+設問攻略③/英作文	●	●	●	●	●
10月期	第1回	長文読解+設問攻略④/英作文	●	●	●	●	●
	第2回	長文読解+設問攻略⑤/英作文	●	●	●	●	●
	第3回	長文読解+設問攻略⑥/英作文	●	●	●	●	●
秋の特別講座①		高3時事テーマ自由英作文	●			●	●
秋の特別講座②		高3 大神大への英語集中特訓	●		●	●	●
秋の特別講座③		高3 共通テスト英語 Reading 特訓[難問・新傾向問題対策編]				●	
11月期	第1回	テーマ別英文実践総合問題①/英作文	●	●	●	●	●
	第2回	テーマ別英文実践総合問題②/英作文	●	●	●	●	●
	第3回	テーマ別英文実践総合問題③/英作文	●	●	●	●	●
12月期	第1回	テーマ別英文実践総合問題④/英作文	●	●	●	●	●
	第2回	テーマ別英文実践総合問題⑤/英作文	●	●	●	●	●
	第3回	テーマ別英文実践総合問題⑥/英作文	●	●	●	●	●
冬期講習		共通テスト突破の英語実践演習	●	●		●	
直前講習		最終チェック講義+ファイナル演習	●	●	●	●	●

※「読解総合」では、英文和訳以外の設問形式をもつ英文読解を扱います。

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3関関同立英語

講座案内 関関同立を始めとする難関私立大に合格するために必要な知識を体系的に学習していきます。出題分野の大半を占める長文読解の対策の中では、初めは1文の理解を目標に、文法・構文の知識に基づき正確な英文の読み方ができ、徐々に文同士、段落同士のつながりなどにも目を向け、最終的に入試の長文に対応できるレベルの読解力を育むことを目標に指導をしていきます。また、難関私立大で頻出の設問形式である会話文問題の演習をする機会、語彙力を鍛える機会も同時に設けることで、総合的な英語力、さらには入試における得点力の向上を目指します。

この講座からの合格大学 関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学など

使用教材 【テキスト】INTEGRATIONⅢ [王道編] (～7月期) / ACCELERATIONⅢ (9月期～) / 【補助教材】ぼんぼん出てくる英単語 (通称「ぼん単」)

指導内容と目的

概論 ▶ 英語理解に必要な知識を網羅し、また得点力の向上を目指していく。

本講義は、英語の理論を、①文法 ②語法 ③構文 ④内容把握 ⑤論理展開の5つの要素に分け、この5つの要素を偏りなく、かつ深く追求していき、最終的にそれらすべての要素を統合することで、難関私立大に合格するための力を養っていきます。

3月～夏期 ▶ 知識獲得および思考力養成期

長文読解では私立大の客観式問題(内容一致問題など)を中心に扱い、短めの英文素材から入り、徐々に長めの英文に移行していきます。単語・文法・構文の知識に基づく精読を意識した読解から、文同士、段落同士のつながりを意識した読解ができるよう力を育み、また難関私立大特有の長文に対応できるよう読むための体力も同時に養っていきます。同時に標準レベルからやや難易度の高い英文を用いた構文把握の練習、難関私立大で頻出の対話文問題にも触れ、総合的な英語力を高めていきます。

9月～12月 ▶ 応用力・実践力・解答力養成期

夏期までに身につけた文法、語法、構文、内容把握の力を統合し、さらに英語長文に頻繁に見られる論理展開や背景知識にも触れ、英文読解の精度を上げていきます。試験時間内で問題を解けるようにする訓練を行いつつ、客観式問題の「解き方」にもフォーカスを当て、実際の入試問題に正確かつ自信を持って対応できる力を養っていきます。また、7月期までと同様に対話文問題や多義語・語法・熟語などの語彙問題の演習も行っていきます。

冬期・直前期 ▶ 受験大学に焦点を絞る

冬期講習では読解と英作文法を総点検する「高3関関同立・私立大英語特講」および「高3関関同立・私立大英語実践演習」に取り組みます。直前期には「最終チェック講義」や大学別の「ファイナル演習」に取り組みます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			語彙	文法構文	英文和訳	読解総合	対話文
3月期	第1回	文型把握①／英文読解	●	●	●	●	
	第2回	文型把握②／英文読解	●	●	●	●	
	第3回	文型把握③／英文読解	●	●	●	●	●
春期講習		準動詞①（基本）／英文読解	●	●	●	●	
		準動詞②（主述関係の把握）／英文読解	●	●	●	●	
		関係詞／英文読解	●	●	●	●	
		what の構文／英文読解	●	●	●	●	●
4月期	第1回	節の把握／英文読解	●	●	●	●	
	第2回	that の可能性／英文読解	●	●	●	●	
	第3回	共通関係・修飾関係／英文読解	●	●	●	●	●
5月期	第1回	仮定法／英文読解	●	●	●	●	
	第2回	名詞化構文／英文読解	●	●	●	●	●
	第3回	同格／英文読解	●	●	●	●	
6月期	第1回	比較①／英文読解	●	●	●	●	
	第2回	比較②／英文読解	●	●	●	●	●
	第3回	否定／英文読解	●	●	●	●	
7月期	第1回	倒置／英文読解	●	●	●	●	
	第2回	it の構文／英文読解	●	●	●	●	
	第3回	省略・挿入／英文読解	●	●	●	●	●
夏期講習① 高3関関同立英語 [長文読解]		otherwise の可能性					
		「省略」の研究					
		no more ... than ～の制覇	●		●	●	
		非制限用法の処理 Ving の可能性					
夏期講習② 高3関関同立英語 [英作文法]		自動詞・他動詞の本質とその応用					
		隠れたSVをあぶり出す発想					
		前置詞の体系化と語法	●	●			●
		類義語・特殊構文の研究 ありそつでなさそうな文法・語法					
夏期講習③ 高3関関同立英語特講		難関私大の英文法					
		長文空所補充問題の研究					
		スキミング・スキニングの研究	●	●	●	●	●
		総合内容一致問題の研究 会話問題・パラグラフ整序問題の研究					
9月期	第1回	難関私大判定テスト①	●	●	●	●	●
	第2回	長文読解／設問攻略①	●	●	●	●	●
	第3回	長文読解／設問攻略②	●	●	●	●	●
10月期	第1回	難関私大判定テスト②	●	●	●	●	●
	第2回	長文読解／設問攻略③	●	●	●	●	●
	第3回	長文読解／設問攻略④	●	●	●	●	●
秋の特別講座		高3関関同立・私立大英語テーマ別特訓	●	●	●	●	●
11月期	第1回	難関私大判定テスト③	●	●	●	●	●
	第2回	長文読解／設問攻略⑤	●	●	●	●	●
	第3回	長文読解／設問攻略⑥	●	●	●	●	●
12月期	第1回	難関私大判定テスト④	●	●	●	●	●
	第2回	長文読解／設問攻略⑦	●	●	●	●	●
	第3回	長文読解／設問攻略⑧	●	●	●	●	●
冬期講習①		高3関関同立・私立大英語特講 [読解分野編]	●		●	●	
冬期講習②		高3関関同立・私立大英語特講 [文法・会話・英作文編]	●	●			●
冬期講習③		高3関関同立・私立大英語実践演習	●	●	●	●	
直前講習		最終チェック講義＋ファイナル演習	●	●	●	●	●

※「読解総合」では、英文和訳以外の設問形式をもつ英文読解を扱います。

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3スタンダード英語

講座案内 「英文の読み方が分からない」という悩みを抱える受験生を対象に、英語を基礎から徹底的に鍛えて「読解力」をつけていく講座です。夏期までは構文の基礎知識と基本的な英文読解術を身につけることを目指します。夏期以降は共通テストや国公立大二次試験に向けた基礎力養成、難関私立大で頻出の設問形式（パラフレーズ・空所補充・内容一致など）の対処法を学び、現役合格に向けて着実に歩みを進めていきます。

この講座からの合格大学 兵庫県立大学、大阪教育大学、近畿大学、甲南大学など

使用教材 【テキスト】『INTEGRATION Ⅲ 王道編』／【補助教材】『ぼんぼん出てくる英単語』（通称「ぼん単」）

指導内容と目的

概論 ▶ 英語を根本から理解し、大学現役合格を目指す

本講座では、以下の5つを到達目標として授業を進めていきます。

- ① 英語の理解に不可欠な入試頻出語彙を習得する
- ② 英文を正確に解釈するのに必要な構文知識の理解を深める
- ③ 英文の内容把握を効率化するパラグラフリーディングを習得する
- ④ 読解問題の多様な設問形式に対するアプローチを習得する
- ⑤ 大学入試に留まらず、大学入学後も役に立つ普遍的な英語力を獲得する

3月～夏期 ▶ 知識および思考力養成期

この時期は、基本例文を基に大学入試に必要な英文法と構文の知識を総点検しつつ、標準的な長さの英文を用いて構造把握と内容把握の訓練を行っていきます。また、英語は言語である以上は語彙力の徹底強化は不可欠です。授業内でも「ぼん単」の小テストを実施して、入試頻出語彙の定着を図ります。夏期には志望大学に応じて共通テスト対策や私立大入試対策に取り組み、より実践的な訓練を行っていきます。なお、文法構文の知識にかなり不安を感じている方や、関関同立大をはじめとする難関私立大の受験を考えている方は「高3英文法演習」も併せて受講することを強くお勧めします。

9月～12月 ▶ 共通テスト／私立大入試を見据えて英語運用能力を引き上げる

夏期までに身につけた文法構文や英文読解の知識を基に本格的な英語長文に取り組んでいきます。また、共通テストや私立大入試に特有の設問形式についても並行して対策を進めていきます。なお、文法分野を更に鍛え上げたい方や、文法語法問題が多く出題される私立大を受験される方は「高3英作文法演習」も併せて受講することを強くお勧めします。

冬期・直前期 ▶ 受験大学に焦点を絞る

【国公立大志望者】冬期講習では共通テスト対策となる「実践演習」に、共通テスト直前には予想問題演習「共通テスト英語ファイナル」を、共通テスト後は受験大学の設問形式に対応した「最終チェック講義」に取り組みます。受験直前の総決算として「神大英語ファイナル演習」、「大阪公立大英語ファイナル演習」など、大学別の問題演習に取り組みます。

【私立大志望者】冬期講習では総仕上げとして「高3関関同立・私立大英語特講」に、また実際の私立大入試の問題を想定した「実践演習」に取り組みます。直前期には「最終チェック講義」や大学別の「ファイナル演習」に取り組みます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			語彙	文法構文	英文和訳	読解総合	対話文
3月期	第1回	文型把握①／英文読解	●	●	●	●	
	第2回	文型把握②／英文読解	●	●	●	●	
	第3回	文型把握③／英文読解	●	●	●	●	●
春期講習		準動詞①（基本）／英文読解	●	●	●	●	
		準動詞②（主述関係の把握）／英文読解	●	●	●	●	
		関係詞／英文読解	●	●	●	●	
		what の構文／英文読解	●	●	●	●	●
4月期	第1回	節の把握／英文読解	●	●	●	●	
	第2回	that の可能性／英文読解	●	●	●	●	
	第3回	共通関係・修飾関係／英文読解	●	●	●	●	●
5月期	第1回	仮定法／英文読解	●	●	●	●	
	第2回	名詞化構文／英文読解	●	●	●	●	●
	第3回	同格／英文読解	●	●	●	●	
6月期	第1回	比較①／英文読解	●	●	●	●	
	第2回	比較②／英文読解	●	●	●	●	●
	第3回	否定／英文読解	●	●	●	●	
7月期	第1回	倒置／英文読解	●	●	●	●	
	第2回	it の構文／英文読解	●	●	●	●	
	第3回	省略・挿入／英文読解	●	●	●	●	●
夏期講習		【国公立大志望者】 高3 共通テスト英語など 【私立大志望者】 高3 私立大英語など ※印は受講講座によって異なります	●	●	※	●	●
9月期	第1回	国私立大判定テスト①	●	●	●	●	●
	第2回	長文読解①	●	●	●	●	●
	第3回	長文読解②	●	●	●	●	●
10月期	第1回	国私立大判定テスト②	●	●	●	●	●
	第2回	長文読解③	●	●	●	●	●
	第3回	長文読解④	●	●	●	●	●
秋の特別講座①		高3 共通テスト英語 Reading 特訓【難問・新傾向問題対策編】				●	
秋の特別講座②		高3 関関同立・私立大英語テーマ別特訓	●	●			●
秋の特別講座③		高3 私立大英語 公募推薦対策ファイナル演習	●	●			●
11月期	第1回	国私立大判定テスト③	●	●	●	●	●
	第2回	長文読解⑤	●	●	●	●	●
	第3回	長文読解⑥	●	●	●	●	●
12月期	第1回	国私立大判定テスト④	●	●	●	●	●
	第2回	長文読解⑦	●	●	●	●	●
	第3回	長文読解⑧	●	●	●	●	●
冬期講習		【国公立大志望者】 高3 共通テスト突破の英語実践演習 【私立大志望者】 高3 関関同立・私立大英語特講など ※印は受講講座によって異なります	●	●	※	●	●
直前講習		最終チェック講義＋ファイナル演習	●	●	●	●	●

※「読解総合」では、英文和訳以外の設問形式をもつ英文読解を扱います。

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3英作文法演習

講座案内 英文を正確に読み書きするのに不可欠な文法語法知識を整理し、定着させた上で、最終的に京大、阪大、神大や国立医学部医学科に合格するために必要な英作文の力を養うための講座です。7月までは英語的発想を根本から理解することで文法面での知識の曖昧さをなくし、応用力を養っていきます。9月からは本格的な英作文問題に取り組んでいき、国公立大二次試験において高得点を狙える力を養成していきます。

この講座からの合格大学 京都大学、大阪大学、神戸大学、大阪公立大学など

使用教材 【テキスト】『高3 English Grammar & Writing』 / 【補助教材】『ぼんぼん出てくる英単語』（通称『ぼん単』）

指導内容と目的

概 論 ▶ 英文法の確固たる基盤を構築し論理的思考力を養う

英語の入試問題で比重が高い長文を読みこなすには、文法・構文面での盤石な知識とそれを運用する能力が不可欠です。既習の文法・構文知識で曖昧な部分を「3～7月期」の間に根本から見直し、自信を持って和訳や英作文ができる水準まで引き上げていきます。「9～12月期」は国公立大や一部の難関私立大で出題される英作文問題に焦点を絞り、より高い水準での英語運用能力の獲得を目指します。日本語を英語に直す訓練はもちろんのこと、英語の論理関係や背景知識にまで視野を広げ、近年増加傾向にある自由英作文の対処法についても身に着けていきます。

3月～7月期 ▶ 英文法の総点検と定着の徹底

この時期には、「なんとなく」で覚えている英文法を、その根底に潜む本質を浮き彫りにする問題演習とその解説を通じて根本から理解することを目指します。重要文法単元については「3～7月期」までにすべて終えるカリキュラムとなっています。夏期については、英作文に取り組む特別講座を受けることで、発展的な内容に挑戦することができます。

9月～12月 ▶ 和文英訳問題、自由英作文問題に対応できる知識と技術を習得する

各講は入試によく出題される内容ごとにテーマが設定されており、習得すべき課題が明確になっています。まず語彙を学び、その学んだ表現を使って、和文英訳の問題に当たります。和文英訳を通して、そのテーマに類出の語彙、文法、構文をしっかりと学んだ後、今度はその知識を自由英作文の課題に応用していくというサイクルになっています。1回の授業で、基本から発展まで無理なく学べるシステムになっています。「12月期」は総仕上げとしてテーマを取って設けず、これまでに培った知識と技術を用いて様々なタイプの問題に挑戦していきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		空所補充	整序	訳文訂正	和文英訳	自由英作文	その他
3月期	第1回	動詞の徹底説明①	●	●	●	●	
	第2回	動詞の徹底説明②	●	●	●	●	
	第3回	入試実践力強化演習①	●	●	●	●	●
春期講習		不定詞・動名詞の本質	●	●	●	●	
		分詞・分詞構文の本質	●	●	●	●	
		関係詞の本質	●	●	●	●	
		入試実践力強化演習②	●	●	●	●	●
4月期	第1回	法の攻略①～時制・助動詞～	●	●	●	●	
	第2回	法の攻略②～仮定法～	●	●	●	●	
	第3回	入試実践力強化演習③	●	●	●	●	
5月期	第1回	比較の征服①	●	●	●	●	
	第2回	品詞の総整理①～冠詞・名詞・代名詞～	●	●	●	●	
	第3回	入試実践力強化演習④	●	●	●	●	●
6月期	第1回	比較の征服②／無生物主語構文	●	●	●	●	
	第2回	品詞の総整理②～形容詞・副詞～	●	●	●	●	
	第3回	入試実践力強化演習⑤	●	●	●	●	●
7月期	第1回	前置詞・接続詞の徹底研究	●	●	●	●	
	第2回	否定・倒置・特殊構文の徹底研究	●	●	●	●	
	第3回	入試実践力強化演習⑥	●	●	●	●	●
夏期講習		< OD > 高3 現役合格へのパーフェクトライティング	●	●	●		
9月期	第1回	日常表現			●	●	
	第2回	自由英作文の基本			●	●	
	第3回	表・グラフの記述、分析			●	●	
10月期	第1回	学校教育			●	●	
	第2回	文化			●	●	
	第3回	環境			●	●	
11月期	第1回	社会問題			●	●	
	第2回	IT			●	●	
	第3回	国際化			●	●	
12月期	第1回	演習①			●	●	
	第2回	演習②			●	●	
	第3回	演習③			●	●	

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3英作文法 ESSENTIALS

講座案内 国公立・私立を問わず、すべての大学入試に必要な文法・語法の基礎知識をしっかりと学べる講座です。全単元をゼロからいねいに講義し、自習用教材で繰り返し練習することで、英文読解や英作文に必要な英語力を身につけます。また、基幹講座と併用することで、さらに力をつけやすくなる講座です。
※英語が苦手な受験生を主眼に置き講義を行います。応用力を養いたい受験生は「高3英作文法演習」を参照してください。

この講座からの合格大学 大阪大学、神戸大学、関関同立大～中堅私大など

使用教材 【テキスト】『毎講プリント配布』／【補助教材】『ぼんぼん出てくる英単語』（通称「ぼん単」）

指導内容と目的

概 論 ▶ 全ての英文に通用する英文法・語法の本質を学ぶ

「英語が苦手！特に英文法は…」と感じている方や、「文法を0からきちんと学びなおしたい！」という受験生を対象にしています。文法問題が出題される私立大学だけでなく、英作文が求められる国公立大学や、英文を正確かつ迅速に読む必要がある共通テストにおいても、英文法は欠かせません。「3～7月期」には英文法の基本項目を徹底的に理解することを目指し、「9～12月期」には難関私立大から国公立二次試験に対応する細かい文法知識や語彙強化、設問対策に取り組んでいきます。

3月～7月期 ▶ 英文法の本質理解と定着の徹底

各文法項目をバラバラに理解するのではなく、体系化して学んでいきます。3月期には英語の基本的な発想を身につけ、春期講習でそれを具体的な文法事項に落とし込んでいきます。4月期以降は、英文の枝葉となる項目を1つずつ丁寧に学ぶことで、夏期以降の演習へと繋げていきます。授業では「分かる」ことに留まらず、繰り返しの演習を通して「できる」状態になることを最終目標としています。

9月～12月 ▶ 様々な形式の問題に取り組むことで英語運用能力の土台を強固にする

前期～夏期で学んだ知識を、さまざまな形式の問題を通じて実際に使えるようにしていきます。演習形式の問題や講義に加え、関関同立や産近甲龍で出題される多義語、イディオム、語句整序問題に対応する自習用教材も用意しています。これにより、高得点を目指せる実践力を養います。英文法や語法に不安がある国公立大受験生だけでなく、難関私大を目指す受験生にも併用をおすすめします。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		空所補充	語句整序	訳文訂正	和文英訳	語彙	その他
3月期	第1回	自動詞と他動詞 (第1・3文型)	●	●	●	●	●
	第2回	ネクサス関係をつかむ (第2・4・5文型)	●	●	●	●	●
	第3回	受動態の本質	●	●	●	●	●
春期講習		準動詞①:不定詞	●	●	●	●	●
		準動詞②:動名詞	●	●	●	●	●
		準動詞③:分詞	●	●	●	●	●
		準動詞④:分詞構文	●	●	●	●	●
4月期	第1回	時制①～基本編～	●	●	●	●	●
	第2回	時制②～応用編～	●	●	●	●	●
	第3回	助動詞のコアミーニング	●	●	●	●	●
5月期	第1回	仮定法①～基本編～	●	●	●	●	●
	第2回	仮定法②～応用編～	●	●	●	●	●
	第3回	関係代名詞と関係副詞の徹底攻略	●	●	●	●	●
6月期	第1回	関係代名詞 what と複合関係詞	●	●	●	●	●
	第2回	比較①～基本編～	●	●	●	●	●
	第3回	比較②～応用編～	●	●	●	●	●
7月期	第1回	冠詞・名詞・代名詞	●	●	●	●	●
	第2回	形容詞・副詞	●	●	●	●	●
	第3回	特殊構文の研究	●	●	●	●	●
夏期講習		【国公立大志望者】 ＜OD＞高3 現役合格へのパーフェクトライティング 【私立大志望者】 高3 現役合格へのパワーアップグラマー ※印は受講講座によって異なります	●	●	※	※	※
9月期	第1回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●
	第2回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●
	第3回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●
10月期	第1回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●
	第2回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●
	第3回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●
11月期	第1回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●
	第2回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●
	第3回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●
12月期	第1回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●
	第2回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●
	第3回	総合演習／設問形式別トレーニング	●	●	●	●	●

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3東大京大特選理系数学

講座案内 精鋭のみのクラスで入試本番さながらの演習を繰り返します。東大・京大の出題傾向を踏まえて厳選された問題は、熟考することにより体系的かつ本質的な理解を促す良問揃いです。また、答案に対しては細かく添削します。これらを通じて、如何なる入試問題にも対応しうる真の実力を育成します。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、旧帝大医学部医学科など

使用教材 【プリント】『東大京大特選理系数学実践演習』／【補助教材】『難関大学への数学 I A I I B C [50の定石]』

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 「数学Ⅲ：極限、微分法」および図形問題・整数問題・論証問題に挑戦する

毎回テストゼミ演習を行います。まず、本番の試験と同じ緊張感の下で50分で2問の問題を解き、実際に答案を作成してもらいます。問題の難易度は、実際の東大や京大、旧帝大のレベルです。授業の後半で、解いてもらった問題の解説をします。必要に応じて補足の説明や、追加の問題を扱うこともあります。答案は担当講師が採点・添削を細かく行います。それによって自分の弱点が浮き彫りになり、次に取り組むべき課題が発見できます。徹底してアウトプットを鍛えることによって、合格に必要な十分な答案を作り上げる力が身に付きます。

夏 期 ▶ 「数学Ⅲ：積分法」「数学C：複素数平面」および確率・場合の数の問題に挑戦する

難問攻略への姿勢を確認します。テストゼミ演習とその解説、および、丁寧な添削によって、答案作成力の確実なレベルアップを図ります。授業では、50分間で2問の問題を解き、後半でその問題の解説を行います。補足説明や、追加問題を扱う場合もあります。前半5回の授業で扱う問題は、「数学Ⅲ：積分法」の典型問題や応用問題、確率の入試問題です。複雑な設定の問題では意外と見逃されがちである「漏れなく重複なく数えるという場合の数の基本」をしっかり身に付けてもらいます。後半5回の授業では複素数平面の問題と様々な単元の問題の2問に挑戦してもらいます。

9月～12月 ▶ 平面図形・複素数平面の問題や総合問題に挑戦する

新鮮かつ思考力が問われる問題でテストゼミ演習を行います。本番の問題が易しく感じられるレベルを目指し、平面図形の難問や、分野横断の総合問題に挑戦します。50分2問の問題演習と、解説および添削のセット授業です。与えられた問題に対し、どの道具を使うのが効率的か、どのように言い換えるのが良いかなどを深く考えてもらうことで、対応力をさらに上げていきます。過去の先輩方がどのような間違いをしたのか、それをどのように克服したのかを授業を通じて学んでいきます。

冬期・直前 ▶ 現役合格のための最後のチェックを行う

3月期～12月期と同様に二次試験対策を続け、現役合格のために最後のチェックをしていきます。今まで学んだ様々な考え方や解答作成法が身に付いているかを確認し、確実なものにしていきます。50分で2問の演習と解説、厳しい添削で得点力を底上げします。それによって本番までの学習指針を固めることができますはずです。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			単元	科目	授業形式
3月期	第1回	空間図形・数列の極限①	東大京大特選理系数学演習・講義	数学IAIIBIIC	テストゼミ演習
	第2回	空間図形・数列の極限②			
	第3回	空間図形・数列の極限③			
春期講習		空間図形・関数の極限①			
		空間図形・関数の極限②			
		空間図形・関数の極限③			
		空間図形・関数の極限④			
4月期	第1回	整数・微分法①			
	第2回	整数・微分法②			
	第3回	整数・微分法③			
5月期	第1回	平面図形・微分法④			
	第2回	平面図形・微分法⑤			
	第3回	平面図形・微分法⑥			
6月期	第1回	空間図形・微分法⑦			
	第2回	空間図形・微分法⑧			
	第3回	空間図形・微分法⑨			
7月期	第1回	論証・微分法⑩			
	第2回	論証・微分法⑪			
	第3回	論証・微分法⑫			
夏期講習		確率・積分法①			
		確率・積分法②			
		確率・積分法③			
		確率・積分法④			
		確率・積分法⑤			
		複素数平面・総合問題①			
		複素数平面・総合問題②			
		複素数平面・総合問題③			
		複素数平面・総合問題④			
		複素数平面・総合問題⑤			
9月期	第1回	平面図形・積分法⑬			
	第2回	平面図形・積分法⑭			
	第3回	平面図形・積分法⑮			
10月期	第1回	平面図形・積分法⑯			
	第2回	複素数平面・積分法⑰			
	第3回	複素数平面・積分法⑱			
11月期	第1回	論証・微分積分総合問題①			
	第2回	論証・微分積分総合問題②			
	第3回	論証・微分積分総合問題③			
12月期	第1回	論証・微分積分総合問題④			
	第2回	論証・微分積分総合問題⑤			
	第3回	論証・微分積分総合問題⑥			
冬期講習		冬期実践演習①			
		冬期実践演習②			
		冬期実践演習③			
		冬期実践演習④			
直前講習		最終チェック前編①			
		最終チェック前編②			
		最終チェック後編①			
		最終チェック後編②			

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3東大京大特選文系数学・高3東大京大文系数学

講座案内 前期は入試問題をどのように解くかをテーマに、東大・京大の出題傾向を踏まえて厳選された研伸館独自のカリキュラムに従って講義をします。9月期以降は入試本番さながらの演習を繰り返します。答えは細かく添削されるので、解法選択が正しいか、合格点が取れる答案になっているかを確認することができます。これらを通じて如何なる入試問題にも対応しうる学力を養成していきます。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、一橋大学など

使用教材 【テキスト】『頂点への文系数学』／【補助教材】『難関大学への数学 I A I I B C [50の定石]』

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 重要理論の確認と合わせて難問攻略の訓練をしよう

各単元ごとに解きごたえのある問題を講義形式で扱っていきます。事前に予習をしておくことで現時点で自分ができている部分とできていない部分がわかります。講義では解答に至るまでに不足していた部分を確認することができます。どの問題もほぼ初見に近い問題です。解法選択の指針や解答の作り方を学んでいきます。

夏期 ▶ 図形問題を攻略しよう

各テーマごとに講義を行っていきます。重要分野の確認に留まらず、知っておくと便利な考え方も紹介します。後半は空間図形を中心に扱います。対称性の利用やなかなか扱うことのない正多面体に関する性質などに触れます。この夏で図形をしっかりと攻略して得点源にしましょう。

9月～12月 ▶ 「テスト演習」で、答案作成能力を鍛え上げる

今まで学んだことをアウトプットする練習を積む「テスト演習」の形式の授業です。50分間で2問の問題を解き、実際にその場で答案を作ってもらい、その後丁寧な解答・解説を行います。毎回、担当講師による細かい採点・添削をします。必要に応じて補足の説明や、追加の問題を扱うこともあります。問題の難易度は、実際の東大・京大の入試問題と同程度です。この演習を通じて、自分の理解度と表現力が浮き彫りにされ、何を強化していくべきかという指針が得られます。

冬期・直前 ▶ 「テスト演習」で最後の仕上げを行う

引き続き二次試験対策として、「テスト演習」を行います。9月期～12月期と同じ形式です。特に、「入試本番で必ず完答して欲しい問題」を中心に選んであるので、最終チェックができます。「手が付かない問題に出会ったときにどう切り崩し、部分点を稼ぐのか」、「計算ミスを減らし、完答するためにどうすべきか」、「今年狙われそうなテーマは何か」などのチェックを行います。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			単元	科目	授業形式
3月期	第1回	整式の除法	整式・方程式・不等式	数学IAIIB	入試問題講義
	第2回	方程式の実数解			
	第3回	不等式			
春期講習		不定方程式の解法 余りによる場合分け 二項係数の論証 整数に関する他分野との融合問題	整数		
4月期	第1回	格子点の個数・和に関する論証	数列		
	第2回	漸化式の作成			
	第3回	数学的帰納法			
5月期	第1回	円・反射・図形問題の最大・最小	図形問題		
	第2回	軌跡・領域			
	第3回	符号付き長さ正射影・空間内の円			
6月期	第1回	Σを用いる確率の計算	場合の数・確率		
	第2回	確率漸化式			
	第3回	破産の確率・条件付確率・確率の最大最小			
7月期	第1回	接線	微分法・積分法		
	第2回	絶対値を含む定積分・定積分を含む関数			
	第3回	面積の計算			
夏期講習		三角関数の利用 円 空間図形 空間座標 正多面体	図形問題の探求		
9月期	第1回	実践問題演習①	実践演習	演習 & 解説	
	第2回	実践問題演習②			
	第3回	実践問題演習③			
10月期	第1回	実践問題演習④			
	第2回	実践問題演習⑤			
	第3回	実践問題演習⑥			
11月期	第1回	実践問題演習⑦			
	第2回	実践問題演習⑧			
	第3回	実践問題演習⑨			
12月期	第1回	実践問題演習⑩			
	第2回	実践問題演習⑪			
	第3回	実践問題演習⑫			
冬期講習		冬期実践演習① 冬期実践演習② 冬期実践演習③ 冬期実践演習④			
直前講習		最終チェック前編① 最終チェック前編② 最終チェック後編① 最終チェック後編②			

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3京大阪大・医学部理系数学

講座案内 3月期～10月期で扱う厳選された入試問題は、過去の受験生に「本番での京大の問題が易しく感じた」と言わしめるハイレベルな良問揃いです。京大・阪大の過去問を分析して厳選されたこれらの問題を習得できれば、合格の可能性はかなり高くなります。テスト演習も実施し、添削指導を通じて本番に対応できる表現力も磨いていきます。

この講座からの合格大学 京都大学、大阪大学、国公立大学医学部医学科など

使用教材 【テキスト】『頂点への理系数学』／【補助教材】『難関大学への数学 I A I B C [50の定石]』

指導内容と目的

3月～10月 ▶ 合否を分ける主要単元の力を講義形式で高める

京大・阪大の理系学部や国公立大学医学部医学科への現役合格に必要な不可欠な数学Ⅲを主とする単元の典型問題を確実に解けるようにすることを目標とします。扱う問題の難易度は実際の入試問題よりもやや難しめではありますが、一問一問に身に付けてほしいポイントが詰まっています。毎回の予習は必須です。決められた解答時間いっぱいまで手を動かして自力で問題に取り組み、どこまで分かっているか、どこが分からないのかを明確にします。その上で授業に参加することで、学習効果は何倍にも高まります。授業内では、単なる問題の解説だけでなく、「問題の着眼点の解説」「解法の選択法の伝授」「定石手法のまとめ」なども行います。授業で扱った問題を復習し、自力で完全な答案を作り上げる練習をしてもらうことで、ゆるぎない実力を養います。

夏 期 ▶ 「図形問題」の普遍的解法を身に付ける

座標か、ベクトルか、幾何か。解法を見抜く力を習得するために、多面的アプローチを行います。一つの問題に対し、様々な別解を紹介することで「効率の良い解法」を選ぶ力を養います。円・球や正多面体に関する入試良問を通じてその取り扱い方を解説します。また、解析と幾何の融合問題として、多変数の処理の仕方や系統的な体積の計算方法を学んでもらいます。テキストには豊富な類題も掲載されているため、この一冊で図形問題の対策は完了します。この講義を受けることで、京大や阪大で頻出の図形問題を得点源にできるようになります。

5月～12月 ▶ 「テスト演習」で、答案作成能力を鍛え上げる

今まで学んだことをアウトプットする練習を積む「テスト演習」の形式の授業です。50分間で2問の問題を解き、答案を作ってもらいます。その後、担当講師による丁寧な解答・解説を行います。毎回、細かい採点・添削がなされます。必要に応じて補足の説明や、追加の問題を扱うこともあります。問題の難易度は、実際の京大・阪大・国公立医学部医学科の入試問題と同程度です。この演習を通じて、自分の理解度と表現力が浮き彫りにされ、何を強化していくべきかという指針が得られます。自分の弱点を直視することは苦しいことではありますが、これを克服することで、現役合格に必要な得点力が身に付いていきます。

冬期・直前 ▶ 「テスト演習」で最後の仕上げを行う

引き続き二次試験対策として、「テスト演習」を行います。これまでの演習と同じ形式です。特に、「入試本番で差がつく問題」を中心に選んであります。「手が付かない問題に出会ったときにどう切り崩し、部分点を稼ぐのか」「計算ミスを減らし、完答するための方法は」「今年狙われそうなテーマは」など、最後のチェックを行います。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			単元	科目	授業形式	
3月期	第1回	確率	場合の数・確率・数列	数学A	入試問題講義	
	第2回	整式	整式	数学IAIIB		
	第3回	論証・方程式	論証・方程式			
春期講習		和と極限・関数列 漸化式と極限 図形と極限 自然対数の底・チェビシェフ多項式	極限	数学III		
4月期	第1回	接線	微分法			
	第2回	増減・凹凸・最大最小・方程式への応用				
	第3回	不等式への応用				
5月期	第1回	極形式・方程式の解としての複素数	複素数平面	数学C		
	第2回	テスト演習+解説	発展演習	数学IAIIBIIC		演習&解説
	第3回	複素数列・図形としての複素数	複素数平面	数学C		入試問題講義
6月期	第1回	対称性・区分求積・積分漸化式	積分法	数学III	演習&解説	
	第2回	テスト演習+解説	発展演習	数学IAIIBIIC		
	第3回	定積分関数と最大最小	積分法	数学III	入試問題講義	
7月期	第1回	積分と不等式・面積評価	積分法	数学III	演習&解説	
	第2回	テスト演習+解説	発展演習	数学IAIIBIIC		
	第3回	体積	積分法	数学III		
夏期講習		効率の良い解法の探求 円徹底解明 図形における多変数の扱い 空間の求積理論 論証力と図形的センスの開発	図形問題の探求	数学C	入試問題講義	
9月期	第1回	テスト演習+解説	発展演習	数学IAIIBIIC	演習&解説	
	第2回	減衰曲線・積分の平均値の定理	微積分総合	数学III	入試問題講義	
	第3回	自然科学的問題				
第1回	定積分と面積・微分の定義					
10月期	第2回	テスト演習+解説				
	第3回	テスト演習+解説				
	第1回	テスト演習+解説				
11月期	第2回	テスト演習+解説				
	第3回	テスト演習+解説				
	第1回	テスト演習+解説				
12月期	第2回	テスト演習+解説	発展演習	数学IAIIBIIC	演習&解説	
	第3回	テスト演習+解説				
	冬期講習					冬期実践演習① 冬期実践演習② 冬期実践演習③ 冬期実践演習④
直前講習		最終チェック前編① 最終チェック前編② 最終チェック後編① 最終チェック後編②				

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3京大文系数学

講座案内 前期では入試問題にどのようにアプローチするかをテーマに単元別に学習していきます。なぜのように考えるのか、複数ある解法の中からなぜその解法を選ぶのかといった理論的な部分について理解を深めていきます。また、9月期からは演習を行うことで答案作成能力や論証方法などの実践力を高めていくとともに、今までに学習した内容が定着しているかどうかの確認を行います。

この講座からの合格大学 京都大学、一橋大学など

使用教材 【テキスト】『頂点への文系数学』／【補助教材】『難関大学への数学 I A IIBC [50の定石]』

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 主要な単元の重要理論を固める

京大で頻出の単元に絞り、重要理論の定着を目指します。入試問題にアプローチするための道具の解説と、その問題を見たときに思いつくアプローチの仕方を最初に説明し、どの道具を使って解くのか、なぜその解法なのかに主眼を置いて授業を展開します。各講義でのテーマをしっかりと押さえてもらうことで、自分で問題の切り崩し方が思いつくようになります。

夏期 ▶ 「図形問題」の普遍的解法を身に付ける

座標か、ベクトルか、幾何か。解法を見抜く力を習得するために、多面的アプローチを行います。一つの問題に対し、様々な別解を紹介することで「効率の良い解法」を選ぶ力を養います。この講義を受けることで、京大に頻出の図形問題を得点源にできるようになります。

9月～12月 ▶ 「テスト演習」で、答案作成能力を鍛え上げる

今まで学んだことをアウトプットする練習を積む「テスト演習」の形式の授業です。60分間で3問の問題を解き、その後担当講師による丁寧な解答・解説を行います。毎回、細かい採点・添削がなされます。必要に応じて補足の説明や、追加の問題を扱うこともあります。問題の難易度は、実際の京大の入試問題と同程度です。この演習を通じて、自分の理解度と表現力が浮き彫りになり、何を強化していくべきかという指針が得られます。

冬期・直前 ▶ 「テスト演習」で最後の仕上げを行う

引き続き二次試験対策として、「テスト演習」を行います。9月期～12月期と同じ形式です。特に、「入試本番で必ず完答したい問題」を中心に選んであるので最終チェックができます。「手が付かない問題に出会ったときにどう切り崩し、部分点を稼ぐのか」、「計算ミスを減らし、完答するための方法」、「今年狙われそうなテーマ」などのチェックを行います。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			単元	科目	授業形式
3月期	第1回	整式の除法	整式・方程式・不等式		
	第2回	方程式の実数解・チェビシェフの多項式			
	第3回	特殊不等式の利用			
春期講習		不定方程式の解法 組合せに関する問題・二項定理 剰余・合同式 互いに素・有理数・無理数	整数		
4月期	第1回	格子点の個数・和から一般項	数列		
	第2回	漸化式の作成			
	第3回	群数列・数列の最大最小・数学的帰納法			
5月期	第1回	領域を用いた最大・最小、特殊な文字の置き換え	図形問題		入試問題講義
	第2回	通過領域			
	第3回	ベクトル方程式の利用			
6月期	第1回	いろいろな確率	場合の数・確率		
	第2回	包含と排除の原理			
	第3回	確率漸化式			
7月期	第1回	最大最小・方程式・不等式	微分法・積分法		
	第2回	絶対値を含む定積分・定積分を含む関数			
	第3回	面積の計算			
夏期講習		道具の選択 円徹底攻略 折り紙問題 立体の切断 平面に関する問題	図形問題の探求	数学IAIIBC	
9月期	第1回	実践問題演習①	実践演習		演習 & 解説
	第2回	実践問題演習②			
	第3回	実践問題演習③			
10月期	第1回	実践問題演習④			
	第2回	実践問題演習⑤			
	第3回	実践問題演習⑥			
11月期	第1回	実践問題演習⑦			
	第2回	実践問題演習⑧			
	第3回	実践問題演習⑨			
12月期	第1回	実践問題演習⑩			
	第2回	実践問題演習⑪			
	第3回	実践問題演習⑫			
冬期講習		冬期実践演習① 冬期実践演習② 冬期実践演習③ 冬期実践演習④			
直前講習		最終チェック前編① 最終チェック前編② 最終チェック後編① 最終チェック後編②			

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3阪大神戸大理系数学★・高3スタンダード理系数学

講座案内 大阪大学・神戸大学レベルの二次試験での高得点獲得へ向けて、「典型問題の本質的理解」と「発展問題への対処法習得」を促す講義を行います。二次試験で頻出の数A・数B・数Ⅲ・数Cの単元を中心に、思考力を鍛え、論理的な答案の書き方まで指導します。また、大学入学共通テスト対策として自主学習教材「共通テスト対策冊子」を配付し、夏の終わりまでに基礎の習得を図ります。9月期以後は月に1度の「テストゼミ」で答案添削により記述力強化を図ります。成績上位者はランキングに掲載されるので、研伸館の仲間と切磋琢磨して学力向上を目指すことができます。

この講座からの合格大学 大阪大学、神戸大学、大阪公立大学、関関同立大、産近甲龍大など

使用教材 【テキスト】『飛躍する理系数学』／【補助教材】『共通テスト対策冊子』

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 「数学Ⅲ：極限・微分法」、「数学C：複素数平面」を中心に典型問題をマスターする

毎回の授業で、入試頻出の典型問題を単元別に扱います。各回に5問前後の問題が用意されています。そのうち指定された問題（毎回3問程度）を予習して、授業に臨んでください。指示された時間いっぱいまで手と頭を動かして試行錯誤し、不明な単語・定義・公式は検定教科書を確認し、自分がどこまで分かっている、どこからが分からないのかを明確にしておくことが大事です。授業では、ポイントを明確に表現し、陥りやすい罠を的確に指摘します。復習では、授業で扱った問題を自分の手で解ききれるように指導します。この予習・授業・復習のサイクルで、現役合格に必要な数学力を鍛えていきます。

夏期 ▶ 「数学C：ベクトル」の入試問題に挑戦する

差が付きやすい「数学C：ベクトル」の問題をテーマに、基礎の基礎からスタートして、大阪大学や神戸大学の入試問題のレベルに太刀打ちできる力を身に付けていきます。特に、内積の問題や、空間内の直線と平面の交点の問題などを確実に解ききれるようにします。この講義で、二次試験のベクトルの問題に対する不安感は消えます。

9月～12月 ▶ 「数学Ⅲ：積分法」の典型問題をマスターし、答案作成能力を鍛える

各月に1回、テストゼミ演習を行います。50分2問の入試問題を解き、現在の自分の力を確かめます。担当講師による丁寧な採点・添削により、どこをやり直してどこを鍛えればよいか明確になります。また、演習回以外では「数学Ⅲ：積分法」の典型問題を講義形式で練習します。3月期～7月期と同じように、予習・授業・復習のサイクルをしっかりと回していきます。積分法は計算力が命です。それを鍛えることを第一の目標とします。

冬期・直前 ▶ 最後のチェックとして、共通テストの演習と、二次試験対策を行う

冬期講習では、共通テスト対策として本番さながらの難易度の問題を使って練習をします。緊張感のある試験会場の雰囲気疑似体験することで、焦りによるミスや混乱を減らすことができるようになります。本番で1点でも多く点数が取れるようになるための、最後のチェックポイントを授業内で伝えます。直前講習では、実際に本番で出題されるであろうテーマを予想し、その対策を行います。合格に必須の答案作成術を講義します。

★西宮校は「高3阪大理系数学」・「高3神大国立大理系数学」

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			単元	科目	授業形式
3月期	第1回	整式	複素数と方程式	数学II	
	第2回	方程式	式と証明		
	第3回	不等式			
春期講習		数列の極限	数列の極限	数学III	
		繰り返し図形			
		無限級数			
		関数の極限	関数の極限		
4月期	第1回	基本的な確率	確率	数学A	
	第2回	確率漸化式	融合問題	数学IAIIBIIC	
	第3回	確率と他分野の融合問題			
GW特訓(テーマ別講座)		データの分析	データの分析	数学I	
5月期	第1回	連続性・微分可能性・導関数の定義	微分法	数学III	入試問題講義
	第2回	接線の方程式・方程式の実数解の個数			
	第3回	最大最小の問題			
6月期	第1回	不等式の証明・平均値の定理	図形と方程式	数学IIC	
	第2回	図形と方程式①			
	第3回	図形と方程式②			
7月期	第1回	極形式・方程式の解としての複素数	複素数平面	数学C	
	第2回	図形と複素数			
	第3回	複素数平面と軌跡			
夏期講習		位置ベクトルと線分に関する問題	ベクトル		
		内積と円のベクトル方程式に関する問題			
		領域に関する問題			
		空間図形に関する問題			
		空間座標に関する問題			
夏期1日完結講座		共通テスト演習・解説	演習	数学IAIIBC	
9月期	第1回	テスト演習+解説	発展演習	数学IAIIBIIC	演習&解説
	第2回	定積分と最大最小・絶対値の処理	積分法	数学III	入試問題講義
	第3回	定積分と不等式			
10月期	第1回	テスト演習+解説	発展演習	数学IAIIBIIC	演習&解説
	第2回	積分漸化式	積分法	数学III	入試問題講義
	第3回	周期性の利用・定積分で表された関数			
秋の特別講座		共通テスト・現実事象対策	共通テスト対策	数学IAIIBC	
11月期	第1回	テスト演習+解説	発展演習	数学IAIIBIIC	演習&解説
	第2回	面積	積分法	数学III	入試問題講義
	第3回	体積			
12月期	第1回	テスト演習+解説	発展演習	数学IAIIBIIC	演習&解説
	第2回	図形に関する発展問題①	発展問題・融合問題		入試問題講義
	第3回	図形に関する発展問題②			
冬期講習		共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習①	共通テスト突破の実践演習	数学IAIIBC	演習&解説
		共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習②			
		共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習③			
		共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習④			
年末年始特別講座		共通テスト数学IA・IIBC講義	共通テスト重要問題講義		
直前講習	最終チェック前編①		阪大神大理工学数学最終チェック講義	数学IAIIBIIC	入試問題講義
	最終チェック前編②				
	最終チェック後編①				
	最終チェック後編②				

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3阪大神大文系数学

講座案内 大阪大学・神戸大学レベルの二次試験での高得点奪取に向けて、「典型問題の本質的理解」と「発展問題への対処法習得」を促す講義を行います。二次試験での頻出テーマを中心に、思考力を鍛え、論理的な答案の書き方まで指導します。また、大学入学共通テスト対策として自主学習教材「共通テスト対策冊子」を配付し、夏の終わりにまでに基礎の習得を図ります。

この講座からの合格大学 大阪大学、神戸大学、大阪公立大学など

使用教材 【テキスト】『飛躍する文系数学』／【補助教材】『共通テスト対策冊子』

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 現役合格に必要な「数学ⅠAⅡB」の重要解法をマスターする

各単元で出題頻度の高い「典型問題」の解法を身に付けます。ただ公式を丸暗記するだけでは、難関大学の二次試験どころか共通テストですら対応できません。「本質的理解」すなわち「なぜそうなるのか」「どんなときこの解法を使うのか」を意識して取り組むことが必要です。授業では、ただ問題を解くだけでなく、基本的な定義や理論、公式の確認もしっかり行い、その上で「なぜ」を問いかけていきます。予習・授業・復習のサイクルで、「考える力」を養うとともに、「共通テスト対策冊子」を用いた練習で読解力や計算力も鍛えます。

夏 期 ▶ 「数学C：ベクトル」の入試問題に挑戦する

差が付きやすい「数学C：ベクトル」の問題をテーマに、基礎からスタートして、大阪大学や神戸大学の入試問題のレベルに太刀打ちできる力を身に付けていきます。特に、内積の問題や、空間内の直線と平面の交点の問題などを確実に解ききれるようにします。この講義で、二次試験のベクトルの問題に対する不安感を無くしましょう。

9月～12月 ▶ 二次試験で差がつく発展問題に挑戦する

夏までに培った基礎力をさらに伸ばしつつ、難易度の高い応用問題に挑戦していきます。複数の単元が融合している問題では、どの解法を選ぶべきかの判断力や、状況を掴むための試行錯誤、得られた結果を式を使うなどして一般的に表現する力などが重要です。大阪大学や神戸大学でよく出題される形式の問題ばかりなので、このテキストと講義によって、二次試験で数学を武器にすることができるようになります。

冬期・直前 ▶ 最後のチェックとして、共通テストの演習と二次試験対策を行う

冬期講習では、共通テスト対策として本番さながらの難易度の問題を使って練習をします。緊張感のある試験会場の雰囲気を疑似体験することで、焦りによるミスや混乱を減らすことができるようになります。本番で1点でも多く点数が取れるようになるための、最後のチェックポイントを授業内で伝えます。直前講習では、実際に本番で出題されるであろうテーマを予想し、その対策を行います。合格に必須の答案作成術を講義します。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			単元	科目	授業形式	
3月期	第1回	三角比	図形と計量	数学I	入試問題講義	
	第2回	2次関数のグラフ	2次関数			
	第3回	2次関数と最大・最小				
春期講習		三角関数の最大最小・方程式・不等式 三角関数の最大最小・方程式・不等式 指数関数・対数関数の最大最小・方程式・不等式 指数関数・対数関数の最大最小・方程式・不等式	三角関数 指数関数・対数関数	数学II		
4月期	第1回	並べ方の個数・反復試行	場合の数・確率	数学A		
	第2回	条件付き確率	数列	数学B		
	第3回	等差数列・等比数列				
GW特訓(テーマ別講座)		データの分析	データの分析	数学I		
5月期	第1回	いろいろな和の計算	数列	数学B		
	第2回	漸化式の基本				
	第3回	群数列				
6月期	第1回	軌跡	図形と方程式	数学II		
	第2回	領域	統計的な推測	数学B		
	第3回	統計				
7月期	第1回	3次関数の最大最小・接線の本数	微分法・積分法	数学II		
	第2回	定積分と最大最小				
	第3回	微分・積分の融合問題				
夏期講習		位置ベクトルと線分比に関する問題 内積と円のベクトル方程式に関する問題 領域に関する問題 空間図形に関する問題 空間座標に関する問題	ベクトル	数学C		
夏期1日完結講座		共通テスト演習・解説	演習		演習・解説	
9月期	第1回	関数に関する問題	関数総合問題	数学IAIIBC	入試問題講義	
	第2回	関数に関する問題	整式問題の発展			
	第3回	整式に関する問題				
10月期	第1回	証明に関する問題	証明問題の発展			
	第2回	多変数の最大最小の問題	関数総合問題			
	第3回	面積に関する問題	微分法・積分法の発展			
秋の特別講座		共通テスト・現実事象対策	共通テスト対策			
11月期	第1回	通過領域に関する問題	図形と方程式の発展			数学IAIIBC
	第2回	確率との融合問題	場合の数・確率の発展			
	第3回	確率と漸化式				
12月期	第1回	漸化式的应用問題	数列の発展	数学IAIIBC		
	第2回	図形量に関する問題	図形総合問題			
	第3回	ベクトルの応用問題	ベクトルの発展			
冬期講習		共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習① 共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習② 共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習③ 共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習④	共通テスト突破の実践演習		演習&解説	
年末年始特別講座		共通テスト数学IA・IIBC講義	共通テスト重要問題講義			
直前講習		最終チェック前編① 最終チェック前編② 最終チェック後編① 最終チェック後編②	阪大神大文系数学最終チェック講義		入試問題講義	

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3スタンダード文系数学【～7月期】

講座案内 共通テストにおいて基本問題が完答できる数学力の養成を目指します。数学の受験対策を基礎から始めたい人におすすめの講座です。共通テストは基本事項の積み重ねによって解くことができるので、まずは曖昧になっている公式や考え方の確認をしていきます。夏期までに数学ⅠAⅡBCの主要単元を網羅できるカリキュラムになっており、9月期からしっかりと共通テスト対策をすることができます。

この講座からの合格大学 大阪公立大学、関関同立大、産近甲龍大など

使用教材 【テキスト】『飛躍する文系数学』／【補助教材】『共通テスト対策冊子』

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 「数学ⅠAⅡBC」の重要単元を一つ一つ丁寧に学んでいく

共通テストや二次試験で絶対に落とせない重要な単元のテーマを講義します。ただ公式を丸暗記するだけでは、各大学の二次試験や共通テストには対応できません。「本質的理解」すなわち「なぜそうなるのか」「どんなときこの解法を使うのか」を意識して取り組むことが必要です。この「高3スタンダード文系数学」の講義によって、曖昧に理解している部分を整理することで「完璧な理解」にして、「どんなふうに出題されても正解できる」状態に持っていきます。

夏期 ▶ 「数学C：ベクトル」の基礎を固める

苦手とする人の多い「数学C：ベクトル」の問題を克服します。基礎の基礎からスタートして、標準的な入試問題のレベルに太刀打ちできる力を身に付けていきます。特に、内積の問題や、空間内の直線と平面の交点の問題などを確実に解ききれるようにします。この講義で、共通テストおよび二次試験のベクトルの問題に対する不安感は消えます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			単元	科目	授業形式
3月期	第1回	三角比	図形と計量	数学I	入試問題講義
	第2回	2次関数のグラフ	2次関数		
	第3回	2次関数と最大・最小			
春期講習	三角関数の最大最小・方程式・不等式		三角関数	数学II	
	三角関数の最大最小・方程式・不等式		指数関数・対数関数		
	指数関数・対数関数の最大最小・方程式・不等式 指数関数・対数関数の最大最小・方程式・不等式				
4月期	第1回	並べ方の個数・反復試行	場合の数・確率	数学A	
	第2回	条件付き確率	数列	数学B	
	第3回	等差数列・等比数列			
GW特訓(テーマ別講座)		データの分析	データの分析	数学I	
5月期	第1回	いろいろな和の計算	数列	数学B	
	第2回	漸化式の基本			
	第3回	群数列			
6月期	第1回	軌跡	図形と方程式	数学II	
	第2回	領域	統計的な推測	数学B	
	第3回	統計			
7月期	第1回	3次関数の最大最小・接線の本数	微分法・積分法	数学II	
	第2回	定積分と最大最小			
	第3回	微分・積分の融合問題			
夏期講習	位置ベクトルと線分比に関する問題		ベクトル	数学C	
	内積と円のベクトル方程式に関する問題				
	領域に関する問題				
	空間図形に関する問題				
		空間座標に関する問題			
夏期1日完結講座		共通テスト演習・解説	演習	数学IAIIBC	演習・解説

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3共通テスト数学【9月期～】

講座案内 この講座では9月期と10月期で共通テスト対策の講義を行い、基本事項の確認および計算テクニックの確認をしていきます。11月期と12月期は実際に時間を計って演習することで、知識の定着の確認をするだけでなく、時間の使い方や計算テクニック等、実際に使える数学を習得することを目的としています。共通テストで数学を受験するすべての人が対象となる講座です。

この講座からの合格大学 大阪大学、神戸大学、大阪公立大学・その他国立大学など

使用教材 【プリント】『高3共通テスト数学』

指導内容と目的

9月～10月 ▶ 共通テストで必須となる基礎力を固める

基本となる「知識」をしっかりと身に付けたいうえで、「思考力・判断力・表現力」を高めていきます。正しい定義・定理・公式の使い方が分かっていなければ、いくら練習を積んだところで効果は薄いです。まずは、講義形式で基礎力を固め、さらに現実事象や長い誘導がある問題など、共通テストで出題されやすい問題形式も練習していきます。9月期は数学ⅠAを、10月期は数学ⅡBCの特に出題頻度が高い単元を中心に講義を行います。

11月～12月 ▶ 共通テストの形式に慣れる

共通テストと同じ形式の問題を使って、演習を行います。11月までに身に付けた基礎力を、しっかりと出し切ることができるようにします。長い問題文を読んだときに素早く要点を掴むにはどうしたらよいか、読み取りにくい誘導にどうやってうまく乗っていくのかなど、実践的な解説も行います。また、計算ミスをしないようにするための余白の使い方や、時間配分の決め方など、点数を上げるためにできることはすべてやり切っていきます。数学ⅠAと数学ⅡBCを交互に演習します。

冬期・直前 ▶ 最後のチェックとして、共通テストの演習を行う

冬期講習では、共通テスト対策として本番さながらの難易度の問題を使って練習をします。緊張感のある試験会場の雰囲気を疑似体験することで、焦りによるミスや混乱を減らすことができるようになります。本番で1点でも多く点数が取れるようになるための、最後のチェックポイントを授業内で伝えます。直前講習では、「ファイナル演習」として、予想問題演習を行います。共通テストの形式に十分に慣れていきましょう。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			単元	科目	授業形式	
9月期	第1回	共通テストIA対策講義①	共通テストI A 重要単元講義	数学IA	入試問題講義	
	第2回	共通テストIA対策講義②				
	第3回	共通テストIA対策講義③				
10月期	第1回	共通テストIIBC対策講義①	共通テストII BC 重要単元講義	数学IIBC		
	第2回	共通テストIIBC対策講義②				
	第3回	共通テストIIBC対策講義③				
秋の特別講座		共通テスト・現実事象対策	共通テスト対策	数学IAIIBC		
11月期	第1回	共通テストIA対策演習①	共通テスト対策演習	数学IA	演習&解説	
	第2回	共通テストIIBC対策演習①		数学IIBC		
	第3回	共通テストIA対策演習②		数学IA		
12月期	第1回	共通テストIIBC対策演習②		共通テスト突破の実践演習		数学IIBC
	第2回	共通テストIA対策演習③				数学IA
	第3回	共通テストIIBC対策演習③				数学IIBC
冬期講習		共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習① 共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習② 共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習③ 共通テスト数学IA・IIBCのテスト演習④	共通テスト突破の実践演習	数学IAIIBC		
年末年始特別講座		共通テスト数学IA・IIBC講義	共通テスト重要問題講義		入試問題講義	
直前講習		共通テスト数学IA・IIBCファイナル演習	共通テストファイナル演習		演習&解説	

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3数学理系HS【～7月期】

講座案内 数学Ⅲの「微分法」と「極限」既習者対象。理系の数学入試において約4割を占めると言われる数学Ⅲ。しかし、多くの受験生にとって経験値が低く、苦手とする分野でもあります。早期に数学Ⅲを学び、得意分野にすることが、理系入試の戦略として重要です。毎回の講義に加え、補助教材である『Weekly Practice』『百撰錬磨＝大学入試への数学Ⅲ基本解法集』を活用することで、早期に数学Ⅲの知識を定着させましょう（高3前期で全単元を終了予定）。

この講座からの合格大学 京都大学、大阪大学、神戸大学、大阪公立大学など

使用教材 【テキスト】『高校数学ⅢⅢC』導入編
【補助教材】『百撰錬磨＝大学入試への数学Ⅲ基本解法集』、『Weekly Practice』、『共通テスト対策冊子』

指導内容と目的

3月～4月 ▶ 「数学Ⅲ：微分法」の基礎～応用を学ぶ

数学Ⅲの「極限」と「微分の計算」の知識を必要とします。凹凸を調べ、関数のグラフをより正確に描くことができるようになります。また微分法の方程式・不等式への応用や平均値の定理も学びます。数学Ⅱの微分法より計算量も多く内容も深くなります。しっかり学習していきましょう。3月は主に基本事項を、4月は微分法の総まとめとして基礎～標準的な大学入試問題を扱います。夏以降に、より発展的な内容で学力向上を目指すためにも確固たる基礎学力をつけておきましょう。

春 期 ▶ 「数学C：平面上の曲線、複素数平面」の基礎～応用を学ぶ

「数学C：平面上の曲線」では、分関関数、無理関数が表す曲線や、放物線、楕円、双曲線といった新たな曲線の性質を学びます。「数学C：複素数平面」では、「数学Ⅱ：高次方程式、複素数、図形と方程式、三角関数」「数学C：平面ベクトル」の知識を必要とします。数としての複素数、図形としての複素数、変換としての複素数など、様々な側面のある複素数の基本計算を平面上の点やベクトルとして捉えることで理解していきます。この単元を苦手とする受験生が多いのは、高次方程式という代数系分野と座標平面上での図形を扱う幾何系の分野が融合しているからです。短期間で習得できる単元ではありませんので、この春期講習で確固たる基礎学力をつけておきましょう。

5月～7月 ▶ 「数学Ⅲ：積分法」の基本理論と計算を一から学ぶ

5月は積分の計算方法を学びます。受講のためには「数学Ⅱ：積分法」および「数学Ⅲ：微分法」の知識が必要です。「部分積分法」や「置換積分法」という数Ⅲ特有のテクニックをマスターします。高校数学で最も計算力が必要な単元です。また無限級数への応用や面積・体積・曲線の長さの求め方も学びます。夏以降から本格的に入試問題に取り組むために、前期までにすべての単元を終えておくことが必要不可欠です。しっかり取り組んでください。7月1回目と2回目は「微積分総合」として総復習します。なお、7月3回目の授業では「復習テスト」として、9月以降の受講講座の判定試験があります。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。一部校舎はカリキュラムが異なります。

			単元	科目	授業形式
3月期	第1回	関数の増減と凹凸・グラフの概形	微分法	数学Ⅲ	
	第2回	最大最小・方程式への応用			
	第3回	不等式への応用・平均値の定理			
春期講習	分数関数・無理関数・逆関数・合成関数①		平面上の曲線	数学C	単元導入
	分数関数・無理関数・逆関数・合成関数②				
	放物線・楕円・双曲線①				
	放物線・楕円・双曲線②				
	複素数の計算		複素数平面		
	複素数平面と極形式				
図形と複素数					
軌跡と複素数					
4月期	第1回	微分の応用①	微分法		
	第2回	微分の応用②			
	第3回	微分の応用③			
5月期	第1回	不定積分・定積分	積分法	数学Ⅲ	
	第2回	部分積分法			
	第3回	置換積分法			
6月期	第1回	区分求積法			
	第2回	面積			
	第3回	体積・曲線の長さ			
7月期	第1回	微積分総合①	微分法・積分法		応用問題
	第2回	微積分総合②			
	第3回	復習テスト	総合		

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3東大国語

講座案内 東大（文科・理科）の出題傾向を踏まえた教材で、国語の論述問題での高得点を目指す講座です。重要単語・文法・句形・常識・文学史等の知識がまとまった資料集、授業内容の復習となるよう配置された共通テスト対策用の教材も配布するので、本講座のみで必要十分な内容を提供します。また答案を回収し、フィードバックも行います。なお、東大以外を受験するかも知れないという人も東大受験の可能性が高いうちは本講座を受講してください（ある程度他大学にも対応します）。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、一橋大学など

使用教材 【テキスト】『上級論述国語』『夢を叶える！国語』【補助教材】『国語資料集』

指導内容と目的

概論 ▶ 東大の二次試験の国語で点数を稼ぐ力を養う

まず東大では共通テストの点数が大幅に圧縮されるため、国語の点数の価値としては「共通テストの大問＝二次試験の小問」と覚えておきましょう。次に二次試験の傾向ですが、まず現代文について、評論はテーマが多岐に渡って出題されています。随筆は文学的素養を試すようなテーマがよく出題され、難度は高めです。古文は、中古・中世の典型的な内容の物語を中心に、様々なジャンルが出題され、年度によって文章の難易度に差があります。漢文は、史伝や説話がよく出題され、典型的なものも多く、得点源にしやすいです。設問は、知識を駆使した文章内容理解を前提に、出題意図を見抜く力、解答欄に応じて端的に表現する力が特に求められています。このような東大の国語で高得点を取るために、本講座では毎回東大形式の設問を抜い一つ、月ごとに頻出のテーマやジャンルの解説を行い、必要とされる能力の養成を図ります。

3月～7月 ▶ テーマ・ジャンルの基本事項理解、さまざまな設問パターンの習得を目指す（インプット重視）

3月期では、古典文法と漢文句形の総まとめを行います。「入試ではこのように問われる」という実戦的な形で教えるので、すでに覚えたという人も疎かにしないで下さい。春期講習では、共通テストと二次論述の学習方針についてお話しします。この4日間で習う内容が今後の学習効率に大きく関わるので、必ず受講してください。4月～7月期では、月ごとに頻出テーマ・ジャンルについて話します。基礎力（あくまで東大レベルのそれですが）養成期間として現代文のテーマごとの必須知識や重要語句の習得、古典ではジャンルごとの読解法や設問パターンの習得を行います。

夏期～12月 ▶ テーマ・ジャンルの応用事項理解、設問への効率的アプローチ法の習得を目指す（アウトプット重視）

夏期講習では、より実戦的な文章の読み方、設問の解き方に言及していきます。そのために必要なテクニックを余すところなく伝え、秋以降に各自で行っていく過去問演習への下準備を行います。9月～12月期では、適宜演習も入れつつ、応用力養成期間として4月～7月期に指導したテーマやジャンルの再確認（多くの生徒は一度習っただけでは定着していません）とその応用的な視点を伝えていきます。スパイラル方式でもう一度確認することで必要な知識の確実な定着を図ります（4月～7月期を受講していない人は1回の授業で完全に理解してもらいます）。

冬期・直前 ▶ 見落としがちなポイントのチェックと予想問題の演習を行う

冬期講習では、東大形式の設問を時間配分も考慮しつつ制限時間内で解き、これまで習ってきた読解法と解答法が正しく運用できているかをチェックし、さらなる得点アップを目指します。直前講習では、見落としがちなポイントを総チェックする「最終チェック」の講座と、予想問題の演習と解説を行う「ファイナル演習」を行い、最後の仕上げを行います。この時期は自主的に過去問も解いていくこととなりますが、これまでの授業内容がきちんと身につけていると、文章内容を他の受験生よりも一段深いところで理解し、フィードバックで考えることはなく、設問の意図を的確かつ瞬時に理解し、豊富な語彙に裏打ちされた美しい答案が作成できています。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			評論	随筆	小説	古文	漢文	マーク式	記述式	基礎力養成	応用力養成
3月期	第1回	古典文法の用言・助動詞・助詞の総まとめ				●				●	●
	第2回	古典文法の(識別・敬語の総まとめ)				●				●	●
	第3回	漢文句形の総まとめ					●			●	●
春期講習		評論の正しい読み方	●					▲	●	●	●
		小説の正しい読み方			●			▲	●	●	●
		古文の正しい読み方				●		▲	●	●	●
		漢文の正しい読み方					●	▲	●	●	●
4月期	第1回	近代思想・近代批判①/人物像・人物関係の理解①	●		●			▲	●	●	●
	第2回	典型的な歌論①/問答形式の考え方①				●	●	▲	●	●	●
	第3回	評論寄りの随筆①/さまざまな歌論①		●		●		▲	●	●	●
GW特訓(テーマ別講座)		古文常識				●				●	●
5月期	第1回	言語理論①/心情展開の理解①	●		●			▲	●	●	●
	第2回	説話(世俗説話と仏教説話)①/政策意見の考え方①				●	●	▲	●	●	●
	第3回	現古融合形式の随筆①/紀伝体の歴史物語①		●		●		▲	●	●	●
6月期	第1回	行動心理・芸術①/象徴の理解①	●		●			▲	●	●	●
	第2回	日記・紀行①/論説の考え方①				●	●	▲	●	●	●
	第3回	文語の随筆①/編年体の歴史物語①		●		●		▲	●	●	●
7月期	第1回	学問・アイデンティティなど①/布石と余韻の理解①	●		●			▲	●	●	●
	第2回	作り物語①/漢詩の考え方①				●	●	▲	●	●	●
	第3回	小説寄りの随筆①/歌物語①		●		●		▲	●	●	●
夏期講習①		東大国語の正しい解き方①	●			●		▲	●	●	●
		東大国語の正しい解き方②		●	▲		●	▲	●	●	●
		東大国語の正しい解き方③	●			●		▲	●	●	●
		東大国語の正しい解き方④		●			●	▲	●	●	●
		東大国語まとめ演習	●			●	●	▲	●	●	●
夏期講習②		古文演習①				●			●	●	●
		古文演習②				●			●	●	●
		古文演習③				●			●	●	●
		古文演習④				●			●	●	●
		古文演習⑤				●			●	●	●
9月期	第1回	近代思想・近代批判②/人物像・人物関係の理解②	●		●			▲	●	●	●
	第2回	典型的な歌論②/問答形式の考え方②				●	●	▲	●	●	●
	第3回	評論寄りの随筆②/さまざまな歌論②		●		●		▲	●	●	●
10月期	第1回	言語理論②/心情展開の理解②	●		●			▲	●	●	●
	第2回	説話(世俗説話と仏教説話)②/政策意見の考え方②				●	●	▲	●	●	●
	第3回	現古融合形式の随筆②/紀伝体の歴史物語②		●		●		▲	●	●	●
秋の特別講座①		文学的文章①		●	●				●	●	●
		文学的文章②		●	●				●	●	●
秋の特別講座②		古文演習①				●			●	●	●
		古文演習②				●			●	●	●
11月期	第1回	行動心理・芸術②/象徴の理解②	●		●			▲	●	●	●
	第2回	日記・紀行②/論説の考え方②				●	●	▲	●	●	●
	第3回	文語の随筆②/編年体の歴史物語②		●		●		▲	●	●	●
12月期	第1回	学問・アイデンティティなど②/布石と余韻の理解②	●		●			▲	●	●	●
	第2回	作り物語②/漢詩の考え方②				●	●	▲	●	●	●
	第3回	小説寄りの随筆②/歌物語②		●		●		▲	●	●	●
冬期講習		東大国語実戦演習①	●			●			●	●	●
		東大国語実戦演習②		●			●		●	●	●
		東大国語実戦演習③	●			●			●	●	●
		東大国語実戦演習④		●			●		●	●	●
直前講習		東大現代文最終チェック(前編)	●	●					●	●	●
		東大古文最終チェック(前編)				●			●	●	●
		東大漢文最終チェック(前編)					●		●	●	●
		東大現代文最終チェック(後編)	●	●					●	●	●
		東大古文最終チェック(後編)				●			●	●	●
		東大漢文最終チェック(後編)					●		●	●	●
		東大文科国語ファイナル	●	●		●	●		●	●	●
		東大理科国語ファイナル	●			●	●		●	●	●

※▲は講義でメインに扱わない問題、演習での選択問題など。

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3京大国語

講座案内 京大（文系・理系）や阪大文学部などの出題傾向を踏まえた教材で、国語の論述問題での高得点を目指す講座です。重要単語・文法・句形・常識・文学史等の知識がまとまった資料集、授業内容の復習となるよう配置された共通テスト対策用の教材も配布するので、本講座のみで必要十分な内容を提供します。また答案を回収し、フィードバックも行います。なお、京大以外を受験するかも知れないという人も京大受験の可能性が高いうちは本講座を受講してください（ある程度他大学にも対応します）。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、一橋大学など

使用教材 【テキスト】『上級論述国語』『夢を叶える！国語』【補助教材】『国語資料集』

指導内容と目的

概論 ▶ 京大の二次試験の国語で点数を稼ぐ力を養う

まず「京大は国語の配点が高い」（理系学部なら理科1科目と配点が変わらないことが多い）ということをお覚えしておきましょう。次に二次試験の傾向ですが、まず現代文について、評論はテーマが多岐に渡って出題されています。随筆もよく出題されており、文芸のテーマが多めです。小説もたまに出題されます。古文は近世の、歌論や和歌を含む随筆のジャンルが比較的多く、稀に小問として漢文も出題されます。文章は短く読みやすいものが多い分、設問は解答欄が大きく、難度も高めなので、背景知識を駆使した深い思考力や論理的に説明する表現力が特に求められています。このような京大の国語で高得点を取るために、本講座では毎回京大形式の設問を扱いつつ、月ごとに主要なテーマやジャンルの解説を行い、必要とされる能力の養成を図ります。

3月～7月 ▶ テーマ・ジャンルの基本事項理解、さまざまな設問パターンの習得を目指す（インプット重視）

3月期では、古典文法と漢文句形の総まとめを行います。「入試ではこのように問われる」という実践的な形で教えるので、すでに覚えたという人も疎かにしないで下さい。春期講習では共通テストと二次論述の学習方針についてお話しします。この4日間で習う内容が今後の学習効率に大きく関わるので、必ず受講してください。4月～7月期では、月ごとに頻出テーマ・ジャンルについて話します。基礎力（あくまで京大レベルのそれですが）養成期間として現代文のテーマごとの必須知識や重要語句の習得、古典ではジャンルごとの読解法や設問パターンの習得を行います。

夏期～12月 ▶ テーマ・ジャンルの応用事項理解、設問への効率的アプローチ法の習得を目指す（アウトプット重視）

夏期講習では、より実践的な文章の読み方、設問の解き方に言及していきます。そのために必要なテクニックを余すところなく伝え、秋以降に各自で行っていく過去問演習への下準備を行います。9月～12月期では、適宜演習も入れつつ、応用力養成期間として4月～7月期に指導したテーマやジャンルの再確認（多くの生徒は一度習っただけでは定着していません）とその応用的な視点を伝えていきます。スパイラル方式でもう一度確認することで必要な知識の確実な定着を図ります（4月～7月期を受講していない人は1回の授業で完全に理解してもらいます）。

冬期・直前 ▶ 見落としがちなポイントのチェックと予想問題の演習を行う

冬期講習では、京大形式の設問を時間配分も考慮しつつ制限時間内で解き、これまで習ってきた読解法と解答法が正しく運用できているかをチェックし、さらなる得点アップを目指します。直前講習では、見落としがちなポイントを総チェックする「最終チェック」の講座と、予想問題の演習と解説を行う「ファイナル演習」を行い、最後の仕上げを行います。この時期は自主的に過去問も解いていくこととなりますが、これまでの授業内容がきちんと身につけていると、文章内容を他の受験生よりも一段深いところで理解し、フィードバックで考えることなく、設問の意図を的確かつ瞬時に理解し、豊富な語彙に裏打ちされた美しい答案が作成できているはずですよ。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			評論	随筆	小説	古文	漢文	マーク式	記述式	基礎力養成	応用力養成
3月期	第1回	古典文法の用言・助動詞・助詞の総まとめ				●				●	●
	第2回	古典文法の(識別・敬語の総まとめ)				●				●	●
	第3回	漢文句形の総まとめ					●			●	●
春期講習		評論の正しい読み方	●					▲	●	●	●
		小説の正しい読み方			●			▲	●	●	●
		古文の正しい読み方				●		▲	●	●	●
		漢文の正しい読み方					●	▲	●	●	●
4月期	第1回	近代思想・近代批判①/人物像・人物関係の理解①	●		●			▲	●	●	●
	第2回	典型的な歌論①/問答形式の考え方①				●	●	▲	●	●	●
	第3回	評論寄りの随筆①/さまざまな歌論①		●		●		▲	●	●	●
GW特訓(テーマ別講座)		古文常識				●				●	●
5月期	第1回	言語理論①/心情展開の理解①	●		●			▲	●	●	●
	第2回	説話(世俗説話と仏教説話)①/政策意見の考え方①				●	●	▲	●	●	●
	第3回	現古融合形式の随筆①/紀伝体の歴史物語①		●		●		▲	●	●	●
6月期	第1回	行動心理・芸術①/象徴の理解①	●		●			▲	●	●	●
	第2回	日記・紀行①/論説の考え方①				●	●	▲	●	●	●
	第3回	文語の随筆①/編年体の歴史物語①		●		●		▲	●	●	●
7月期	第1回	学問・アイデンティティなど①/布石と余韻の理解①	●		●			▲	●	●	●
	第2回	作り物語①/漢詩の考え方①				●	●	▲	●	●	●
	第3回	小説寄りの随筆①/歌物語①		●		●		▲	●	●	●
夏期講習①		京大国語の正しい解き方①	●			●		▲	●	●	●
		京大国語の正しい解き方②		●	●		▲	▲	●	●	●
		京大国語の正しい解き方③	●			●		▲	●	●	●
		京大国語の正しい解き方④		●			●	▲	●	●	●
		京大国語まとめ演習	●		▲	●	▲	▲	●	●	●
夏期講習②		古文演習①				●			●	●	●
		古文演習②				●			●	●	●
		古文演習③				●			●	●	●
		古文演習④				●			●	●	●
		古文演習⑤				●			●	●	●
9月期	第1回	近代思想・近代批判②/人物像・人物関係の理解②	●		●			▲	●	●	●
	第2回	典型的な歌論②/問答形式の考え方②				●	●	▲	●	●	●
	第3回	評論寄りの随筆②/さまざまな歌論②		●		●		▲	●	●	●
10月期	第1回	言語理論②/心情展開の理解②	●		●			▲	●	●	●
	第2回	説話(世俗説話と仏教説話)②/政策意見の考え方②				●	●	▲	●	●	●
	第3回	現古融合形式の随筆②/紀伝体の歴史物語②		●		●		▲	●	●	●
秋の特別講座①		文学的文章①		●	●				●	●	●
		文学的文章②		●	●				●	●	●
秋の特別講座②		古文演習①				●			●	●	●
		古文演習②				●			●	●	●
11月期	第1回	行動心理・芸術②/象徴の理解②	●		●			▲	●	●	●
	第2回	日記・紀行②/論説の考え方②				●	●	▲	●	●	●
	第3回	文語の随筆②/編年体の歴史物語②		●		●		▲	●	●	●
12月期	第1回	学問・アイデンティティなど②/布石と余韻の理解②	●		●			▲	●	●	●
	第2回	作り物語②/漢詩の考え方②				●	●	▲	●	●	●
	第3回	小説寄りの随筆②/歌物語②		●		●		▲	●	●	●
冬期講習		京大国語実戦演習①	●		●				●	●	●
		京大国語実戦演習②		●	●		▲		●	●	●
		京大国語実戦演習③	●			●			●	●	●
		京大国語実戦演習④		●			●		●	●	●
直前講習		京大現代文最終チェック(前編)	●	●	▲				●	●	●
		京大古文最終チェック(前編)				●	▲		●	●	●
		京大現代文最終チェック(後編)	●	●	▲				●	●	●
		京大古文最終チェック(後編)				●	▲		●	●	●
		京大文系国語ファイル	●	●		●			●	●	●
		京大理系国語ファイル	●	●		●			●	●	●

※▲は講義でメインに扱わない問題、演習での選択問題など。

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3阪大神大国語

講座案内 大阪大学(文系)、神戸大学(文系)は、まず共通テストでの8割奪取が二次試験へコマをすすめる第一条件です。よって、7月期までは「共通テスト」の対策に特化した講義を行います。現・古・漢を限られた時間内で「処理」するためには、「現代文」だけ、「古文」だけ、「漢文」だけ、という専門ジャンルごとに深く学んでいく姿勢は、時代に合わないので、現・古・漢で極力解法を統一して、共通テストの対策を行います。そして、夏期から12月期にかけては記述の問題を増やしていき、合格へのサクセスロードを開通させます。
※古典文法や漢文の句形に自信がない人は、講習などで、別途、基礎事項を埋める必要があります。

この講座からの合格大学 大阪大学(文系学部)、神戸大学(文系学部)、大阪公立大学(文系学部)、神戸市外国語大学など

使用教材 【テキスト】『夢を叶える!国語』【補助教材】『国語資料集』

指導内容と目的

概論 ▶ 現・古・漢、共通テスト対策、二次試験対策を総合的に教授する

「共通テストのマーク式問題」と「記述式の二次試験の問題」との間には共通点も多くあります。また、現・古・漢にも「指示語内容の限定」、「対比を用いた読解」、「文章全体の構造の把握」など、共通項も多くあります。これらの共通点をバランスよく教え、さらに古文単語や古典文法、漢文の句形などを確認しながら、根拠をもって問題を解く方法を提示します。

3月~夏期 ▶ 時間を気にせず、明確な根拠を持って解く方法を身につける

3月期では、高2までに習っている古典文法と漢文句形をチェックし、古文漢文に関する知識の確認を行います。春期講習では評論・文学的な文章・古文・漢文の基本事項をダイジェストで解説し、身につけるべき力の概要を皆さんに知ってもらいます。4月~7月期では、その概要を具体的に身につけるために、一つ一つの問題を「どう考えて」「どう解くのか」と丁寧に思考していきます。そして夏期講習からは本格的な記述問題の解法を学んでいってもらいます。

※本カリキュラムに従いながら、各講師がクラスの状況に合わせて、ある程度のフォローをしながら進みます。

9月~12月 ▶ 夏期までに身につけた解法を用いて、予習の時点で明確な根拠をもって解けるようにする

予習の時点では「全く解答根拠がわからない」、「勘で解いていた」という状態だった人を、授業内で導くのが夏期まででした。9月期からは予習の時点である程度根拠をもって解ける、そして「記述が書ける」ようになってもらいます。ですから、授業は「根拠をもって解いたことがきちんと合っているのか、その確認」「記述のPointがあっているのかの確認」がメインに変わります。高校での演習との相乗効果で例年高い効果をあげています。

冬期~直前 ▶ 見落としがちなポイントのチェックと予想問題の演習を行う

冬期講習は共通テストの講座のみとなります。これまで習ってきた解法を時間内で正しく運用できるかを確認していきます。共通テスト国語は時間配分が大切です。この演習の中で「これは落としとしてはいけない問題」、「これは、時間がきたら捨てる問題」などの緩急も身につけてください。その後、共通テストが成功した君を二次試験の記述モードに切り替える講義を行います。そして本番の成功を勝ち取ります。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。●は全講師が必ず扱う問題。

			論理的文章	文学的文章	実用的文章	古文	漢文
3月期	第1回	【古】古典文法のチェック / 平安時代の政治学など				●	
	第2回	【古】古典文法のチェック / 平安時代の宗教など				●	
	第3回	【漢】漢文句形のチェック / 漢文読解の基本					●
春期講習		【現】具体例の扱い方 / 対比で考える方法を学ぶ	●				
		【現】登場人物の心理を本文根拠で導く方法を学ぶ		●			
		【古】文法と単語を用いて選択肢を絞る方法を学ぶ				●	
		【漢】句形を用いて選択肢を絞る方法を学ぶ					●
4月期	第1回	【現】傍線部を含む一文からヒントを探る方法を学ぶ	●	○			
	第2回	【古】前書きを利用して読む方法を学ぶ				●	○
	第3回	【漢】文と文の対応を考えて解答する方法を学ぶ					●
GW特訓(テーマ別講座)①		古文常識				●	
GW特訓(テーマ別講座)②		古文記述対策				●	
5月期	第1回	【現】指示語内容と選択肢の照合で解く方法を学ぶ	●	○			
	第2回	【漢】対比、羅列で本文を理解する方法を学ぶ				○	●
	第3回	【古】2つの文章を見比べて解く方法を学ぶ				●	○
6月期	第1回	【現】選択肢の構造を見抜く方法を学ぶ	●	○			
	第2回	【古】心理の対象を考えて正解を見抜く方法を学ぶ				●	○
	第3回	【漢】比喩を見抜き理解する方法を学ぶ		○			●
7月期	第1回	【現】長い具体例を見抜いて選択肢を選ぶ	●	○			
	第2回	【古】指示語内容と選択肢の照合で解く方法を学ぶ				●	○
	第3回	【漢】漢詩の問題を解く方法を学ぶ		○			●
夏期講習①		記述の現代文に特化した講座を用意しています。必ず受講してください。	●	○			
夏期講習②		記述の古文に特化した講座を用意しています。必要な人は必ず受講してください。				●	
夏期講習③		記述の漢文に特化した講座を用意しています。必要な人は必ず受講してください。					●
9月期	第1回	【現】具体例の扱い方 / 対比で考える方法を使う	●	○			
	第2回	【古】文法と単語を用いて選択肢を絞る方法を使う	○			●	○
	第3回	【漢】漢文の記述に対応する方法を使う		○			●
10月期	第1回	【現】グラフの入った文章を処理する方法を学ぶ	○	○	●		
	第2回	【古】登場人物の心理を本文根拠で導く方法を使う				●	○
	第3回	【古】要素を補い、品詞分解を記述に対応する方法を使う		○		●	○
秋の特別講座		現代文の記述に特化した講座を用意しています。必ず受講してください。	●				
11月期	第1回	【現】対比で考える方法を使う	●	○			
	第2回	【古】和歌の修辞法を使った問題に触れる				●	○
	第3回	【現】対比を記述に対応させる方法を使う①	●	○			○
12月期	第1回	【現】比喩を見抜き理解する方法を使う	●		○		
	第2回	【古】文法と単語を用いて選択肢を絞る方法を使う				●	○
	第3回	【現】対比を記述に対応させる方法を使う②	●	○			○
冬期講習		共通テスト国語本番を意識した演習講座を用意しています。必ず受講してください。	●	●	●		●
直前講習		共通テスト国語ファイナル	●	●	●	●	●
		阪大神大現代文最終チェック	●			●	
		阪大神大古文最終チェック				●	
		阪大神大漢文最終チェック					●
		大阪大学国語ファイナル	●			●	
		神戸大学国語ファイナル					●
		大阪公立大学国語ファイナル(現代文のみ)	●				●
	岡山大学国語ファイナル	●	●		●	●	

※3月～7月までは共通テスト国語と同じカリキュラムですので、両講座取得することがないようにしてください。

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3共通テスト国語

講座案内 評論文、文学的な文章、実用文、古文、漢文という大問5つを限られた時間内で「処理」する試験が現行の「共通テスト国語」です。「共通テストという枠組みの中での国語」において、「現代文」だけ、「古文」だけ、「漢文」だけ、という専門ジャンルごとに深く学んでいく姿勢は、時代に合わないので、古文の文法や単語、漢文の句形や単語は致し方ないですが、解法に関しては「現代文・古文・漢文」で極力解法を統一して、スマートに対応します。
※古典文法や漢文の句形に自信がない人は、講習などで、別途、基礎事項を埋める必要があります。

この講座からの合格大学 大阪大学（理系学部）、神戸大学（理系学部）、大阪公立大学（理系学部）など

使用教材 【テキスト】『夢を叶える！国語』【補助教材】『国語資料集』

指導内容と目的

概 論 ▶ 共通テストで最低でも「平均点+ 30点」を確実にする力を身につける

「指示語内容の限定」、「対比を用いた読解」、「文章全体の構造の把握」など、評論、文学的な文章、古文、漢文には共通項も多いです。古文単語や古典文法、漢文の句形などを確認しながら、丁寧に根拠をもって問題を解く方法を提示します。

3月～夏期 ▶ 時間を気にせず、明確な根拠を持って解く方法を身につける

3月期では、高2までに習っている古典文法と漢文句形をチェックし、古文漢文に関する知識の確認を行います。春期講習では評論・文学的な文章・古文・漢文の基本事項をダイジェストで解説し、身につけるべき力の概要を皆さんに知ってもらいます。4月～7月期では、その概要を具体的に身につけるために、一つ一つの問題を「どう考えて」「どう解くのか」と丁寧に思考していきます。

※本カリキュラムに従いながら、各講師がクラスの状況に合わせて、ある程度のフォローをしながら進みます。

※実用文は夏期講習からの取り扱いとなります。

9月～12月 ▶ 夏期までに身につけた解法を用いて、予習の時点で明確な根拠をもって解けるようにする

予習の時点では「全く解答根拠がわからない」、「勘で解いていた」という状態だった人を、授業内で導くのが夏期まででした。9月期からは予習の時点である程度根拠をもって解けるようになっていきます。ですから、授業は「根拠をもって解いたことがきちんと合っているのか、その確認」といった形に変わります。高校での演習との相乗効果で例年高い効果をあげています。

冬期～直前 ▶ 見落としがちなポイントのチェックと予想問題の演習を行う

冬期講習からはすべて演習授業となります。冬期講習では、これまで習ってきた解法を時間内で正しく運用できるかを確認していきます。共通テストの国語は時間配分が大切です。この演習の中で「これは落としてはいけない問題」、「これは、時間がきたら捨てる問題」などの緩急も身につけてください。そして、直前講習では、予想問題の演習と解説を行う「ファイナル演習」で最後の仕上げを行い、本番の成功を勝ち取ります。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。●は全講師が必ず扱う問題。

			論理的文章	文学的文章	実用的文章	古文	漢文
3月期	第1回	【古】古典文法のチェック / 平安時代の政治学など				●	
	第2回	【古】古典文法のチェック / 平安時代の宗教など				●	
	第3回	【漢】漢文句形のチェック / 漢文読解の基本					●
春期講習		【現】具体例の扱い方 / 対比で考える方法を学ぶ	●				
		【現】登場人物の心理を本文根拠で導く方法を学ぶ		●			
		【古】文法と単語を用いて選択肢を絞る方法を学ぶ				●	
		【漢】句形を用いて選択肢を絞る方法を学ぶ					●
4月期	第1回	【現】傍線部を含む一文からヒントを探る方法を学ぶ	●	○			
	第2回	【古】前書きを利用して読む方法を学ぶ				●	○
	第3回	【漢】文と文の対応を考えて解答する方法を学ぶ		○			●
GW特訓(テーマ別講座)		古文常識				●	
5月期	第1回	【現】指示語内容と選択肢の照合で解く方法を学ぶ	●	○			
	第2回	【漢】対比、羅列で本文を理解する方法を学ぶ				○	●
	第3回	【古】2つの文章を見比べて解く方法を学ぶ				●	○
6月期	第1回	【現】選択肢の構造を見抜く方法を学ぶ	●	○			
	第2回	【古】心理の対象を考えて正解を見抜く方法を学ぶ				●	○
	第3回	【漢】比喩を見抜き理解する方法を学ぶ		○			●
7月期	第1回	【現】長い具体例を見抜いて選択肢を選ぶ	●	○			
	第2回	【古】指示語内容と選択肢の照合で解く方法を学ぶ				●	○
	第3回	【漢】漢詩の問題を解く方法を学ぶ		○			●
夏期講習①		共通テスト現代文に特化した講座を用意しています。必ず受講してください。	●	●	●		
夏期講習②		共通テスト古文・漢文に特化した講座を用意しています。必ず受講してください。				●	●
9月期	第1回	【現】具体例の扱い方 / 対比で考える方法を使う	●	○			
	第2回	【古】文法と単語を用いて選択肢を絞る方法を使う				●	○
	第3回	【漢】指示語内容と選択肢の照合で解く方法を使う		○			●
10月期	第1回	【現】グラフの入った文章を処理する方法を学ぶ	○	○	●		
	第2回	【古】登場人物の心理を本文根拠で導く方法を使う				●	○
	第3回	【漢】句形を用いて選択肢を絞る方法を使う		○			●
秋の特別講座		和歌と漢詩に特化した講座を用意しています。必ず受講してください。				●	●
11月期	第1回	【現】対比で考える方法を使う	●	○			
	第2回	【古】和歌の修辞法を使った問題に触れる				●	○
	第3回	【漢】句形を用いて選択肢を絞る方法を使う		○			●
12月期	第1回	【現】比喩を見抜き理解する方法を使う	●	○			
	第2回	【古】文法と単語を用いて選択肢を絞る方法を使う				●	○
	第3回	【漢】漢詩の問題を解く方法を使う		○			●
冬期講習		共通テスト国語本番を意識した演習講座を用意しています。必ず受講してください。	●	●	●	●	●
直前講習		共通テスト国語ファイナル	●	●	●	●	●

※3月～7月までは阪大神大国語と同じカリキュラムですので、両講座取得することがないようにしてください。

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3関関同立現代文

講座案内 関関同立をはじめ、早稲田・上智等の出題傾向を踏まえた教材で、現代文での高得点を目指す講座です。本講座の受講と復習のみで私大現代文に必要な十分な内容を提供します（関関同立以外の私立大学の現代文にも対応します）。

この講座からの合格大学 早稲田大学、上智大学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、甲南大学、近畿大学など

使用教材 【テキスト】『実証現代文』【補助教材】『国語資料集』

指導内容と目的

概論 ▶ 難関と言われる私大の現代文で点数を稼ぐ力を養う

関関同立など私大の現代文は、評論の出題が非常に多いため、本講座では主に評論の読解練習を行います。「全く同じ文章が入試に出ることはなく、勉強しても意味がない」といった思い込みを覆します。確かに同じ文章が出題される確率は低いです。同じ「方法論」で「解く」ことができる問題は数多く類題が存在します。本講座では「解く」ための「方法論」を提示します。

3月～夏期 ▶ 対比・具体例を意識した読解法とそれを意識した解答の導き方をインプット

この文章は何と何を比べているのか。この具体例は何の説明のために書かれているのか。この指示語は何を指しているのか。「このように」とは、何を受けて書かれているのか。文章構造を細かに解体しながら読んでいきます。そして、解体して細かく理解した内容を、今度は大きな「意味段落」として把握して、文章の全体像をつかみます。この作業を繰り返すことで、設問条件で指示されている「解答すべき内容」が本文中から見えてきます。これらの作業を1回1回の講義の中で繰り返して身に付けてもらいます。

9月～12月 ▶ 有名難関私大の特徴をつかみ、夏期までに身に着けた「解く」ための「方法論」をアウトプット

関西学院大学の現代文は1つの「意味段落」内の内容を理解すれば、数問解答できます。同志社大学の現代文は1つの「意味段落」で1問の構成が基本です。関西大学は傍線が引かれていないため、対応が特殊となります。立命館大学は多様な問題が多いため、総合的な力が要求されます。このように関関同立と一言で言っても、全く出題傾向が異なります。それらに慣れ、前期に学んだ「解く」ための「方法論」を各大学に当てはめていきます。

冬期・直前 ▶ 3月期～12月期の点検と正答率が低い問題へのアプローチ

プロの目から診て、明らかに「解く」ことが難しい問題、高校生からすると難解すぎる文章もあります。それらが出題された時に、どのように対処するのか、これまでに身に着けた「解く」ための「方法論」と各大学へのアプローチ方法を武器に、難問・奇問への対処法、解けなくてもいい問題という判断の下し方、などを学んでいきます。各大学の予想問題演習講座も用意して、君の合格への門を開きます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			評論	小説	マーク式	記述
3月期	第1回	具体例の扱い方を学ぶ	●		●	
	第2回	具体例の扱い方を用いて選択肢を選ぶ	●		●	●
	第3回	対比で考える方法を学ぶ	●		●	●
春期講習		引用の取り扱い方を学ぶ	●		●	
		具体例と対比と引用を用いて選択肢を選ぶ	●		●	●
		対比を用いて紛らわしい空欄補充の選択肢を選ぶ	●		●	●
		長い具体例を見抜いて選択肢を選ぶ	●		●	
4月期	第1回	具体例と対比で考える、選択肢を選ぶを復習する	●		●	
	第2回	硬質な文章を具体例と対比で解体する	●		●	●
	第3回	平易な文章ゆえに間違えやすい問題を対比と具体例で正答する	●		●	●
5月期	第1回	指示語内容の限定方法を学ぶ	●		●	
	第2回	指示語内容と選択肢の照合で難問を解く	●		●	
	第3回	設問条件の誘導によって記述を解答する	●		●	●
6月期	第1回	長い文章を意味段落で捉える	●		●	●
	第2回	古文が引用された文章の処理を学ぶ	●		●	●
	第3回	指示語と設問条件の誘導から記述を解答する	●		●	●
7月期	第1回	選択肢の対比と本文の対比とのズレを見抜いて解答する	●		●	●
	第2回	一文が極端に長く読みにくい文の処理方法	●		●	●
	第3回	前期総まとめ	●		●	●
夏期講習		立命館大学の問題に挑戦	●		●	
		早稲田大学の問題に挑戦	●		●	●
		同志社大学の問題に挑戦	●		●	●
		関西大学の問題に挑戦	●		●	●
		関西学院大学の問題に挑戦	●		●	●
9月期	第1回	外外経工佛レベルの問題を解く	●		●	●
	第2回	関西大学の問題を解く	●		●	●
	第3回	早稲田大学の問題を解く	●		●	
10月期	第1回	同志社大学の問題を解く	●		●	●
	第2回	早稲田大学の問題を解く	●		●	●
	第3回	関学と立命の小説に触れる	●	●	●	●
秋の特別講座		公募推薦の現代文	●		●	
11月期	第1回	同志社大学の問題を解く	●		●	●
	第2回	関西学院大学の問題を解く	●	●	●	●
	第3回	立命館大学の問題を解く	●		●	●
12月期	第1回	関西大学の問題を解く	●		●	●
	第2回	同志社大学の問題を解く	●		●	●
	第3回	早稲田大学の問題を解く	●		●	●
冬期講習		各大学の特色に合わせた発展的な内容に挑戦①				
		各大学の特色に合わせた発展的な内容に挑戦②				
		各大学の特色に合わせた発展的な内容に挑戦③				
		各大学の特色に合わせた発展的な内容に挑戦④				
直前講習		関関同立現代文最終チェック①				
		関関同立現代文最終チェック②				
		関大国語ファイナル				
		関学国語ファイナル				
		同志社国語ファイナル				
	立命館国語ファイナル					

いろいろな題材を扱います

いろいろな題材を扱います

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3関関同立古文

講座案内 関関同立をはじめ、早稲田・上智等の出題傾向を踏まえた教材で、古文での高得点を目指す講座です。重要単語・文法・常識・文学史等の知識がまとまった資料集も配布するので、本講座の受講と復習のみで私大古文に必要な十分な内容を提供します（関関同立以外の私立大学の古文にも対応します）。漢文は必要な人のみ夏期講習に別途講座を用意しています。

この講座からの合格大学 早稲田大学、上智大学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、甲南大学、近畿大学など

使用教材 【テキスト】『暁の古文』【補助教材】『国語資料集』

指導内容と目的

概 論 ▶ 難関と言われる私大の古文で点数を稼ぐ力を養う

関関同立の古文は難度が高いことが特徴です。文法・単語の知識を前提に、古文常識や日記・説話等のジャンル別の読解法を駆使して内容を正確に把握し、選択肢を吟味する力が求められます。さらに、知らない語を論理的に類推する力も必要です。また、大学によっては記述形式の問題（現代語訳問題・内容説明問題等）も出題されます。このような関関同立の古文で高得点を取るために、知識を正しく使いながら論理的に考える、「読解法」と「解答法」の習得を目的とした講座です。

3月～7月 ▶ 文法や単語の基本知識と古文の読み方の習得、古文常識やジャンルの基本事項理解を目指す（インプット重視）

3月期では、古文の読み方（主語の識別・省略部分の予測など）について伝授します。春期講習では、古典文法の総まとめに加えて、私大での出題形式等を含めて指導していきます。4月～7月期では、基礎力養成期間として、古文の読み方を確認していきます。並行して、私大古文で必要とされる古文常識や和歌の理解、頻出ジャンルごとの背景知識についても指導していきます。また「単語を完全に覚えてから読み方を学ぶ」という考えでは、読解の訓練が遅くなってしまい、受験に間に合わなくなる可能性が高くなります。単語は「覚える」とことと並行して「使う」ことも意識した方が学習効率が高いので、当講座ではできるだけ早い時期から読解のトレーニングをしていきます。

夏期～12月 ▶ 頻出ジャンルの応用事項理解、設問への効率的アプローチ法の習得を目指す（アウトプット重視）

夏期講習では、より実践的な文章の読み方および設問の解き方を指導します。正しい読解法と、設問へのアプローチ法を繰り返すことで、今後各自で行っていく過去問演習への準備を行います。9月～12月期では、応用力養成期間として、4月～7月期に指導した読み方・古文常識・ジャンル別の読解法の再確認とその応用的な視点、選択肢の選び方や現代語訳・内容説明問題等の解き方を指導します。このように応用的な視点に加えて、4月～7月期の内容をもう一度確認することで必要な知識の確実な定着を図ります（4月～7月期を受講していない人は1回の授業で理解してもらいます）。

冬期～直前 ▶ 見落としがちなポイントのチェックと予想問題の演習を行う

冬期講習では、引き続き関関同立形式の設問を制限時間を意識して予習し、これまで習ってきた読解法と解答法が正しく運用できているかの確認をしてもらいます。また、時間をかけるべき問題とそうでない問題の取捨選択の方法など、より実践的な対策について指導していきます。直前講習では、見落としがちなポイントなどを総チェックする「最終チェック」の講座と、予想問題の演習と解説を行う「ファイナル演習」で、最後の仕上げを行います。ここまでしっかりと予習・復習をして授業内容の定着を図っていれば、正確な根拠をもって安心して正答にたどり着ける能力が備わっていることでしょう。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		随筆・評論	説話	日記	物語	マーク式	記述式	基礎力養成	応用力養成
3月期	第1回	主題の取り方 / 恋愛・結婚の古文常識			●	●		●	
	第2回	主題の取り方 / 仏教と夢の古文常識	●			●		●	
	第3回	主題の取り方 / 仏教と説話の古文常識	●			●		●	
春期講習		古文文法の基本的知識 (用言 / 敬語法) 古文文法の基本的知識 (助動詞総まとめ) 古文文法の識別 (ぬ・ね / なむ) 古文文法の識別 (なり / に)							●
4月期	第1回	主題の取り方の復習 / 病気の古文常識		●		●		●	
	第2回	省略語句の補完方法 / 位階・皇族の古文常識		●				●	
	第3回	未知語類推の方法 / 風流の古文常識	●			●		●	
GW特訓(テーマ別講座)①		古文常識	いろいろなジャンルを扱います						●
GW特訓(テーマ別講座)②		古文記述対策	いろいろなジャンルを扱います					●	●
5月期	第1回	和歌解釈の方法導入 / 恋愛・結婚と風流の古文常識				●	●	●	●
	第2回	和歌解釈の方法 / 恋愛・結婚の古文常識		●		●	●	●	●
	第3回	和歌解釈の方法 / 現代語訳問題の解答法 / 歌徳説話の読み方		●		●	●	●	●
6月期	第1回	日記文学特有の主題把握の方法 / 結婚生活の古文常識			●	●	●	●	●
	第2回	日記文学の心情把握の方法 / 引用された和歌の使用法			●	●	●	●	●
	第3回	日記文学の和歌の贈答 / 長い会話文の処理法			●	●	●	●	●
7月期	第1回	マーク式問題の解答法 / 平安中期の藤原氏の古文常識				●	●	●	●
	第2回	登場人物が多い物語の処理法 / 軍記物語の古文常識				●	●	●	●
	第3回	総まとめ / 内容説明系記述の解答法 / 「通ひ」の古文常識				●	●	●	●
夏期講習①	文章の読み方の確認				●	●	●	●	●
	関西学院大学の問題に挑戦					●	●	●	●
	立命館大学の問題に挑戦					●	●	●	●
	同志社大学の問題に挑戦					●	●	●	●
夏期講習②	『蜻蛉日記』の読解法 (作品知識を含む)				●	●	●	●	●
	『和泉式部日記』の読解法 (作品知識を含む)				●	●	●	●	●
	『枕草子』『紫式部日記』の読解法 (作品知識を含む)				●	●	●	●	●
	『更級日記』の読解法 (作品知識を含む)				●	●	●	●	●
	『讃岐典侍日記』『土佐日記』の読解法 (作品知識を含む)				●	●	●	●	●
9月期	第1回	マーク式問題の解答法 (夏期の復習)				●	●	●	●
	第2回	関西学院大学の問題を解く	●			●	●	●	●
	第3回	関西大学の問題を解く	●			●	●	●	●
10月期	第1回	同志社大学の問題を解く		●		●	●	●	●
	第2回	立命館大学の問題を解く			●	●	●	●	●
	第3回	立命館大学の問題を解く			●	●	●	●	●
秋の特別講座		公募推薦対策の古文	いろいろなジャンルを扱います					●	●
11月期	第1回	関西学院大学の問題を解く			●	●	●	●	●
	第2回	関西学院大学の問題を解く			●	●	●	●	●
	第3回	早稲田大学の問題を解く				●	●	●	●
12月期	第1回	同志社大学の問題を解く	●			●	●	●	●
	第2回	同志社大学の問題を解く		●		●	●	●	●
	第3回	総まとめ (最高難易度の文章と問題に触れる)				●	●	●	●
冬期講習		各大学の特色に合わせた発展的な内容に挑戦① 各大学の特色に合わせた発展的な内容に挑戦② 各大学の特色に合わせた発展的な内容に挑戦③ 各大学の特色に合わせた発展的な内容に挑戦④					●	●	●
直前講習	関関同立古文最終チェック①		いろいろなジャンルを扱います				●	●	●
	関関同立古文最終チェック②						●	●	●
	関大国語ファイナル						●	●	●
	関学国語ファイナル						●	●	●
	同志社国語ファイナル 立命館国語ファイナル						●	●	●

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3東大京大特選物理

講座案内 物理の問題を解いているときに仮にその問題が解けたとしても、「なんとなく解けた」では他の問題を解く力にはなっておらず、真の意味で東大や京大の物理問題に太刀打ちできる力を持っているとは言えません。問題を見た瞬間にその問題にまつわる背景理論が頭の中で整然と浮かび上がり、その理論を武器として確実にその問題を解いていく姿勢が重要です。それが出来てこそ安定的に高得点が取得できます。特に、東大京大をはじめとする最難関大の物理問題ではこの「理論の応用力」が問われます。この授業では理論講義+問題演習の形式で、「理論から問題を俯瞰する力」を究めることを最重要事項として講義していきます。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、大阪大学医学部医学科、京都府立医科大学など

使用教材 テキストは使用しません。物理理論が体系化されるように、東大京大レベルに改作または創作された問題を毎回プリント配付します。

指導内容と目的

3月・春期 ▶ 『力学』を究める

応用的な力学問題で最重要テーマとなる「視点を変えた運動の解析」を主に扱い、理解を深めながら力学問題に対する実践力を完成させます。

3月では、「複数の運動」について、様々な視点で解析する方法を会得します。

春期では、単振動や回転運動などに関して、座標軸の取り方（運動の観測のしかた）によって運動の見え方がどのように変わるかについて学び、どの視点での解答を要求されても対応できる力を高めます。

4月・5月 ▶ 『熱』・『波動』を究める

応用的な熱・波動問題で多くの受験生が失点しやすいテーマにスポットを当て、曖昧さを排除しながら熱・波動問題に対する実践力を完成させます。

4月では、各熱学法則の成立条件をまとめなおし、「熱過程」を正しく読み取り、適切な法則を用いる力を鍛えます。

5月では、「スリット幅が広い場合の回折波」「3つ以上の波が重なった場合の干渉」「波長から考えるドップラー効果」など、表面上の理解では解答できないテーマを扱い、理解を深めながら波動問題の「目の付け所」について習得していきます。

6月～夏期～9月 ▶ 『電磁気』を究める

応用的な電磁気問題では多様な法則・公式が総合的に出題されます。知識の羅列になりがちなこの単元について、「最も頼るべき根本法則はどれか」を明確にし、一貫した思考法を伝授する事で電磁気問題に対する実践力を完成させます。

夏期の前まで「電気」、夏期～9月で「磁気」について扱います。「ガウスの法則」や「ファラデーの法則」など、「場」に関する思考力を問う問題を扱い、根本原理に基づいた理解を促します。また「回路」に関しても、発展的内容となる「過渡状態」や「回路のエネルギーと仕事」を根本法則から解き明かし、一本筋の通った解法を伝授します。

10月～12月 ▶ 『原子』を究める&物理的考察力の完成

10月と11月では高校範囲の『原子』について、各法則の関連性（電磁気との関連性も含む）を意識した体系的な講義を展開して、原子問題に対する実践力を完成します。

12月は、様々な単元について目新しく・斬新なテーマの問題を扱います。それらの問題に果敢に挑みながら、「知らない問題」を解くにあたっての物理的考察の仕方を身に着けます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		力学	熱	波動	電磁気	原子	関係性の高い項目・内容
3月期	第1回	様々な束縛条件	●				物理基礎 / 物理 / 数学IA II B / 数IIIの基本公式はあ る程度定着している事を前 提に講義します。
	第2回	重心を用いた運動の解析	●				
	第3回	2体運動総合	●				
春期講習		2次元の単振動	●				
		回転する座標系	●				
		ポテンシャルの概念	●				
		「力学」演習	●				
4月期	第1回	準静的でない過程		●			
	第2回	吸熱から放熱に転じるとき		●			
	第3回	分子運動論 / 圧力と浮力	●	●			
5月期	第1回	単スリットの回折波			●		
	第2回	N波の干渉			●		
	第3回	間違えやすいドップラー効果			●		
6月期	第1回	「熱・波動」演習		●	●		
	第2回	ガウスの法則				●	
	第3回	コンデンサーとダイオードを含むとき				●	
7月期	第1回	コンデンサーのエネルギー関係				●	
	第2回	誘電体挿入問題				●	
	第3回	前期単元の完成		●	●	●	
夏期講習① 高3東大京大物理テスト&チェック		「力学・熱・波動・電気（磁気含めず）」重要問題 演習	●	●	●	●	
夏期講習② 高3東大京大特選物理〔電磁気〕		誘導回路のエネルギー・運動量 磁束の考え方 回転する導体棒 アンペールの法則と自己・相互誘導 電気振動			● ● ● ● ●		
9月期	第1回	交流回路				●	
	第2回	平均消費電力と変圧器				●	
	第3回	誘導電場と座標変換を伴うローレンツ力	●			●	
10月期	第1回	「電磁気」演習				●	
	第2回	原子モデル				●	
	第3回	X線放射・コンプトン効果				●	
秋の特別講座		レンズと幾何光学 / 光路					
11月期	第1回	核崩壊・核反応				●	
	第2回	後期単元の完成①			●	●	
	第3回	後期単元の完成②			●	●	
12月期	第1回	物理的考察力を磨く①					
	第2回	物理的考察力を磨く②					
	第3回	物理的考察力を磨く③					
冬期講習		東大京大特選物理実践演習	●	●	●	●	
直前講習<前編>	第1回	総合問題①	●	●	●	●	
	第2回	総合問題②	●	●	●	●	
直前講習<後編>	第1回	総合問題③	●	●	●	●	
	第2回	総合問題④	●	●	●	●	

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3京大阪大・医学部物理

講座案内 京大や阪大などの入試問題では、パターンラーニングによる学習では太刀打ちできない問題が出題されます。初めて見る状況設定や、頻出テーマを見慣れない流れで整理した問題などが出題されるのです。この講座では、前述のような思考力や柔軟な対応能力が問われる入試問題を解く力を養うために、数少ない根本法則からどのように物理理論が構築され、入試問題に適用できるのかを意識して授業を進めます。この講座の内容を十分に理解できれば、京大、阪大などの入試問題で確実に合格点を取る実力を養成できるでしょう。(物理に苦手意識を持つ、もしくは大学入試に向けた物理の勉強をこれから始める人は、より効率的な学力向上のため、映像オンデマンド講座「高3京大阪大・医学部物理 [基礎構築]」を併せて受講することを強く勧めます。)

この講座からの合格大学 京都大学、大阪大学、国公立大学医学部医学科など

使用教材 3月～12月：『理論物理講義 上級編』、夏期：『理論物理講義 特講編』

指導内容と目的

3月・春期 ▶ 『力学』を体系的に理解する

3月は、『力学』の根本的理解の土台となる「運動方程式」、「エネルギーと運動量」について、必要に応じて微分や積分などの数学的知識を用いて体系的に講義します。

春期は、入試で頻出の「単振動」「円運動」について一貫した解法を確立します。さらに観測する立場によって運動の見え方がどのように変わるかを学ぶことで、京大や阪大で頻出かつ苦手とする人が多い「2体運動」の問題への対応法を整理します。

4月～6月前半 ▶ 『熱』・『波動』を体系的に理解する

4月は、数少ない法則から『熱』の理論が構成されていることを理解し、その数少ない法則を入試問題で問われる様々な状況にどのように適用できるかを解説します。

5月と6月は、イメージするのが難しく苦手とする人が多い『波動』を、京大や阪大でテーマとして頻繁に扱われる、三角関数で表される「波の式」を中心として体系的に整理し、「位相の概念」や「干渉条件」などの文字式での表現を、入試問題に対してどのように適用するかを解説します。

6月後半～夏期～9月 ▶ 『電磁気』を体系的に理解する

夏期前までに「電気」、夏期～9月で「磁気」について扱います。

『力学』と同じくほぼ確実に入試で出題されるが、苦手な人が多い『電磁気』を、法則や公式のつながりを重視して体系的に整理していきます。電磁気に関する様々な知識を、時には微分や積分などの数学的知識を用いて体系化することで、『電磁気』を得意単元にしていきます。

10月～12月 ▶ 『原子』を体系的に理解する&物理全体の総まとめ

10月～11月期第2回では、『原子』の最重要テーマである「光と電子の二重性」の整理を導入として「原子核反応」や「X線」などの『原子』の全テーマを網羅します。特に『力学』『電磁気』などの他分野の物理法則がどのように応用されているかを重視して講義します。

11月第3回～12月期は、それまでに取り上げることができなかった様々な発展的テーマを物理全体の総復習を兼ねて整理していきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		力学	熱	波動	電磁気	原子	関係性の高い項目・内容
3月期	第1回	運動方程式と束縛条件	●				物理基礎 / 物理 / 数学IA II B / 数IIIの基本公式はある程度定着している事を前提に講義します。
	第2回	エネルギーの原理と運動量の原理	●				
	第3回	力学的エネルギー保存と運動量保存	●				
春期講習		単振動理論	●				
		円運動理論	●				
		重心を用いた運動の分析	●				
		観測者を変えた運動の分析	●				
4月期	第1回	気体分子運動論	●	●			
	第2回	シリンダー問題と断熱自由膨張		●			
	第3回	P-Vグラフ理論		●			
GW特訓(テーマ別講座)		共通テスト対策演習&講義	●				
5月期	第1回	「力学」テスト / 波の式と波の位相	●		●		
	第2回	ヤングの実験と回折格子			●		
	第3回	反射波・屈折波による干渉			●		
6月期	第1回	ドップラー効果			●		
	第2回	電気力学	●			●	
	第3回	コンデンサー理論				●	
7月期	第1回	コンデンサー回路のエネルギー関係				●	
	第2回	極板に働く力と誘電体に働く力	●			●	
	第3回	「熱学・波動」テスト		●	●		
夏期講習① 高3京大版・医学部物理[電磁気]		磁場と荷電粒子の運動	●			●	
		電磁誘導根本理論①	●			●	
		電磁誘導根本理論②	●			●	
		磁束の考えとローレンツ力の考え	●			●	
		夏期総合演習	●			●	
夏期講習② 高3スーパー物理特訓[力学・波動]		単振動の一般解	●				
		ばねにつながれた2物体の運動	●				
		ホログラフィーの原理			●		
		マイケルソン干渉計と相対性理論			●		
		虹の理論			●		
9月期	第1回	自己誘導・相互誘導				●	
	第2回	交流基本理論				●	
	第3回	電気振動				●	
10月期	第1回	「電磁気」テスト / 誘導電場と加速器				●	
	第2回	光電効果 / ブラッグ反射				●	
	第3回	原子モデル				●	
秋の特別講座		レンズ理論		●			
11月期	第1回	原子核崩壊				●	
	第2回	原子核反応と結合エネルギー				●	
	第3回	中心力による運動	●				
12月期	第1回	つりあいの安定性と浮沈子	●	●			
	第2回	電磁誘導回路のエネルギー関係	●			●	
	第3回	9月-12月総合演習				●	
冬期講習		京大版大・医学部物理実践演習	●	●	●	●	
年末年始特別講座		共通テストレベルマーク式知識問題総点検	●	●	●	●	
直前講習<前編>	第1回	総合問題①	●	●	●	●	
	第2回	総合問題②	●	●	●	●	
直前講習<後編>	第1回	総合問題③	●	●	●	●	
	第2回	総合問題④	●	●	●	●	

高3

英語

数学

国語

理科

社会

<OD>高3京大阪大・医学部物理 基礎構築【～7月期】

(注)「高3京大阪大・医学部物理」とのセット受講のみ

講座案内 「高3京大阪大・医学部物理」では、「高2物理」もしくは「高2物理HS」にて扱った基礎事項相当の知識のある程度習得済みであることを前提として講義しますので、物理の基礎学力（教科書記載レベルの定着）に自信の無い場合は本講座の受講を検討してください。これらの高2講座を受講されていた場合でも基礎学力を習得しきれていない場合には「高3京大阪大・医学部クラス」での『知識の抽象化・体系化』が困難になる可能性があります。基礎学力が不安なテーマを扱う月期（60分×3回）だけを受講することも可能です（年間指導カリキュラムを参照）のでこの場合も本講座の受講を検討してください。

使用教材 理論物理講義『基礎構築編』

指導内容と目的

3月・春期 ▶ 「力学」の基礎学力定着

力学の諸項目（運動方程式、仕事とエネルギー、力学的エネルギー保存、力積と運動量、運動量保存、円運動、単振動）について、共通テストや標準的な大学入試問題を自力で解ける程度の基礎学力の構築を図ります。いずれの講義も「高3京大阪大・医学部物理」の該当項目の講義“前”に受講することで、「高3京大阪大・医学部物理」の授業内容の理解・定着の一助となります。

4月・5月 ▶ 「波動」の基礎学力定着

波動の諸項目（正弦波の式、干渉、反射・屈折の法則、ドップラー効果）について、共通テストや標準的な大学入試問題を自力で解ける程度の基礎学力の構築を図ります。いずれの講義も「高3京大阪大・医学部物理」の該当項目の講義“前”に受講することで、高3京大阪大・医学部物理の授業内容の理解・定着の一助となります。

6月 ▶ 「電気」の基礎学力定着

電気の基礎項目（電界・電位、電子論的電流、オームの法則、非オーム抵抗）について、共通テストや標準的な大学入試問題を自力で解ける程度の基礎学力の構築を図ります。いずれの講義も高3京大阪大・医学部物理で重点的に扱う機会はありませんので、電気分野に苦手意識がある場合には強く受講をお薦めします。

7月 ▶ 基礎学力確認問題演習

3月から6月に扱った基礎学力の定着を確認します。この演習結果から、夏休み中に重点的に学習する単元をどうするかなどの学習計画の指針が得られます。

年間指導カリキュラム（「京大阪大・医学部物理」との比較）

※カリキュラムは変更する場合があります。

京大阪大・医学部物理（参考）			京大阪大・医学部物理 [基礎構築] オンデマンド		
3月	第1回	運動方程式と束縛条件	3月①	第1回	運動方程式
	第2回	エネルギーの原理と運動量の原理		第2回	仕事と力学的エネルギー保存
	第3回	力学的エネルギー保存と運動量保存		第3回	力積と運動量
春期講習		単振動理論	3月②	第1回	投射問題と慣性力
		円運動理論		第2回	円運動理論
		重心を用いた運動の分析		第3回	単振動理論
		観測者を変えた運動の分析		春期講習	
4月	第1回	気体分子運動論	4月	第1回	正弦波の式と定常波
	第2回	シリンダー問題と断熱自由膨張		第2回	2つの波源による干渉①
	第3回	P-Vグラフ理論		第3回	2つの波源による干渉②
5月	第1回	「力学」テスト/波の式と波の位相	5月	第1回	反射・屈折の法則
	第2回	ヤングの実験と回折格子		第2回	反射波・屈折波の干渉
	第3回	反射波・屈折波による干渉		第3回	ドップラー効果
6月	第1回	ドップラー効果	6月	第1回	電界・電位
	第2回	電気力学		第2回	電子論的電流とオームの法則
	第3回	コンデンサー理論		第3回	非オーム抵抗
7月	第1回	コンデンサー回路のエネルギー関係	7月	第1回	熱学演習
	第2回	極板に働く力と誘電体に働く力		第2回	波動演習
	第3回	「熱学・波動」テスト		第3回	力学演習
夏期講習		磁場と荷電粒子の運動	夏期講習		
		電磁誘導根本理論①			
		電磁誘導根本理論②			
		磁束の考えとローレンツ力の考え 夏期総合演習			

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3阪大神大物理

講座案内 物理・物理基礎を横断的に扱います。まずは基礎理論の理解を最重視し、神大や関西大などで出題される標準的な大学入試問題を確実に解答する力を錬成します。さらに、問題ごとの解答解説の丸暗記に頼らない、根本理論の理解・定着によって、阪大や九州大、同志社大や関西学院大などで出題される応用・発展問題にも挑める読解力や思考力を錬成します。予習は基本的に不要です。ただし、一度授業で扱った項目・内容は続きの授業では「既知の項目・内容」として扱いますので、毎回の授業後の復習を最重要視していただければと思います。

この講座からの合格大学 大阪大学、名古屋大学、九州大学、北海道大学、神戸大学、大阪公立大学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、近畿大学など

使用教材 3月～12月：『理論物理講義 王道編』、夏期：『理論物理講義 特講編』

指導内容と目的

3月・春期・4月 ▶ 高校物理全範囲の基礎となる『力学』を「物理基礎」「物理」の区別なく基本から総整理する

波動・熱・電磁気・原子など物理学全般の基礎概念である力学を、用語の定義の確認などの基礎知識から解説します。力学の正しい理解・正しいイメージ無くしては物理の学力向上は不可能です。特に大阪大学や名古屋大学、同志社大学や関西学院大学などでは、 Σ （総和を求める）や Δ （変化量）を用いた数理的な処理が必要となる出題も見られるため、時には微分・積分などの数理的な整理によって、経験論や丸暗記だけに頼らない数理的理解とそのイメージの両立を図ります。授業内では力学履修後の他分野の学習を見据えて「何を覚えて何を考えなければならないか」を明確にして、知識を体系化していきます。

5月～7月 ▶ 『熱』・『波動』における、問題毎の解答の丸暗記学習からの脱却を図る

力学での学習内容を踏まえて、解法の丸暗記やテクニックに頼らない「論理的な思考法」を整理していきます。数学の微分や積分の概念の理解が必要となる入試問題にも挑めるように、物理現象の数理解とそのイメージの両立を図ります。授業では公式の導出過程を明らかにするとともに、汎用性の高い状況整理の手法や、問題文で与えられた状況を文字式に落とし込む手順についても解説します。

夏期～12月 ▶ 事前知識ほぼゼロから『電磁気』・『原子』をマスターする

3月～7月の力学・波動・熱で得た知識を確認しながら、電磁気・原子の習得を目指します。お通いの高校によっては授業内容が先取り学習になる場合もあるかと思いますが心配無用です。授業では「用語の定義」や「単位」、ときには「数学の公式の説明」といった導入から解説し、現役高3生が苦手にしがちな電磁気・原子における正しいイメージを、力学・波動・熱と同様に数理解と併せて構築していきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			力学	熱	波動	電磁気	原子	関係性の高い項目・内容
3月期	第1回	運動方程式	●					
	第2回	束縛条件	●					
	第3回	剛体力学	●					
春期講習		モンキーハンティング 仕事とエネルギー 力積と運動量（衝突問題） 2物体の保存則	● ● ● ●					3月「運動方程式」
4月期	第1回	円運動	●					3月「運動方程式」 春期「仕事とエネルギー」
	第2回	万有引力	●					
	第3回	単振動	●					
GW特訓(テーマ別講座)		共通テスト対策演習&講義	●					
5月期	第1回	熱力学第1法則		●				春期「仕事とエネルギー」 春期「力積と運動量」
	第2回	断熱変化		●				
	第3回	P-Vグラフ		●				
6月期	第1回	気体分子運動論			●			4月「円運動」「単振動」
	第2回	波の式とグラフ			●			
	第3回	干渉理論			●			
7月期	第1回	反射波・屈折波の干渉			●			6月「波の式とグラフ」 6月「干渉理論」
	第2回	定常波			●			
	第3回	ドップラー効果			●			
夏期講習① 高3版大神大物理[電磁気]		電気力学 コンデンサー 回路問題の一般的解法 RC回路の過渡状態とエネルギー 極板間引力と誘電体挿入				● ● ● ● ●		
夏期講習② 高3入試物理完全攻略[力学・波動]		保存則と斜め座標系 / 正弦波と位相 つり合いと単振動 / ドップラー効果 2物体の運動 / 波動幾何 遠心力について / 干渉と光路 力学波動総合演習	● ● ● ● ●		● ● ● ●			
9月期	第1回	磁界と荷電粒子				●		
	第2回	ローレンツカと電磁誘導				●		
	第3回	導体棒の回路問題				●		
10月期	第1回	磁束の考えとローレンツカの考え				●		9月「ローレンツカと電磁誘導」 9月「導体棒の回路問題」
	第2回	自己誘導・相互誘導				●		
	第3回	交流電源とリアクタンス				●		
秋の特別講座		重心運動と相対運動	●					
11月期	第1回	RLC直列回路				●		10月「交流電源とリアクタンス」
	第2回	LC回路の電気振動				●		
	第3回	光の二重性					●	
12月期	第1回	電子の二重性と原子モデル					●	
	第2回	X線 / 原子核崩壊					●	
	第3回	原子核反応とエネルギー					●	
冬期講習		共通テストレベルマーク式単元別演習&講義	●	●	●	●	●	
年末年始特別講座		共通テストレベルマーク式知識問題総点検	●	●	●	●	●	
直前講習<前編>	第1回	電磁気・原子総合問題①				●	●	
	第2回	電磁気・原子総合問題②				●	●	
直前講習<後編>	第1回	力学・熱・波動総合問題①	●	●	●			
	第2回	力学・熱・波動総合問題②	●	●	●			

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3東大京大特選化学

講座案内 東大では処理能力と記述能力が、京大では論理的思考力と文章読解能力が特に要求されます。これらの能力を向上させることはもちろん大切ですが、高校化学の根本理解、すなわち、化学現象や物質の性質に関する深い理解と、それをあらゆる問題で使いこなす力が必須となります。本講座では、このような化学における基礎的な考え方に基づいて入試問題を俯瞰して解けるようになることを目指します。毎回の小テストなどで実践演習を多く取り入れることによって、各大学で求められる能力を高いレベルで習得することを目標とします。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、大阪大学医学部医学科、京都府立医科大学医学部医学科など

使用教材 【テキスト】『究極の化学 俯瞰編』【補助教材】『無機化学問題集「礎」』、『有機化学問題集「暁」』（夏期配付）

指導内容と目的

3月～5月 ▶ 「理論化学」の問題を俯瞰的視点で解答する知識と思考を得る

化学の土台となる「理論化学」を扱います。最重要単元である化学平衡を春期までに終えます。扱う問題は、いずれも単に知識や解法パターンを当てはめるだけのような問題とは一線を画した、高い思考力を要する良問ばかりです。テキストの問題をマスターすれば、どのような入試問題が出題されても物怖じすることなく解答できるようになります。毎回実施される小テストは添削されるので、客観的に自分の学力を把握できます。

6月～9月 ▶ 「有機化学」を化合物の構造や性質に基づいて根本的に理解する

6月期から「有機化学」を扱います。東大、京大で頻出の構造決定問題や、高校の検定教科書に記載されていない有機化学反応に関する問題などへの対応力を身につけることを目的とします。基本事項は授業の他に『有機化学問題集「暁」』で身につけることができます。夏期・9月期は「高分子化学」を扱います。6・7月期内容に基づいて重要事項を確認しつつ、難問が出題されても高分子の問題を得点源にする力を養成します。

10月 ▶ 「無機化学」を理論化学と関連付けて根本的に理解する

「無機化学」を扱います。あらかじめ、夏期に配付される『無機化学問題集「礎」』で、各論的な知識を身につけることはできます。しかし、東大、京大の無機化学の問題は、各論的な問題よりも総合問題が頻繁に出題されます。問題解説を通して無機化学の基本知識を確認しつつ、このような総合問題に対するアプローチ法も身につけることができます。

11月～12月 ▶ 大学入試化学における難問の演習を通して化学を得点源にする

総合演習を行います。思考力が試される問題、処理能力が試される問題、読解力が試される問題、最新の入試傾向を踏まえた問題を演習することで、化学を得点源にする力を着実に身につけることができます。もちろん、答案の添削も実施しますので、記述答案の作成においても万全の対策を講じることができます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		理論	無機	有機	高分子	関係性の高い項目・内容
3月期	第1回	電子軌道と立体化学	●			
	第2回	固体の構造	●			
	第3回	反応速度	●			
春期講習		化学平衡	●			中和反応 春期「化学平衡」
		溶解平衡	●			
		電離平衡①	●			
		電離平衡②	●			
4月期	第1回	気液平衡	●			理想気体の法則
	第2回	沸点上昇・凝固点降下	●			
	第3回	浸透圧とコロイド	●			
5月期	第1回	電池	●			酸化還元反応
	第2回	電気分解	●			
	第3回	合同復習テスト①(理論化学分野)	●			
6月期	第1回	有機立体化学		●		
	第2回	脂脂肪酸化水素		●		
	第3回	アルコール誘導体		●		
7月期	第1回	芳香族炭化水素		●		
	第2回	構造決定問題解説講義		●		
	第3回	合同復習テスト②(有機化学分野)		●		
夏期講習① 高3東大京大特選化学 [高分子]		単糖類と二糖類			●	6・7月期 [有機化学]
		多糖類			●	
		アミノ酸			●	
		タンパク質			●	
夏期講習② 高3スーパー化学特講 [有機化学]		立体異性体をテーマとした構造決定問題		●		6・7月期 [有機化学]
		分離操作をテーマとした構造決定問題		●		
		読解力が要求される構造決定問題		●		
		思考力が要求される構造決定問題		●		
		復習テスト		●		
9月期	第1回	生体内の有機化合物		●	●	6・7月期 [有機化学]
	第2回	合成高分子化合物			●	
	第3回	合同復習テスト③(高分子化学分野)			●	
10月期	第1回	無機分析化学		●		
	第2回	無機化学工業		●		
	第3回	無機化学総合		●		
11月期	第1回	合同復習テスト④(無機化学分野)		●		
	第2回	総合演習①	●	●	●	
	第3回	総合演習②	●	●	●	
12月期	第1回	合同復習テスト⑤(総合演習)	●	●	●	
	第2回	総合演習③	●	●	●	
	第3回	総合演習④	●	●	●	
冬期講習		高3東大京大特選化学実践演習	●	●	●	
直前講習 <前編>	第1回	新傾向問題の総合演習①	●	●	●	
	第2回	新傾向問題の総合演習②	●	●	●	
直前講習 <後編>	第1回	東大・京大レベル問題総合演習①	●	●	●	
	第2回	東大・京大レベル問題総合演習②	●	●	●	
直前講習		東大化学ファイナル演習、京大化学ファイナル演習	●	●	●	

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3京大阪大・医学部化学

講座案内 京大・阪大やその他国立大医学部に合格するためには、正確な知識に基づき解答を導出するスピード、正しく立式して数値を求める計算力が必要です。本講座では、根本理論を理解するとともに、問題解説や演習を通して、学んだ思考法の使い方を身につけていきます。(化学に苦手意識を持つ、もしくは大学入試に向けた化学の勉強をこれから始める方は、より効率的な学力向上のため映像オンデマンド講座「高3京大阪大・医学部化学 [基礎構築]」を併せて受講することを強く薦めます。)

この講座からの合格大学 京都大学、大阪大学、国立大学医学部医学科など

使用教材 【テキスト】『究極の化学 思考編』【補助教材】『無機化学問題集「礎」』、『有機化学問題集「暁」』（夏期配付）

指導内容と目的

3月～5月 ▶ 「理論化学」を京大・阪大の入試に対応できるレベルまで引き上げる

化学の土台となる「理論化学」を扱います。最重要単元である化学平衡を春期までに終えます。扱う問題は重要事項が確認できるだけでなく、難問へのアプローチ法を学ぶことのできる問題ばかりです。テキストの問題をマスターすれば、大学入試の典型問題を解くためのポイントを網羅できるだけでなく、京大阪大レベルの問題を解くための思考法も身につけることができます。(理論化学の基礎事項に不安があれば「高3京大阪大・医学部化学 [基礎構築]」を併せて受講することを強く薦めます。)

6月～9月 ▶ 「有機化学」「高分子化学」を化合物の構造や性質に基づいて根本的に理解する

6月期から「有機化学」を扱います。基本事項を体系的に整理しつつ、京大、阪大で頻出の構造決定問題や、初見の問題などへの対応力を身につけることを目的とします。また、夏期に配付する自習用問題集『有機化学問題集「暁」』による復習で基本事項を確実に定着させることができます。夏期・9月期は「高分子化学」を扱います。6・7月期内容に基づいて重要事項を確認しつつ、難問が出題されても高分子の問題を得点源にする力を養成します。

10月 ▶ 「無機化学」を理論化学と関連付けて根本的に理解する

「無機化学」を扱います。あらかじめ、夏期に配付される『無機化学問題集「礎」』で、各論的な知識を身につけることはできます。しかし、京大、阪大の無機化学の問題は、各論的な問題よりも総合問題が頻繁に出題されます。問題解説を通して無機化学の基本知識を確認しつつ、このような総合問題に対するアプローチ法も身につけることができます。

11月～12月 ▶ 演習を通して化学の総合力を京大阪大レベルまで引き上げる

総合演習を行います。京大や阪大、あるいはそれに準じるレベルの大学で求められる、複雑な状況の把握や、見慣れない内容が書かれた問題文の読解が必要となる問題を演習することで、化学を得点源にする力を着実に身につけることができます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			理論	無機	有機	高分子	関係性の高い項目・内容
3月期	第1回	電子軌道と立体化学	●				
	第2回	固体の構造	●				
	第3回	反応速度	●				
春期講習		化学平衡	●				中和反応 春期「化学平衡」
		溶解平衡	●				
		電離平衡①	●				
		電離平衡②	●				
4月期	第1回	気液平衡	●				理想気体の法則
	第2回	沸点上昇・凝固点降下	●				
	第3回	浸透圧とコロイド	●				
GW特訓(テーマ別講座)		高3共通テスト化学	●				
5月期	第1回	電池	●				酸化還元反応
	第2回	電気分解	●				
	第3回	合同復習テスト①(理論化学分野)	●				
6月期	第1回	有機立体化学			●		
	第2回	脂肪族炭化水素			●		
	第3回	アルコール誘導体			●		
7月期	第1回	芳香族炭化水素			●		
	第2回	ベンゼン誘導体			●		
	第3回	合同復習テスト②(有機化学分野)			●		
夏期講習① 高3京大・阪大・医学部化学 [高分子]	単糖類と二糖類					●	6・7月期 [有機化学]
	多糖類					●	
	アミノ酸					●	
	タンパク質					●	
	天然高分子化合物演習					●	
夏期講習② 高3スーパー化学特講 [有機化学]	立体異性体をテーマとした構造決定問題				●		
	分離操作をテーマとした構造決定問題				●		
	読解力が要求される構造決定問題				●		
	思考力が要求される構造決定問題				●		
	復習テスト				●		
9月期	第1回	生体内の有機化合物			●	●	6・7月期 [有機化学]
	第2回	合成高分子化合物				●	
	第3回	合同復習テスト③(高分子化学分野)				●	
10月期	第1回	無機分析化学		●			
	第2回	無機化学工業		●			
	第3回	無機化学総合		●			
秋の特別講座		『高3京大・阪大・医学部化学[難問突破のstrategy]』			●	●	
11月期	第1回	合同復習テスト④(無機化学分野)		●			
	第2回	総合演習①	●	●	●	●	
	第3回	総合演習②	●	●	●	●	
12月期	第1回	合同復習テスト⑤(総合演習)	●	●	●	●	
	第2回	総合演習③	●	●	●	●	
	第3回	総合演習④	●	●	●	●	
冬期講習		高3京大・阪大・医学部化学実践演習	●	●	●	●	
年末年始特別講座		高3共通テスト化学 [差がつく問題完全粉砕]	●	●	●	●	
直前講習		共通テスト化学ファイナル演習	●	●	●	●	
直前講習 <前編>	第1回	理論化学総合演習	●	●	●	●	
	第2回	無機化学総合演習	●	●	●	●	
直前講習 <後編>	第1回	有機化学総合演習	●	●	●	●	
	第2回	総合演習	●	●	●	●	
直前講習		京大化学ファイナル演習、阪大化学ファイナル演習	●	●	●	●	

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

<OD>高3京大阪大・医学部化学 基礎構築【～7月期】

(注)「高3京大阪大・医学部化学」とのセット受講のみ

講座案内 「高3京大阪大・医学部化学」では、「高2化学ハイレベル」にて扱った基礎事項相当の知識をある程度習得済みであることを前提として講義しますので、化学の基礎学力（教科書記載レベルの定着）に自信の無い場合は本講座の受講を検討してください。これら高2講座を受講されていた場合でも基礎学力を習得しきれていない場合には「高3京大阪大・医学部クラス」の授業内容を理解することが困難になる可能性があります。基礎学力が不安なテーマを扱う月期（60分×3回）だけを受講することも可能です（年間指導カリキュラムを参照）のでこの場合も本講座の受講を検討してください。

使用教材 【テキスト】『究極の化学 定石編』

指導内容と目的

3月・春期 ▶「結合 / 分子 / 物質 / 中和反応 / 反応エンタルピー」の基礎学力定着

「高3京大阪大・医学部化学」の3月では固体の構造の1つである結晶を、春期では化学平衡の1つである電離平衡をそれぞれ扱います。結晶の性質を理解するためには化学結合や分子間力の基礎完成が必須です。これらの基礎を丁寧に解説するとともに、分子の構造や極性についても詳説します。さらに、化学のあらゆる計算の基本となる物質質量や化学反応式についてもここで扱います。また、春期で扱う電離平衡を理解するためには中和反応の基礎完成が必須です。そこで、中和反応や中和滴定について丁寧に解説します。これらを「高3京大阪大・医学部化学」の該当項目の講義「前」を受講することで、「高3京大阪大・医学部化学」の授業内容をしっかりと定着させることができます。また、「高3京大阪大・医学部化学」では重点的に扱わない化学反応と熱についても、ここで基礎から丁寧に講義します。

4月 ▶「気体」の基礎学力定着

「高3京大阪大・医学部化学」の4月では気液平衡と溶液の性質を扱います。気液平衡を理解し、この単元の問題を解くためには理想気体の法則や実在気体の理解が必須です。「高3京大阪大・医学部化学」の該当項目の講義と合わせて本講義を受講することで、「高3京大阪大・医学部化学」の授業内容をしっかりと定着させることができます。

5月 ▶「酸化還元反応」の基礎学力定着

「高3京大阪大・医学部化学」の5月では電池・電気分解を扱います。これらの単元を理解するためには酸化還元反応の基礎完成が必須です。「高3京大阪大・医学部化学」では酸化還元反応は重点的に扱いませんが、該当項目の講義と合わせて本講義を受講することで、「高3京大阪大・医学部化学」の授業内容をしっかりと定着させることができます。

6月・7月 ▶「反応速度・化学平衡」の基礎学力定着

「高3京大阪大・医学部化学」の3月・春期に扱った反応速度・化学平衡をもう一度おさらいすることで、重要単元である化学平衡に対する苦手意識を完全に払拭し、夏期からの本格的な入試対策につなげます。

年間指導カリキュラム（「京大阪大・医学部化学」との比較）

※カリキュラムは変更する場合があります。

高3 京大阪大・医学部化学（参考）			高3 京大阪大・医学部化学 [基礎構築] オンデマンド		
3月	第1回	電子軌道と立体化学	3月①	第1回	化学結合と分子の構造
	第2回	固体の構造		第2回	分子の極性と分子間の結合
	第3回	反応速度		第3回	物質量と化学反応式
春期講習		化学平衡	3月②	第1回	中和反応
		溶解平衡		第2回	中和滴定
		電離平衡①		第3回	化学反応と熱
		電離平衡②			春期講習
4月	第1回	気液平衡	4月	第1回	理想気体
	第2回	沸点上昇・凝固点降下		第2回	混合気体
	第3回	浸透圧とコロイド		第3回	実在気体
GW特訓(テーマ別講座)			GW特訓(テーマ別講座)		
5月	第1回	電池	5月	第1回	酸化還元反応
	第2回	電気分解		第2回	酸化還元滴定
	第3回	合同復習テスト①(理論化学分野)		第3回	金属のイオン化傾向
6月	第1回	有機立体化学	6月	第1回	反応速度
	第2回	脂肪族炭化水素		第2回	化学平衡
	第3回	アルコール誘導体		第3回	圧平衡定数
7月	第1回	芳香族炭化水素	7月	第1回	電離平衡
	第2回	ベンゼン誘導体		第2回	気体の溶解平衡
	第3回	合同復習テスト②(有機化学分野)		第3回	固体の溶解平衡

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3阪大神大化学

講座案内 神大などの国公立大学や、関関同立、産近甲龍などの私立大学に合格するには、標準的な問題を確実に解けることが不可欠です。さらに得点源にする、もしくは大阪大学などの国公立大学に合格するには、それに加えて差がつく応用問題まで解き切ることが必要です。本講座では、各単元の基礎を確実に定着させ、それらを大学入試問題でどう用いるかを丁寧に解説します。これらの定着度の確認のため、毎回の授業で小テストを行います。7月までに高校化学の最重要分野である理論化学の全範囲を終え、夏期に有機化学、9月以降に高分子化合物と無機化学を扱います。

この講座からの合格大学 大阪大学、神戸大学、大阪公立大学、その他国公立大学、関関同立、京都薬科大・大阪薬科大などの私立薬学部

使用教材 【テキスト】『究極の化学 明察編』【補助教材】『無機化学問題集「礎」』、『有機化学問題集「暁」』（夏期配付）

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 化学の最重要分野「理論化学」の基礎を講義および小テストで徹底的に固める

化学の土台となる「理論化学」を扱います。3月・春期で化学基礎の内容を終え、4月から化学の内容に入ります。化学基礎の理解は高校化学全体の理解のために必須なので、3月からの受講を強く薦めます。テキストの問題は、個々の単元を確実に理解するための単問形式の問題から、国公立大レベルの総合問題まで揃っているので、これから受験勉強を本格的に始める人でも無理なく学力を伸ばせます。さらに、毎回講義内容の定着を確認するための小テストを行いますので、たしかな成績向上を実感できます。

夏期 ▶ 「有機化学」の膨大な知識を総整理する

「有機化学」（脂肪族化合物・芳香族化合物）を扱います。一見雑多に見えるような有機化学の知識を、体系的に整理しながら講義を進めます。また、テキストの問題に加え、自習用教材として『有機化学問題集「暁」』を配付しますので、学んだ知識を使う訓練を十分に行えます。講義内容を習得することで、個々の問題に応じて有機化学の知識を迷わず迅速に引き出すことができるようになります。

9月～11月 ▶ 学習が後手になりがちな「高分子化学」差がつきやすい「油脂」を完全攻略する

「高分子化学」を扱います。夏期に学んだ有機化学の知識を確認しつつ、高分子化学の知識をやはり体系的に整理しながら講義を進めます。また、独特の用語が多く差がつきやすい「油脂」もここで扱います。テキストには、基本知識を確認できる単問形式の問題と、応用力を身につけることのできる総合問題が掲載されており、効率的に学力を向上させることができます。さらに毎回講義内容の定着を確認するための小テストも行います。授業を通して、これらの単元を得点源にすることができます。

11月～12月 ▶ 無機化学の知識を、理論化学の知識を確認しながら体系的に整理する

「無機化学」を扱います。無機化学の知識を総整理しつつ、それが理論化学のどの内容と関連があるかを示していきます。これにより、無機化学の知識を丸暗記ではなく、論理的に理解することができます。それだけでなく、理論化学の考え方をもう一度おさらいすることもできます。直前期の演習に向けて理論化学・無機化学の知識の穴を完全に埋めていきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			理論	無機	有機	高分子	関係性の高い項目・内容
3月期	第1回	中和反応	●				
	第2回	酸化還元反応	●				
	第3回	反応の量的関係	●				
春期講習		金属のイオン化傾向	●				
		電池	●				
		電気分解	●				
		電気化学問題解説講義	●				
4月期	第1回	理想気体の性質	●				
	第2回	実在気体	●				
	第3回	飽和蒸気圧	●				
GW特訓(テーマ別講座)		高3 共通テスト化学	●				
5月期	第1回	化学反応と熱	●				
	第2回	反応速度	●				
	第3回	化学平衡と平衡移動	●				
6月期	第1回	電離平衡①	●				3月第2回「中和反応」
	第2回	電離平衡②	●				5月第3回「化学平衡」
	第3回	溶解平衡	●				
7月期	第1回	蒸気圧降下	●				4月第3回「飽和蒸気圧」
	第2回	浸透圧とコロイド	●				
	第3回	理論化学総合演習	●				
夏期講習① 高3阪大神大化学 【有機化学】		有機立体化学			●		
		脂肪族炭化水素			●		
		アルコール誘導体			●		
		芳香族炭化水素			●		
		ベンゼン誘導体			●		
夏期講習② 高3入試化学完全攻略 【有機化学】		異性体に関する入試問題解説			●		
		脂肪族炭化水素に関する入試問題解説			●		
		アルコール誘導体に関する入試問題解説			●		
		芳香族炭化水素に関する入試問題解説			●		
		ベンゼン誘導体に関する入試問題解説			●		
9月期	第1回	単糖類と二糖類				●	
	第2回	多糖類と再生繊維				●	
	第3回	アミノ酸				●	
10月期	第1回	タンパク質				●	夏期「有機化学」
	第2回	合成高分子化合物①				●	
	第3回	合成高分子化合物②				●	
秋の特別講座		『高3 阪大神大化学【高分子計算ドリル】』			●	●	
11月期	第1回	油脂とセッケン			●		
	第2回	気体の発生実験		●			
	第3回	金属イオンの系統分析		●			
12月期	第1回	無機化学工業①		●			理論化学全範囲
	第2回	無機化学工業②		●			
	第3回	総合演習	●	●	●	●	
冬期講習		高3 共通テスト突破の化学実践演習	●	●	●	●	
年末年始特別講座		高3 共通テスト化学【差がつく問題完全粉砕】	●	●	●	●	
直前講習		共通テスト化学ファイナル演習	●	●	●	●	
直前講習 <前編>	第1回	総合演習による弱点把握	●	●	●	●	
	第2回	入試問題解説講義(気体・溶液)	●	●	●	●	
直前講習 <後編>	第1回	入試問題解説講義(化学平衡)	●	●	●	●	
	第2回	入試問題解説講義(有機化学・高分子)	●	●	●	●	
直前講習		阪大化学ファイナル演習、神大化学ファイナル演習、大阪公立大化学ファイナル演習	●	●	●	●	

高3

英語

数学

国語

理科

社会

< OD > 光速シリーズ物理基礎

講座案内 共通テストで出題される理科基礎において、30分×10回のオンデマンド映像講義とチェックテストで、9割取れる土台を作ります。短時間ながらポイントを押さえた講義をしますので、付け焼刃的な丸暗記状態を脱し、理解のもとで確信をもって解答できるようになります。
 予習は不要。テキストもありませんので、講義内容をノートに写し、繰り返し確認してポイントを押さえましょう。なお、テキスト無しの形式を逆手に取り、「何度も流し聞きして定着させる」という方法で成績を上げた受験生もいました。自分に合った方法で柔軟に受講してください。

この講座からの合格大学 京都大、大阪大、神戸大、大阪公立大など

指導内容と目的

第1回～第10回 ▶ 物体の運動、エネルギー、波、電気のポイントを「光の速さ」で押さえる

物理基礎といえど、「用語の暗記」や「公式あてはめの計算」だけで解けるような問題は、共通テストではあまり出題されません。なぜその公式が成り立つのか、どう使えば良いのかまで理解しておくことが必要です。とはいえ、掘り下げれば物理はどこまででも掘り下げられてしまいます。何をどれだけ理解しておけば良いか、必要最小限のことを過不足なく講義します。

チェックテスト ▶ 必要事項の定着度を客観的にはかる

映像授業で学習した内容を確認するための30分のテストを解き、解説の映像授業を確認してもらいます。各問題がどの回の授業内容と対応しているのが明確にしていますので、曖昧な部分および復習すべきことが浮き彫りになります。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		力学	熱	波	電気	関係性の高い項目・内容
適 宜	第1回	速度と加速度	●			
	第2回	落体の運動	●			
	第3回	様々な力	●			
	第4回	運動の法則	●			
	第5回	仕事とエネルギー	●			
	第6回	熱とエネルギー		●		
	第7回	波の性質			●	
	第8回	音波			●	
	第9回	静電気と電流				●
	第10回	交流と電磁波				●
	第11回	チェックテスト	●	●	●	●
冬期講習	共通テストレベルマーク式単元別演習			●		
直前講習	共通テストレベル問題演習 & 解説講義			●		

< OD > 光速シリーズ化学基礎

講座案内 共通テストで出題される理科基礎において、30分×10回のオンデマンド映像講義とチェックテストで、9割取れる土台を作ります。短時間ながらポイントを押さえた講義をしますので、付け焼刃の丸暗記状態を脱し、理解のもとで確信をもって解答できるようになります。
 予習は不要。テキストもありませんので、講義内容をノートに写し、繰り返し確認してポイントを押さえます。なお、テキスト無しの形式を逆手に取り、「何度も流し聞きして定着させる」という方法で成績を上げた受験生もいました。自分に合った方法で柔軟に受講してください。

この講座からの合格大学 京都大、大阪大、神戸大、大阪公立大など

指導内容と目的

第1回～第10回 ▶ 物質の分類、物質の構成、化学反応のポイントを「光の速さ」で押さえる

化学は暗記のみで対応できる科目ではありません。それは化学基礎も同様です。とはいえ、「イオン化エネルギー」と「電子親和力」と「電気陰性度」など、似たような用語を正しく理解しておくことは必要不可欠です。何を暗記し、何は知識に立脚して考えれば良いのかを丁寧に解説し、最短で化学基礎を攻略してもらいます。

チェックテスト ▶ 必要事項の定着度を客観的にはかる

映像授業で学習した内容を確認するための30分のテストを解き、解説の映像授業を確認してもらいます。各問題がどの回の授業内容と対応しているのか明確にしていますので、曖昧な部分および復習すべきことが浮き彫りになります。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		物質の分類	物質の構成	物質の変化	関係性の高い項目・内容
適 宜	第1回	物質の分類	●		
	第2回	原子の構造		●	
	第3回	周期律・化学結合		●	
	第4回	結晶の性質		●	
	第5回	モル計算		●	
	第6回	中和反応			●
	第7回	中和滴定			●
	第8回	酸化還元			●
	第9回	イオン化傾向			●
	第10回	計算問題			●
	第11回	チェックテスト	●	●	●
冬期講習	共通テストレベルマーク式単元別演習		●		
直前講習	共通テストレベル問題演習 & 解説講義		●		

< OD > 光速シリーズ生物基礎

講座案内 共通テストで出題される理科基礎において、30分×10回のオンデマンド映像講義とチェックテストで、9割取れる土台を作ります。短時間ながらポイントを押さえた講義をしますので、付け焼刃的な丸暗記状態を脱し、理解のもとで確信をもって解答できるようになります。
 予習は不要。テキストもありませんので、講義内容をノートに写し、繰り返し確認してポイントを押さえましょう。なお、テキスト無しの形式を逆手に取り、「何度も流し聞きして定着させる」という方法で成績を上げた受験生もいました。自分に合った方法で柔軟に受講してください。

この講座からの合格大学 京都大、大阪大、神戸大、大阪公立大など

指導内容と目的

第1回～第10回 ▶ 遺伝子、体内環境、生態系のポイントを「光の速さ」で押さえる

生物は暗記不可避な事項が少なからずあります。それは、生物基礎においても同じです。しかし、力わざで汗をかきながら覚えるのは多大な労力を必要としますし、どうにか覚えてもすぐに忘れてしまうかも知れません。必要に応じて、暗記事項どうしを関連付けたり、根拠や語源を紹介したりして、効率的に定着できるように講義します。

チェックテスト ▶ 必要事項の定着度を客観的にはかる

映像授業で学習した内容を確認するための30分のテストを解き、解説の映像授業を確認してもらいます。各問題がどの回の授業内容と対応しているのか明確にしていますので、曖昧な部分および復習すべきことが浮き彫りになります。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		生物と遺伝子	体内環境の維持	多様性と生態系	関係性の高い項目・内容
適 宜	第1回	●			
	第2回	●			
	第3回	●			
	第4回	●			
	第5回		●		
	第6回		●		
	第7回		●		
	第8回			●	
	第9回			●	
	第10回			●	
	第11回		●	●	●
冬期講習	共通テストレベルマーク式単元別演習		●		
直前講習	共通テストレベル問題演習 & 解説講義		●		

< OD > 光速シリーズ地学基礎

講座案内 共通テストで出題される理科基礎において、30分×10回のオンデマンド映像講義とチェックテストで、9割取れる土台を作ります。短時間ながらポイントを押さえた講義をしますので、付け焼刃的な丸暗記状態を脱し、理解のもとで確信をもって解答できるようになります。
 予習は不要。テキストもありませんので、講義内容をノートに写し、繰り返し確認してポイントを押さえましょう。なお、テキスト無しの形式を逆手に取り、「何度も流し聞きして定着させる」という方法で成績を上げた受験生もいました。自分に合った方法で柔軟に受講してください。

この講座からの合格大学 京都大、大阪大、神戸大、大阪公立大など

指導内容と目的

第1回～第10回 ▶ 地球の活動、地球の移り変わり、大気と海洋、宇宙のポイントを「光の速さ」で押さえる

宇宙の構造、地球の歴史など、地学で扱うことは規模が大きすぎてイメージしにくいものですが、銀河団どうしの平均距離だとか恐竜が滅んだのはどれほどの昔かだとか、ある程度のことは大づかみに知っておく必要があります。必要なものだけを選び抜き講義しますので、最短で地学基礎の全貌を把握することができます。

チェックテスト ▶ 必要事項の定着度を客観的にはかる

映像授業で学習した内容を確認するための30分のテストを解き、解説の映像授業を確認してもらいます。各問題がどの回の授業内容と対応しているのか明確にしていますので、曖昧な部分および復習すべきことが浮き彫りになります。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		地球の活動	地球の変遷	大気と海洋	宇宙と地球	関係性の高い項目・内容
適 宜	第1回	惑星としての地球			●	
	第2回	地球の活動と地震	●			
	第3回	火山活動と岩石	●			
	第4回	地層と地質構造		●		
	第5回	地球と生命の進化		●		
	第6回	大気構造と熱収支			●	
	第7回	大気と海水の運動			●	
	第8回	日本の天気・環境			●	
	第9回	太陽系の天体				●
	第10回	銀河と宇宙				●
	第11回	チェックテスト	●	●	●	●
直前講習	共通テストレベル問題演習 & 解説講義			●		

高3論述日本史

講座案内 東京大学は120～180字前後が4題、京都大学は200字が2題と、難関国公立大学の二次試験では字数指定のある論述問題が出題されます。論述は記述とは違います。記述は単に語句の説明をするのに対し、論述は出題意図に沿って歴史的展開を論理的に説明する必要があります。この講座では、知識に基づく論点の構築を講義し、添削指導で何が不足していたのかを明確にし、論述問題を解く力を養成します。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、大阪大学、一橋大学、筑波大学など

使用教材 【テキスト】『日本史探究』『高3論述日本史』 【問題集】『高3日本史の猛攻』

指導内容と目的

概論 ▶ 論述問題とは？

各授業のテーマにそって難関国公立大学の二次試験問題を用いて、講義を展開します。授業のテーマとは「原因・結果」、「歴史的影響」、「比較」、「歴史的展開」、「資料読み取り」などです。例えば「乙巳の変の歴史的影響について述べなさい。」という問題があるとしましょう。あなたはどのように解答しますか？どのような単語が必要で、どのような論点で、どの順番で解答すればよいのでしょうか？東京大学や京都大学の論述日本史は、①時代背景を確認して理解力を高め、必要単語をチェックする。②確認した知識を用いて論述力を高める。③実際に論述してみる。という工程が必要になります。この講座ではその方法を明示します。

3月～7月 ▶ 原始～江戸時代後期の論述問題

原始～江戸時代後期までを扱います。特に春期講習では、論述問題で頻出の荘園史の対策を行います。また、高2では扱わなかった年表・資料を用いた論述対策も行います。

夏期 ▶ 江戸幕末～明治時代の論述問題

江戸幕末から明治時代は、開国により、諸外国との関係をふまえた論述が多く出題されます。条約などの外交関係だけでなく、外国貿易と日本経済などが出題されるので、しっかりとした練習が必要です。答案を作成するために必要な知識を講義し、題意を満たすためのポイントを明示します。

9月～12月 ▶ 大正時代～戦後の論述問題

大正時代以降は、覚えておかないといけない知識・単語量が増え、より多くの知識を身につけておかないといけません。必要な知識を確認しながら諸外国との関係などを解説します。

冬期 ▶ 共通テスト日本史 テーマ別実践演習

冬期講習では論述の対策ではなく、共通テスト対策を行います。テーマ別に全時代を総復習し、弱点克服・得点向上をはかります。「政治史（古代～中世）、（近世～現代）」「外交史（日中・日朝関係）、（日欧米関係）」「社会経済史（土地制度史）、（貨幣金融史）」「文化史（宗教史）」の徹底対策講義をします。テーマの内容だけでなく、共通テスト形式の演習を通して対策することで、共通テストで高得点獲得を目指します。

直前 ▶ 最終チェック講義・ファイナル演習

直前期はテーマ史対策と実践演習です。1年間培ってきた知識を総動員した大学別対策も行います。ファイナル演習では、東京大学・京都大学の傾向を徹底分析した予想問題で高得点獲得を目指します。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			古代史	中世史	近世史	近代史	現代史	演習
3月期	第1回	古代の対中国外交	●					●
	第2回	天智天皇	●					●
	第3回	律令国家の完成	●					●
春期講習		桓武・嵯峨王朝期	●					●
		令制下の農民負担	●					●
		国司制度の変遷	●					●
		院政		●				●
4月期	第1回	武士の台頭		●				●
	第2回	鎌倉時代の将軍		●				●
	第3回	鎌倉時代の朝幕関係		●				●
5月期	第1回	モンゴル襲来		●				●
	第2回	南北朝動乱の歴史的意義		●				●
	第3回	日明貿易と日朝貿易		●				●
6月期	第1回	守護大名と戦国大名		●				●
	第2回	信長・秀吉のキリスト教観			●			●
	第3回	江戸幕府の民衆支配			●			●
7月期	第1回	鎖国下の対外関係			●			●
	第2回	江戸幕府の貨幣制度			●			●
	第3回	田沼の政治と寛政の改革			●			●
夏期講習		列強の接近と開国			●			●
		明治政府の成立と外交				●		●
		自由民権運動				●		●
		日清戦争・立憲政友会				●		●
9月期	第1回	民衆運動				●		●
	第2回	第一次世界大戦				●		●
	第3回	大正デモクラシー				●		●
10月期	第1回	恐慌の時代				●		●
	第2回	国際連盟脱退				●		●
	第3回	日中戦争				●		●
11月期	第1回	日独伊三国同盟				●		●
	第2回	太平洋戦争				●		●
	第3回	戦後の民主化政策					●	●
12月期	第1回	終戦直後の経済					●	●
	第2回	日ノ国交回復					●	●
	第3回	高度経済成長					●	●
冬期講習		テーマ別実践演習① (政治史-古代史・中世史)	●	●				●
		テーマ別実践演習② (外交史-日中・日朝外交史)	●	●	●	●		●
		テーマ別実践演習③ (社会・経済史-土地制度・農民史)	●	●	●	●		●
		テーマ別実践演習④ (文化史)	●	●	●	●		●
		テーマ別実践演習⑤ (外交史-日欧米外交史)	●	●	●	●		●
		テーマ別実践演習⑥ (社会・経済史-貨幣・金融史)	●	●	●	●		●
年末年始特別講座		テーマ別実践演習⑦ (政治史-近世史・近現代史・内閣・政党史)			●	●	●	
直前講習		最終チェック講義	●	●	●	●	●	
		ファイナル演習	●	●	●	●	●	

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3早慶関関同立日本史

講座案内 ▶ 早慶・関関同立などの難関私立大学の日本史探究では、①組合せ式文章正誤問題（関学など）、②地図・写真問題（同志社・立命館など）、③教科書に記載されていない史料問題（立命館・早稲田など）と、出題方法が多様化しているため、徹底した対策が必要です。この講座では、早慶・関関同立などの難関私立大学の入試問題の分析を踏まえた講義で得点力向上をはかります。

この講座からの合格大学 ▶ 早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、同志社大学、関西学院大学、関西大学、立命館大学、甲南大学、近畿大学など

使用教材 ▶ 【テキスト】『日本史探究』 【問題集】『日本史の猛攻』

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 鎌倉時代～大正時代前半

鎌倉時代～大正時代前半までを扱います。早慶・関関同立などの難関私立大学の過去の出題例を踏まえながら、為政者の変遷（天皇・豪族の時代から貴族の時代へ。そして武家政権の時代にどのように変わっていくかなど）、それぞれの制度（氏姓制度、律令制度、武家政権の職制など）、外交関係などを時代順に講義します。

夏 期 ▶ 大正時代後半～昭和戦前

大正時代後半～昭和戦前を扱います。最近の入試では近現代史が重視される傾向にあります。近現代以降はそもそも覚えなければならない知識量がかかなり多くなるため、近現代史を苦手とする受験生は多いです。夏期は、国際協調外交、昭和恐慌、満洲事変、日中戦争など、激動の時代を5日間で講義します。

9月～10月 ▶ 第二次世界大戦～戦後

第二次世界大戦～戦後を扱います。最近の入試では近現代史が重視される傾向にあります。また、近現代以降はそもそも覚えなければならない知識量がかかなり多くなるため、近現代史を苦手とする受験生は多いです。そのため、9月・10月は第二次世界大戦、五大改革指令、55年体制、高度経済成長期など、早慶・関関同立などの難関私立大学で頻出の昭和戦前・戦後を講義します。

11月～12月 ▶ 原始～戦後 時代別演習

時代別演習を通して、原始～戦後を復習し、知識の定着を図ります。また、難関私立大学で頻出の重要単元を解説し、早慶・関関同立などの難関私立大学の入試へのアプローチの仕方なども解説します。

冬 期 ▶ テーマ別実践演習

テーマ別に全時代を総復習し、弱点克服・得点向上をはかります。「政治史（古代～中世）、（近世～現代）」「外交史（日中・日朝関係）、（日欧米関係）」「社会経済史（土地制度史）、（貨幣金融史）」「文化史（宗教史）」の徹底対策講義をします。テーマの内容だけでなく、早慶・関関同立などの難関私立大学レベルの演習を通して対策することで、高得点獲得を目指します。

直 前 ▶ 最終チェック講義・ファイナル演習

早慶・関関同立などの難関私立大学の入試対策の集大成です。最終チェック講義では地図・写真・統計グラフ問題に対する最後の特訓を行ない、それぞれの大学で狙われるポイントを確認し、さらに得点力を向上させます。ファイナル演習では、早慶・関関同立の傾向を徹底分析した予想問題で高得点獲得を目指します。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		古代史	中世史	近世史	近代史	現代史	演習
3月期	第1回	鎌倉幕府の成立	●				
	第2回	モンゴル襲来	●				
	第3回	南北朝の動乱	●				
春期講習		室町幕府の成立	●				
		日明貿易・日朝貿易	●				
		室町時代の一揆と戦国時代	●				
		織田信長の覇業		●			
4月期	第1回	天下統一と関ヶ原の戦い		●			
	第2回	幕藩体制の確立		●			
	第3回	鎖国と元禄時代		●			
5月期	第1回	江戸の三大改革		●			
	第2回	列強の接近		●			
	第3回	幕末の動乱		●			
6月期	第1回	明治政府の成立			●		
	第2回	初期国会と日清戦争			●		
	第3回	産業革命と北清事変			●		
7月期	第1回	日露戦争と韓国併合			●		
	第2回	条約改正と桂園時代			●		
	第3回	第一次世界大戦			●		
夏期講習		ワシントン体制			●		
		政党政治と協調外交			●		
		相次ぐ恐慌			●		
		満洲事変			●		
		日中戦争			●		
9月期	第1回	第二次世界大戦			●		
	第2回	太平洋戦争			●		
	第3回	戦後の民主化				●	
10月期	第1回	55年体制				●	
	第2回	高度経済成長期				●	
	第3回	現代へ				●	
11月期	第1回	時代別演習 古代史	●				●
	第2回	時代別演習 中世史		●			●
	第3回	時代別演習 近世史①			●		●
12月期	第1回	時代別演習 近世史②			●		●
	第2回	時代別演習 近現代史①				●	●
	第3回	時代別演習 近現代史②				●	●
冬期講習		テーマ別実践演習① (政治史-古代史・中世史)	●	●			●
		テーマ別実践演習② (外交史-日中・日朝外交史)	●	●	●	●	●
		テーマ別実践演習③ (社会・経済史-土地制度・農民史)	●	●	●	●	●
		テーマ別実践演習④ (文化史)	●	●	●	●	●
		テーマ別実践演習⑤ (外交史-日欧米外交史)	●	●	●	●	●
		テーマ別実践演習⑥ (社会・経済史-貨幣・金融史)	●	●	●	●	●
年末年始特別講座		テーマ別実践演習⑦ (政治史-近世史-近現代史-内閣・政黨史)		●	●	●	
直前講習		最終チェック講義	●	●	●	●	●
		ファイナル演習	●	●	●	●	●

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3共通テスト日本史

講座案内 共通テストの日本史探究では、知識の定着度をはかる設問はもちろんのこと、出来事を時系列的にとらえる力、複数の歴史事実を比較して相互のつながりや共通点と差異を導き出す力、資料から読み取った情報について、歴史事実の関わりを類推する力などが問われます。この講座では、「日本史探究」の内容の講義を行い、オリジナル問題集『日本史の猛攻』で効率よく得点力向上をはかります。国公立文系はもちろん、なかなか社会にまで多くの時間をかけられないという国公立理系志望者にも、うってつけの講座です。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、大阪大学、一橋大学、神戸大学、大阪公立大学など

使用教材 【テキスト】『日本史探究』 【問題集】『日本史の猛攻』

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 鎌倉～大正時代前半

鎌倉～大正時代前半までを扱います。共通テストやセンター試験の過去の出題例を踏まえながら、為政者の変遷（天皇・豪族の時代から貴族の時代へ。そして武家政権の時代にどのように変わっていくかなど）、それぞれの制度（氏姓制度、律令制度、武家政権の職制など）、外交関係などを時代順に講義します。特に江戸時代以降は「歴史総合」の範囲を含めて解説します。

夏期 ▶ 大正時代後半～昭和戦前

「歴史総合」の範囲を含む大正時代後半～昭和戦前を扱います。最近の入試では近現代史が重視される傾向にあります。近現代以降はそもそも覚えなければならない知識量が多くなるため、近現代史を苦手とする受験生は多いです。夏期は、国際協調外交、昭和恐慌、満洲事変、日中戦争など、激動の時代を5日間で講義します。

9月～10月 ▶ 第二次世界大戦～戦後

「歴史総合」の範囲を含む第二次世界大戦～戦後を扱います。特に近現代史は国内情勢だけでなく、諸外国との関わりが重要となってきます。五大改革指令、戦後の復興、55年体制、冷戦体制、高度経済成長などの重要単元を丁寧に講義し、シャープ勧告がなされた結果、戦後日本の財政状況がどのようになっていくかなど、共通テストではどのように問われるのかを徹底的に解説します。

11月～12月 ▶ 原始～戦後 時代別演習

6回の演習で原始～戦後までを復習し、知識の定着を図ります。共通テストではどのように問われるのかを徹底的に解説します。

冬期 ▶ テーマ別実践演習

テーマ別に全時代を総復習し、弱点克服・得点向上をはかります。「政治史（古代～中世）、（近世～現代）」「外交史（日中・日朝関係）、（日欧米関係）」「社会経済史（土地制度史）、（貨幣金融史）」「文化史（宗教史）」の徹底対策講義をします。テーマの内容だけでなく、共通テスト形式の演習を通して対策することで、共通テストで高得点獲得を目指します。

直前 ▶ 最終チェック講義・ファイナル演習

共通テスト対策の集大成です。最終チェック講義では地図・写真・統計グラフ問題に対する最後の特訓を行い、共通テストで狙われるポイントを確認し、さらに得点力を向上させます。ファイナル演習では、共通テストの傾向を徹底分析した予想問題で高得点獲得を目指します。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			古代史	中世史	近世史	近代史	現代史	演習
3月期	第1回	鎌倉幕府の成立		●				
	第2回	モンゴル襲来		●				
	第3回	南北朝の動乱		●				
春期講習		室町幕府の成立		●				
		日明貿易・日朝貿易		●				
		室町時代の一揆と戦国時代		●				
		織田信長の覇業			●			
4月期	第1回	天下統一と関ヶ原の戦い			●			
	第2回	幕藩体制の確立			●			
	第3回	鎖国と元禄時代			●			
5月期	第1回	江戸の三大改革			●			
	第2回	列強の接近			●			
	第3回	幕末の動乱			●			
6月期	第1回	明治政府の成立				●		
	第2回	初期議会と日清戦争				●		
	第3回	産業革命と北清事変				●		
7月期	第1回	日露戦争と韓国併合				●		
	第2回	条約改正と桂園時代				●		
	第3回	第一次世界大戦				●		
夏期講習		ワシントン体制				●		
		政党政治と協調外交				●		
		相次ぐ恐慌				●		
		満洲事変				●		
		日中戦争				●		
9月期	第1回	第二次世界大戦				●		
	第2回	太平洋戦争				●		
	第3回	戦後の民主化					●	
10月期	第1回	55年体制					●	
	第2回	高度経済成長期					●	
	第3回	現代へ					●	
11月期	第1回	時代別演習 古代史	●					●
	第2回	時代別演習 中世史		●				●
	第3回	時代別演習 近世史①			●			●
12月期	第1回	時代別演習 近世史②			●			●
	第2回	時代別演習 近現代史①				●		●
	第3回	時代別演習 近現代史②					●	●
冬期講習		テーマ別実践演習① (政治史-古代史・中世史)	●	●				●
		テーマ別実践演習② (外交史-日中・日朝外交史)	●	●	●	●	(外)	●
		テーマ別実践演習③ (社会・経済史-土地制度・農民史)	●	●	●	●	(社)	●
		テーマ別実践演習④ (文化史)	●	●	●	●	(文)	●
		テーマ別実践演習⑤ (外交史-日欧米外交史)	●	●	●	●	(外)	●
		テーマ別実践演習⑥ (社会・経済史-貨幣・金融史)	●	●	●	●	(社)	●
年末年始特別講座		テーマ別実践演習⑦ (政治史-近世史-近現代史-内閣・政黨史)			●	●	●	●
直前講習		最終チェック講義	●	●	●	●	●	●
		ファイナル演習	●	●	●	●	●	●

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3日本史

講座案内 共通テストの日本史探究では、知識の定着度をはかる設問はもちろんのこと、出来事を時系列的にとらえる力、複数の歴史事実を比較して相互のつながりや共通点と差異を導き出す力、資料から読み取った情報について、歴史事実の関わりを類推する力などが問われます。また、早慶・関関同立などの難関私立大学の日本史探究では、①組合せ式文章正誤問題（関学など）、②地図・写真問題（同志社・立命館など）、③教科書に記載されていない史料問題（立命館・早稲田など）と、出題方法が多様化しているため、徹底した対策が必要です。この講座では、共通テストや早慶・関関同立などの難関私立大学の入試問題の分析を踏まえた講義で得点力向上をはかります。

この講座からの合格大学 京都大学、大阪大学、神戸大学、大阪公立大学、同志社大学、関西学院大学、関西大学、立命館大学、甲南大学、近畿大学など

使用教材 【テキスト】『日本史探究』 【問題集】『日本史の猛攻』

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 鎌倉～大正時代前半

鎌倉～大正時代前半までを扱います。共通テストや難関私立大学の過去の出題例を踏まえながら、為政者の変遷（天皇・豪族の時代から貴族の時代へ。そして武家政権の時代にどのように変わっていくかなど）、それぞれの制度（氏姓制度、律令制度、武家政権の職制など）、外交関係などを時代順に講義します。特に江戸時代以降は「歴史総合」の範囲を含めて解説します。

夏 期 ▶ 大正時代後半～昭和戦前

「歴史総合」を含む大正時代後半～昭和戦前を扱います。最近の入試では近現代史が重視される傾向にあります。近現代以降はそもそも覚えなければならぬ知識量がかなり多くなるため、近現代史を苦手とする受験生は多いです。夏期は、国際協調外交、昭和恐慌、満洲事変、日中戦争など、激動の時代を5日間で講義します。

9月～10月 ▶ 第二次世界大戦～戦後

「歴史総合」を含む第二次世界大戦～戦後を扱います。特に近現代史は国内情勢だけでなく、諸外国との関わりが重要となってきます。五大改革指令、戦後の復興、55年体制、冷戦体制、高度経済成長などの重要単元を丁寧に講義し、シャープ勧告がなされた結果、戦後日本の財政状況がどのようになっていくかなど、共通テストや、難関私立大学の入試ではどのように問われるのかを徹底的に解説します。

11月～12月 ▶ 原始～戦後 時代別演習

6回の演習で原始～戦後までを復習し、知識の定着を図ります。共通テストや、難関私立大学の入試ではどのように問われるのかを徹底的に解説します。

冬 期 ▶ テーマ別実践演習

テーマ別に全時代を総復習し、弱点克服・得点向上をはかります。「政治史（古代～中世）、（近世～現代）」「外交史（日中・日朝関係）、（日欧米関係）」「社会経済史（土地制度史）、（貨幣金融史）」「文化史（宗教史）」の徹底対策講義をします。テーマの内容だけでなく、実際の問題形式や入試本番レベルの演習を通して対策することで、共通テストや難関私立大学入試で高得点獲得を目指します。

直 前 ▶ 最終チェック講義・ファイナル演習

入試対策の集大成です。最終チェック講義では地図・写真・統計グラフ問題に対する最後の特訓を行い、入試で狙われるポイントを確認し、さらに得点力を向上させます。ファイナル演習では、最新の入試の傾向を徹底分析した予想問題で高得点獲得を目指します。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		古代史	中世史	近世史	近代史	現代史	演習
3月期	第1回	鎌倉幕府の成立	●				
	第2回	モンゴル襲来	●				
	第3回	南北朝の動乱	●				
春期講習		室町幕府の成立		●			
		日明貿易・日朝貿易		●			
		室町時代の一揆と戦国時代		●			
		織田信長の覇業		●			
4月期	第1回	天下統一と関ヶ原の戦い		●			
	第2回	幕藩体制の確立		●			
	第3回	鎖国と元禄時代		●			
5月期	第1回	江戸の三大改革			●		
	第2回	列強の接近			●		
	第3回	幕末の動乱			●		
6月期	第1回	明治政府の成立			●		
	第2回	初期議会と日清戦争			●		
	第3回	産業革命と北清事変			●		
7月期	第1回	日露戦争と韓国併合			●		
	第2回	条約改正と桂園時代			●		
	第3回	第一次世界大戦			●		
夏期講習		ワシントン体制			●		
		政党政治と協調外交			●		
		相次ぐ恐慌			●		
		満洲事変			●		
		日中戦争			●		
9月期	第1回	第二次世界大戦				●	
	第2回	太平洋戦争				●	
	第3回	戦後の民主化				●	
10月期	第1回	55年体制				●	
	第2回	高度経済成長期				●	
	第3回	現代へ				●	
11月期	第1回	時代別演習 古代史	●				●
	第2回	時代別演習 中世史		●			●
	第3回	時代別演習 近世史①			●		●
12月期	第1回	時代別演習 近世史②			●		●
	第2回	時代別演習 近現代史①				●	●
	第3回	時代別演習 近現代史②				●	●
冬期講習		テーマ別実践演習① (政治史-古代史・中世史)	●	●			●
		テーマ別実践演習② (外交史-日中・日朝外交史)	●	●	●	●	●
		テーマ別実践演習③ (社会・経済史-土地制度・農民史)	●	●	●	●	●
		テーマ別実践演習④ (文化史)	●	●	●	●	●
		テーマ別実践演習⑤ (外交史-日欧米外交史)	●	●	●	●	●
		テーマ別実践演習⑥ (社会・経済史-貨幣・金融史)	●	●	●	●	●
年末年始特別講座		テーマ別実践演習⑦ (政治史-近世史・近現代史-内閣・政黨史)		●	●	●	●
直前講習		最終チェック講義	●	●	●	●	●
		ファイナル演習	●	●	●	●	●

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3論述世界史【春期・夏期・9月期～】

講座案内 過去問やオリジナルの論述問題の実践演習・解説を通じて、論述問題攻略に必要な視点や知識、正しい答案作成の方法などを伝えます。短文で用語の説明をする基礎的な問題から始まり、9月期からは東京大学の大論述にも対応できるように複数の国や地域にまたがるような問題、長期間の歴史の流れをテーマとした問題などにも取り組んでもらいます。基礎知識に不安がある人は、夏期まで「高3共通テスト世界史」をあわせて受講することをおすすめします。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、一橋大学、大阪大学（文学部・外国語学部）など

使用教材 論述実践問題プリントなど

指導内容と目的

春期講習 ▶ 古代史・中国史

ギリシア・ローマを中心とした地中海世界の古代史と、18世紀までの中国史の論述問題を扱います。まずは設問の意図を正確に読み取り、合格点がもらえる答案作成のための「構想メモ」の作り方を指導します。そして解答作成に必要な知識や視点（例：中国王朝における政治制度の「比較」や「意義」とは？）についてお伝えします。そして、中国王朝のみならず、その周辺地域にも視野を広げる力を養成していきます。

夏期講習 ▶ 18世紀までの中国史・イスラーム史・欧米史

古代から18世紀までの中国史・イスラーム史・欧米史の論述問題の実践演習を行います。必要な知識の確認および論述問題の書き方や着眼点などを解説して実践力をつけてもらいます。東京大学の第2問のような60字の短文問題から、京都大学の300字、一橋大学の400字など様々な字数の問題を扱いますが、いずれも多くの大学で問われる内容を凝縮した良問を選んでいるので、それらを使って柔軟に対応できる力を養っていきます。

9月～冬期講習 ▶ 19世紀～現在の総合実践問題

19世紀以降は、欧米史を軸としながら世界全体の情勢を視野に入れた問題が多くなります。これまで以上に難度が上がっていきますので、同時代のアジアやアフリカの状況も思い浮かべて問題にあたれるよう、各国・各地域の繋がりをより強く意識することで、問題への対応力を養っていきます。現代史までを一通り確認した後、複数地域が関連する問題にも取り組み、知識の整理を行うことで得点力アップをはかります。

秋の特別講座 ▶ 東南アジア史・朝鮮史特講

世界史の学習はつい中国史や欧米史に偏りがちになってしまいがちですが、大学入試では東南アジア、朝鮮半島などのアジア諸地域に関する様々なテーマ史が必ず出題されます。これらの範囲は、手つかずであったり、苦手意識を持ったりする受験生が多いですが、必要な知識をきちんと整理していけば効果的に得点源に変えてゆくことができます。この講座では、一見難しそうなお東南アジア史・朝鮮史を、既習の中国史などと関連付けて簡潔にまとめていきます。

年末年始 ▶ 私大・共通テスト世界史【苦手分野トップ5】

研伸館の世界史講座受講者全員に、苦手な時代・地域のアンケートを行い、その結果に基づいて演習と解説講義を行います。多くの受験生が苦手になっている単元を短期間で強化することで、難関私大はもちろん、共通テストでもライバルたちに差をつけることができます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		古代史	中世史	近世史	近代史	近現代・現代	地域
春期講習	論述実践演習 (古代地中海文明)	●					地中海周辺
	論述実践演習 (古代・中世中国史)	●	●				中国
	論述実践演習 (中世・近世中国史)		●	●			中国
	論述実践演習 (近世・近代中国史)				●		中国
夏期講習 [論述世界史]	論述実践演習 (18世紀までのアジア史①)	●	●	●			中国
	論述実践演習 (18世紀までのアジア史②)	●	●	●			西アジア・アフリカ
	論述実践演習 (中世～近世欧米史)		●	●			ヨーロッパ
	論述実践演習 (近世～近代欧米史)		●	●			欧米
	論述実践演習 (18世紀までの総合問題)				●		アジア・ヨーロッパ
夏期講習[イスラム史特講]	成立～18世紀までのイスラム史(オンデマンド講座)	●	●	●			西アジア
夏期講習[世界文化史特講]	欧米・中国の文化史	●	●	●	●		欧米・中国
9月期	第1回	論述実践総合演習+19世紀の欧米				●	欧米
	第2回	論述実践総合演習+帝国主義時代の欧米				●	欧米
	第3回	論述実践総合演習+第一次世界大戦前後の欧米				●	欧米
10月期	第1回	論述実践総合演習+戦間期の欧米①				●	欧米
	第2回	論述実践総合演習+戦間期の欧米②				●	欧米
	第3回	論述実践総合演習+第二次世界大戦				●	欧米
秋の特別講座	東南アジア史・朝鮮史特講 (オンデマンド講座)	●	●	●	●		東南アジア・東アジア
11月期	第1回	東南アジア史・朝鮮史 論述実践				●	東南アジア・東アジア
	第2回	論述実践総合演習+戦後の欧米①				●	欧米
	第3回	論述実践総合演習+戦後の欧米②				●	欧米
12月期	第1回	論述実践総合演習+近現代西アジア史				●	西アジア
	第2回	近現代中国史 論述実践①				●	中国
	第3回	近現代中国史 論述実践②				●	中国
冬期講習	共通テスト世界史総合演習+琉球史・台湾史・近現代朝鮮史	●	●	●	●	●	総合
	共通テスト世界史総合演習+近現代東南アジア史①	●	●	●	●	●	総合
	共通テスト世界史総合演習+近現代東南アジア史②	●	●	●	●	●	総合
	共通テスト世界史総合演習+ラテンアメリカ史・オセアニア史	●	●	●	●	●	総合
年末年始特別講座	私大・共通テスト世界史 [苦手分野トップ5]	事前アンケートによって決定					
直前講習	最終チェック講義	●	●	●	●	●	総合
	ファイナル演習	●	●	●	●	●	総合

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3早慶関関同立世界史

講座案内 早慶上智や関関同立などを中心とした難関私大入試で世界史を得点源にするために必要な学力を構築するための講座です。難関私大入試の世界史では、共通テストよりも多くの知識量が必要とされ、また大学ごとに出题形式も異なる上に、地域別やテーマ別の問題も多く出題されるため独学ではかなり時間がかかることでしょう。しかし本講座で基礎からしっかりと知識を積み上げ、大学ごとの特徴を理解してきちんと対策を行えば効率よく世界史を得意科目にすることができます。綿密な入試分析に基づいて構成された講義と研伸館独自のテキスト、そして復習用問題集で効率よく得点力を高めていきましょう。

この講座からの合格大学 早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、関西学院大学、関西大学、同志社大学、立命館大学など

使用教材 【テキスト】『高3世界史 体系化する世界史』 【問題集】『WORLD CONQUEST』

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 中国史・中世～近代欧米史

3月期・春期講習は清朝最盛期までの中国王朝史を、4～7月期は中世から近代の欧米史を扱います。多くの難関私立大学では、大問一つで「唐王朝」「キリスト教の歴史」など、時代やテーマごとに出題され、必要とされる用語の量も多く、大学によって異なる出題形式（特に正誤問題は注意が必要）にも対応する必要があります。各大学の傾向を踏まえた講義で、細かな用語もしっかりと確認し、月に1回実施される「復習テスト」で難関私大入試を想定した問題を解くことで実践力をつけていきます。

夏期講習 ▶ 近現代欧米史

19世紀から第一次世界大戦までの欧米史を扱います。市民革命を経て、国民主義（ナショナリズム）が盛り上がり、大きく変化していく欧米各国史や、第一次世界大戦前の複雑な国際関係がしっかりと理解できます。難関私大入試における近現代史は、これまでの範囲以上に難しくなり、覚えなくてはならない同盟や条約の名前なども一気に増加します。各難関私大の特徴的な問題に対応すべく、詳細で丁寧な講義を行い、難関私大入試を想定した「復習テスト」や、高得点をとるために必須の「重要年代暗記テスト」を実施して、多くの知識を身につけていきます。

9月～冬期講習 ▶ 近現代欧米史・近現代アジア史・アフリカ史など

第二次世界大戦後の欧米史までを扱います。ここまで学習できれば世界史の全体像を把握することができます。また11～12月期と冬期講習では、欧米史を振り返りながら各国史・地域史を整理していきます。難関私大は各国史、各地域史の出題が多いですが、特に11月以降に扱う範囲は、頻出範囲でありながら、現役生はどうしても学習が手薄になりがちな単元です。これらの地域・国の歴史をしっかりと理解して知識を定着させることで、難関私大入試で高得点をとることができます。これまでの範囲と同様に難関私大入試を想定した「復習テスト」で知識を確かなものとしていきます。

秋の特別講座 ▶ 東南アジア史・朝鮮史特講

世界史の学習はつい中国史や欧米史に偏りがちになってしまいがちですが、大学入試では東南アジア、朝鮮半島などのアジア諸地域に関する様々なテーマ史が必ず出題されます。これらの範囲は、手つかずであったり、苦手意識を持ったりする受験生が多いですが、必要な知識をきちんと整理していけば効果的に得点源に変えてゆくことができます。この講座では、一見難しそうなお東南アジア史・朝鮮史を、既習の中国史などと関連付けて簡潔にまとめていきます。

年末年始 ▶ 私大・共通テスト世界史 [苦手分野トップ5]

研伸館の世界史講座受講者全員に、苦手な時代・地域のアンケートを行い、その結果に基づいて演習と解説講義を行います。多くの受験生が苦手になっている単元を短期間で強化することで、難関私大はもちろん、共通テストでもライバルたちに差をつけることができます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			古代史	中世史	近世史	近代史	近現代・現代	地域
3月期	第1回	中国史①(黄河文明～殷・周)	●					中国
	第2回	中国史②(秦・漢帝国)	●					中国
	第3回	中国史③(魏晉南北朝時代～隋・唐)		●				中国
春期講習		中国史④(五代十国時代・宋)			●			中国
		中国史⑤(モンゴル帝国と元)			●			中国
		中国史⑥(明)			●			中国
		中国史⑦(18世紀までの清)			●			中国
4月期	第1回	中世ヨーロッパ史①		●				ヨーロッパ
	第2回	中世ヨーロッパ史②		●				ヨーロッパ
	第3回	中世ヨーロッパ史③		●				ヨーロッパ
5月期	第1回	中世ヨーロッパ各国史		●				ヨーロッパ
	第2回	ルネサンス・大航海時代			●			ヨーロッパ
	第3回	宗教改革・宗教戦争			●			ヨーロッパ
6月期	第1回	絶対王政①			●			ヨーロッパ
	第2回	絶対王政②			●			ヨーロッパ
	第3回	絶対王政③			●			ヨーロッパ
7月期	第1回	アメリカ独立革命				●		欧米
	第2回	フランス革命				●		欧米
	第3回	ナポレオン時代				●		欧米
夏期講習 [19世紀の欧米史]		産業革命・19世紀のイギリス				●		欧米
		ウィーン体制・19世紀のフランス				●		欧米
		19世紀のイタリア・ドイツ				●		欧米
		19世紀のアメリカ				●		欧米
		19世紀のロシア				●		欧米
夏期講習 [20世紀の欧米史]		帝国主義時代				●		欧米
		第一次世界大戦前夜				●		欧米
		第一次世界大戦				●		欧米
		ロシア革命				●		欧米
	ヴェルサイユ体制・戦間期の欧米				●		欧米	
夏期講習[イスラーム史特講]		成立～18世紀までのイスラーム史(オンデマンド講座)	●	●	●			西アジア
夏期講習[世界文化史特講]		欧米・中国の文化史	●	●	●	●		欧米・中国
9月期	第1回	世界恐慌とナチス					●	欧米
	第2回	第二次世界大戦					●	欧米
	第3回	米ソ冷戦					●	欧米
10月期	第1回	戦後の欧米各国史①					●	欧米
	第2回	戦後の欧米各国史②					●	欧米
	第3回	近現代中国史①				●		中国
秋の特別講座		東南アジア史・朝鮮史特講(オンデマンド講座)	●	●	●	●		東南アジア・東アジア
11月期	第1回	近現代中国史②				●	●	中国
	第2回	近現代中国史③				●	●	中国
	第3回	近現代インド史				●	●	南アジア
12月期	第1回	近現代西アジア史①			●	●	●	西アジア
	第2回	近現代西アジア史②			●	●	●	西アジア
	第3回	アフリカ史	●	●	●	●	●	アフリカ
冬期講習		琉球史・台湾史・近現代朝鮮史			●	●	●	東アジア
		近現代東南アジア史①				●	●	東南アジア
		近現代東南アジア史②				●	●	東南アジア
		ラテンアメリカ史・オセアニア史	●	●	●	●	●	ラテンアメリカ・オセアニア
年末年始特別講座		私大・共通テスト世界史【苦手分野TOP5】	事前アンケートによって決定					
直前講習		最終チェック講義	●	●	●	●	●	総合
		ファイナル演習	●	●	●	●	●	総合

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3共通テスト世界史

講座案内 国公立文系はもちろん、世界史の学習にあまり時間をかけたくないという国公立理系志望者にもうってつけの講座です。世界史探究は、暗記すべき用語の数が多く、さらに時代別の“流れ（タテ）”と地域別の“つながり（ヨコ）”が複雑に絡み合っており、独学では高得点が取りにくい科目です。この講座で時代別の“流れ”と地域別の“つながり”を簡潔かつ効率的に学習することで、世界史全体の理解を深めた上で必要な知識を増やし、共通テストで問われる資料（史料）問題や地図問題、出来事の並べ替え問題など思考力を必要とする問題にも対応できる力をつけることができます。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、一橋大学、大阪大学、神戸大学、大阪公立大学など

使用教材 【テキスト】『高3世界史 体系化する世界史』 【問題集】『WORLD CONQUEST』

指導内容と目的

3月～7月 ▶ 中国史・中世～近代欧米史

3月期・春期講習は清朝最盛期までの中国王朝史を、4～7月期は中世から近代の欧米史を扱います。共通テストにおいては、細かな用語を覚えることよりも、各時代の特徴などが問われる傾向があるため、まずは各時代の特徴の理解に重きを置き、資料・史料に対応出来る歴史的な思考力を養っていきます。月に1回実施される「復習テスト」では、共通テスト形式の問題に挑戦することで実践力も身につけていくことができます。

夏期講習 ▶ 近現代欧米史

19世紀から第一次世界大戦後までの欧米史を扱います。共通テストでは、近代以降の歴史からの出題がよく出題され、またグラフなどを用いた問題も出題されるため、政治はもちろん、経済・社会などにおいても正確な理解と思考力が必要となります。また「復習テスト」や「重要年代暗記テスト」で、共通テストで高得点をとるために必要な知識も養っていきます。

9月～冬期講習 ▶ 近現代～現代欧米史、近代～現代のアジア、アフリカ史など

第二次世界大戦後の世界では、“1950年代は〇〇の時期”といった時代ごとの特徴の理解が重要になります。ここまで学習できれば欧米史を軸とする世界史の全体像をつかむことができます。11～12月期と冬期講習では、欧米史を振り返りながら各国史・地域史を整理していきます。各国史・地域史では、流れ（タテ）を確認し、つながり（ヨコ）を整理しながら重要事項への理解を深めていきます。また「復習テスト」などの演習で思考力を養っていきます。

秋の特別講座 ▶ 東南アジア史・朝鮮史特講

世界史の学習はつい中国史や欧米史に偏りがちになってしまいがちですが、大学入試では東南アジア、朝鮮半島などのアジア諸地域に関する様々なテーマ史が必ず出題されます。これらの範囲は、手つかずであったり、苦手意識を持ったりする受験生が多いですが、必要な知識をきちんと整理していけば効果的に得点源に変えてゆくことができます。この講座では、一見難しそうな東南アジア史・朝鮮史を、既習の中国史などと関連付けて簡潔にまとめていきます。

年末年始 ▶ 私大・共通テスト世界史 [苦手分野トップ5]

研伸館の世界史講座受講者全員に、苦手な時代・地域のアンケートを行い、その結果に基づいて演習と解説講義を行います。多くの受験生が苦手としている単元を短期間で強化することで、難関私大はもちろん、共通テストでもライバルたちに差をつけることができます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			古代史	中世史	近世史	近代史	近現代・現代	地域
3月期	第1回	中国史①(黄河文明～殷・周)	●					中国
	第2回	中国史②(秦・漢帝国)	●					中国
	第3回	中国史③(魏晉南北朝時代～隋・唐)		●				中国
春期講習		中国史④(五代十国時代・宋)			●			中国
		中国史⑤(モンゴル帝国と元)			●			中国
		中国史⑥(明)			●			中国
		中国史⑦(18世紀までの清)			●			中国
4月期	第1回	中世ヨーロッパ史①		●				ヨーロッパ
	第2回	中世ヨーロッパ史②		●				ヨーロッパ
	第3回	中世ヨーロッパ史③		●				ヨーロッパ
5月期	第1回	中世ヨーロッパ各国史		●				ヨーロッパ
	第2回	ルネサンス・大航海時代			●			ヨーロッパ
	第3回	宗教改革・宗教戦争			●			ヨーロッパ
6月期	第1回	絶対王政①			●			ヨーロッパ
	第2回	絶対王政②			●			ヨーロッパ
	第3回	絶対王政③			●			ヨーロッパ
7月期	第1回	アメリカ独立革命				●		欧米
	第2回	フランス革命				●		欧米
	第3回	ナポレオン時代				●		欧米
夏期講習 [19世紀の欧米史]		産業革命・19世紀のイギリス				●		欧米
		ウィーン体制・19世紀のフランス				●		欧米
		19世紀のイタリア・ドイツ				●		欧米
		19世紀のアメリカ				●		欧米
		19世紀のロシア				●		欧米
夏期講習 [20世紀の欧米史]		帝国主義時代				●		欧米
		第一次世界大戦前夜				●		欧米
		第一次世界大戦				●		欧米
		ロシア革命				●		欧米
	ヴェルサイユ体制・戦間期の欧米				●		欧米	
夏期講習[イスラーム史特講]		成立～18世紀までのイスラーム史(オンデマンド講座)	●	●	●			西アジア
夏期講習[世界文化史特講]		欧米・中国の文化史	●	●	●	●		欧米・中国
9月期	第1回	世界恐慌とナチス					●	欧米
	第2回	第二次世界大戦					●	欧米
	第3回	米ソ冷戦					●	欧米
10月期	第1回	戦後の欧米各国史①					●	欧米
	第2回	戦後の欧米各国史②					●	欧米
	第3回	近現代中国史①				●		中国
秋の特別講座		東南アジア史・朝鮮史特講(オンデマンド講座)	●	●	●	●		東南アジア・東アジア
11月期	第1回	近現代中国史②				●	●	中国
	第2回	近現代中国史③				●	●	中国
	第3回	近現代インド史				●	●	南アジア
12月期	第1回	近現代西アジア史①			●	●	●	西アジア
	第2回	近現代西アジア史②			●	●	●	西アジア
	第3回	アフリカ史	●	●	●	●	●	アフリカ
冬期講習		共通テスト世界史総合演習+(琉球史・台湾史・近現代朝鮮史)			●	●	●	東アジア
		共通テスト世界史総合演習+(近現代東南アジア史①)				●	●	東南アジア
		共通テスト世界史総合演習+(近現代東南アジア史②)				●	●	東南アジア
		共通テスト世界史総合演習+(ラテンアメリカ史・オセアニア史)	●	●	●	●	●	ラテンアメリカ・オセアニア
年末年始特別講座		私大・共通テスト世界史 [苦手分野トップ5]	事前アンケートによって決定					
直前講習		最終チェック講義	●	●	●	●	●	総合
		ファイナル演習	●	●	●	●	●	総合

高3

英語

数学

国語

理科

社会

高3共通テスト地理

講座案内 3月から夏期講習までで系統地理分野を扱い、9月から12月までで世界地誌分野を扱い、冬期講習では総合演習を行います。受講生には『鉄壁地理問題集』が配布されるので、毎週講義を受けた後には、センター試験・共通テスト・試行調査の過去問で構成されている問題を解くことで実践力を上げていくことができます。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、国公立大医学部医学科など

使用教材 【テキスト】『高3共通テスト地理〈系統地理編〉』、『高3共通テスト地理〈世界地誌編〉』
【問題集】『鉄壁地理問題集〈系統地理編〉』、『鉄壁地理問題集〈世界地誌編〉』

指導内容と目的

3月～夏期 ▶ 系統地理分野

共通テストでは配点の約8割を占める系統地理分野を扱います。系統地理分野は地理的思考を必要とする出題が多く、得点力を上げるには時間がかかります。しかし、出題の傾向を知り尽くした講師の授業を受け、分野別に分かれた問題集で演習を重ねることで、素早く地理的思考力を上げていくことができます。

9月～12月 ▶ 世界地誌分野

共通テストでは配点の2割を占める世界地誌分野を扱います。約2割と言っても侮ってはいけません。世界の様々な地理的事象に明るくなってこそ、系統地理分野の得点力も相乗的に上がっていくのです。『鉄壁地理問題集』で演習を重ねながら、忘れゆく系統地理分野の復習をしつつ、世界地誌分野も盤石にし、地理の総合力を上げていくことができます。

冬期・直前講習 ▶ 実践演習

冬期講習では総合分野における実践演習を行います。直前期には系統地理分野・世界地誌分野すべてで得点力を上げなければなりません。偏った学習ではなく、総合演習が必要です。やや高度なレベルの問題演習を通じて、共通テスト特有の攻め方を学ぶことができ、統計データの再確認なども行えます。過去問や共通テスト模試の問題集などで高得点で安定する力をつけることができます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

3月期	第1回	人口	人口	系統地理	単元導入
	第2回	人種・民族	人種・民族	系統地理	単元導入
	第3回	都市	都市	系統地理	単元導入
春期講習		大地形	地形①	系統地理	単元導入
		小地形I	地形②	系統地理	単元導入
		小地形II	地形③	系統地理	単元導入
		村落	地形④	系統地理	単元導入
4月期	第1回	大気の大循環	気候①	系統地理	単元導入
	第2回	水の循環	気候②	系統地理	単元導入
	第3回	ケッペンの気候区分・土壌・植生	気候③	系統地理	単元導入
5月期	第1回	様々な作物・プランテーション農業	農林水産業①	系統地理	単元導入
	第2回	新大陸の農牧業	農林水産業②	系統地理	単元導入
	第3回	ヨーロッパの農牧業	農林水産業③	系統地理	単元導入
6月期	第1回	アジアの農牧業	農林水産業④	系統地理	単元導入
	第2回	林業・水産業	農林水産業⑤	系統地理	単元導入
	第3回	貿易・通信	貿易・通信	系統地理	単元導入
7月期	第1回	図法・交通・世界の諸地域の生活と文化	図法・交通など	系統地理	単元導入
	第2回	演習（都市・城下町・大地形）	都市・地形	系統地理	実践演習
	第3回	国家・余暇活動	国家・余暇活動	系統地理	単元導入
夏期講習		鉱産資源の位置、エネルギー、発電	鉱工業①	系統地理	単元導入
		アメリカ合衆国・ヨーロッパの鉱工業	鉱工業②	系統地理	単元導入
		アジアの鉱工業	鉱工業③	系統地理	単元導入
		環境問題	環境問題	系統地理	単元導入
		日本の鉱工業	鉱工業④	系統地理	実践演習
9月期	第1回	東アジア	アジア①	世界地誌	単元導入
	第2回	東南アジア	アジア②	世界地誌	単元導入
	第3回	南・西アジア	アジア③	世界地誌	単元導入
10月期	第1回	アフリカ	アフリカ	世界地誌	単元導入
	第2回	ヨーロッパⅠ	ヨーロッパⅠ	世界地誌	単元導入
	第3回	ヨーロッパⅡ	ヨーロッパⅡ	世界地誌	単元導入
秋の特別講座		ロシア&中央アジア	ヨーロッパ③	世界地誌	単元導入
		< OD > 図表・統計・グラフ問題の解き方徹底説明	総合	総合	実践演習
11月期	第1回	アングロアメリカ	新大陸①	世界地誌	単元導入
	第2回	ラテンアメリカ	新大陸②	世界地誌	単元導入
	第3回	オセアニア・南極	新大陸③	世界地誌	単元導入
12月期	第1回	日本の地形・気候・農牧業	日本①	世界地誌	単元導入
	第2回	日本の鉱工業・貿易	日本②	世界地誌	単元導入
	第3回	日本の人口・都市・商業	日本③	世界地誌	単元導入
冬期講習		総合演習Ⅰ（気候・農牧業）	総合	総合	実践演習
		総合演習Ⅱ（人種民族・日本分野）	総合	総合	実践演習
		総合演習Ⅲ（鉱工業・地形）	総合	総合	実践演習
		総合演習Ⅳ（世界地誌・人口）	総合	総合	実践演習
		< OD > 世界地誌総点検	総合	世界地誌	単元導入
年末年始特別講座		< OD > 演習&解説で学ぶ重要単元攻略テクニック【日本分野】	日本	系統地理	実践演習
		共通テスト地理トライアル【怒涛の総合演習】	総合	総合	実践演習
直前講習		ファイナル演習			

< OD > オンデマンド講座

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3論述地理【9月期～】

講座案内 様々な難関大学の良問を解くことで、ほぼすべてのパターンの論述問題にあたり、入試本番でどんな問題が出題されたとしても解きこなしていく真の地理力を養成します。なお、夏期講習までは「高3共通テスト地理」を受講し、基礎的な内容をマスターしておくことを推奨します。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、大阪大学、一橋大学など

使用教材 『論述地理マイスター』

指導内容と目的

夏期講習 ▶

「高3東大地理特講」が開講されます。「東大」と銘打っていますが京都大学志望者や、一橋大学志望者も受講してください。東京大学や京都大学の問題を予習してもらい、解説を行います。東大でも京大でも系統地理分野の出題が多いため、夏期講習のこの時期は系統地理分野のみを行い、得点力を上げていきます。「何を書いたら点数になるのか」といった答案作成の基準などもお伝えしていきます。

9月～12月 ▶

毎回7～8問程度の予習を行ってもらい、その問題に対する解説を行い、さらには派生する知識を身につけていきます。最新の傾向を反映しやすい東京大学や京都大学への対策として、時事問題にも積極的に触れていきます。典型的な問題にも、また新傾向の問題にも解答できる実力がついていきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

夏期講習		高3 東大地理特講① 気候・環境問題	自然環境	系統地理	単元発展
		高3 東大地理特講② 農牧業	農牧業	系統地理	単元発展
		高3 東大地理特講③ 鉱工業	鉱工業	系統地理	単元発展
		高3 東大地理特講④ 都市・人口	都市・人口	系統地理	単元発展
		高3 東大地理特講⑤ 東大型実践演習	総合	系統地理	実践演習
9月期	第1回	世界の都市・人口	都市・人口①	系統地理	単元発展
	第2回	日本の都市・人口	都市・人口②	系統地理	単元発展
	第3回	自然環境	自然環境	系統地理	単元発展
10月期	第1回	農牧業I	農牧業①	系統地理	単元発展
	第2回	農牧業II	農牧業②	系統地理	単元発展
	第3回	世界の鉱工業	鉱工業①	系統地理	単元発展
11月期	第1回	日本の鉱工業	鉱工業②	系統地理	単元発展
	第2回	地形図I	地形①	系統地理	単元発展
	第3回	地形図II	地形②	系統地理	単元発展
12月期	第1回	国家	国家	系統地理	単元発展
	第2回	世界地誌I (南・西アジア)	世界地誌①	世界地誌	単元発展
	第3回	世界地誌II (ロシア&中央アジア)	世界地誌②	世界地誌	単元発展
直前講習		ファイナル演習			

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

高3共通テスト地理演習【9月期～】

講座案内 共通テストの地理では、受験生が見たこともないような図やグラフが示され、その意味するところを正しく読み解き、解答を導くような問題が主流です。こうした問題を解けるようになるためには、ただ知識を得るのみならず、得た知識を問題に正しく当てはめる練習を積み重ねなければなりません。本講座では、過去の共通テストやセンター試験の良問を用いた演習を行い、設問の根底にある基礎知識を概説したうえで、それらの知識を設問に活用する方法を伝授します。共通テストで8割、9割を突破できる実力を9月期からの短期間で養成していきます。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、国公立大医学部医学科など

使用教材 『鉄壁地理問題集《系統地理編》』、『鉄壁地理問題集《世界地誌編》』

指導内容と目的

9月～12月 ▶

毎週テーマごとに共通テストやセンター試験の過去問演習＆解説を行います。最初の6回で系統地理分野を扱い、後半の6回で世界地誌分野を扱います。共通テスト地理の問題は教科書や参考書を読んだだけでは高得点は狙えません。様々なパターンの問題に触れ、様々な解き方を学ぶことが、高得点への近道となります。この講座を受講することで典型的な問題だけでなく、初めて見るような問題に対しても正解できる地理力がついていきます。

冬期講習 ▶

冬期講習ではある程度広い範囲で演習＆解説を行っていきます。テーマごとの力は9月～12月で付いていたとしても、どのテーマか分からない、もしくはいくつかのテーマが融合した問題では正解できない可能性があります。この不安定な段階を脱するため、様々なテーマの問題を解いてもらいます。初日は気候／農牧業、2日目は人種・民族／日本分野、3日目は鉱工業／地形、4日目は世界地誌／人口となります。この4日間で、全テーマに対応できる高度な地理力がついていきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		系統地理	世界地誌
夏期講習		●	
9月期	第1回	●	
	第2回	●	
	第3回	●	
10月期	第1回	●	
	第2回	●	
	第3回	●	
秋の特別講座			●
11月期	第1回	●	●
	第2回		●
	第3回		●
12月期	第1回		●
	第2回		●
	第3回		●
冬期講習	総合演習I (気候・農牧業)	●	
	総合演習II (人種民族・日本分野)	●	
	総合演習III (鉱工業・地形)	●	
	総合演習IV (世界地誌・人口)	●	●
	< OD > 世界地誌総点検		●
	< OD > 演習&解説で学ぶ重要単元攻略テクニック【日本分野】	●	
年末年始特別講座	共通テスト地理トリアル【怒濤の総合演習】	●	●
直前講習	ファイナル演習	●	●

< OD > オンデマンド講座

高
3

英
語

数
学

国
語

理
科

社
会

< OD > 速習講義 共通テスト歴史総合

講座案内 計20回（1回あたり40分～50分程度）の映像講義です。「令和7年度大学入学共通テスト 試作問題」における歴史総合の入試問題では、単に歴史用語や年号などを問う設問よりも、それぞれの事件の持つ意義やもたらした影響、事件同士の因果関係などを問う設問が主流となっています。こうした設問を解けるようにするため、本講義では歴史用語の暗記に終始せず、歴史上の事件の意義・因果に重点を置いて解説を行います。動画の再生時には「この事件はどのような意義を持つのか?」「次は何が起こるのか?」と、常に思考をフル回転させて視聴しましょう。

使用教材 【テキスト】『共通テスト歴史総合』

指導内容と目的

第1回～第5回 ▶ 19世紀までの世界と日本

近世から近代へ、16世紀から19世紀の終わりに至るまでの約400年間を扱います。日本が江戸幕府の統治下で対外管理政策を敷いていた時代、世界ではどのようにして「近代化」が起きていたのか。世界の変化を目の当たりにした開国後の日本は、どのようにして「近代化」を成し遂げたのかを理解できるようになります。

第6回～第12回 ▶ 20世紀（戦前）の世界と日本

20世紀に突入してから、第二次世界大戦が終結するまでの時代を扱います。第一次世界大戦後に築かれた国際協調体制は、1929年の世界恐慌を機に動揺し、再び世界を世界大戦へと導きます。こうした中での欧米諸国の動向、日本の大戦へのかかわり方や国内政治の様子を理解できるようになります。

第13回～第20回 ▶ 20世紀（戦後）の世界と日本

第二次世界大戦終結から現代までを扱います。冷戦が本格的に展開し、世界が核戦争の脅威にさらされる中、敗戦から立ち直って高度経済成長へと突入し、国際社会の中での役割を模索する日本の姿、冷戦終結後の中国やEUの拡大と、それに並行して進行するグローバル化の中における現代世界の諸課題について理解できるようになります。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			日本史分野	世界史分野
19世紀までの世界と日本	第1回	アジア諸地域の繁栄・主権国家体制の形成	●	●
	第2回	産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命		●
	第3回	19世紀の欧米諸国		●
	第4回	19世紀のアジア・日本の開国	●	●
	第5回	明治維新	●	
20世紀（戦前）の世界と日本	第6回	立憲体制の成立と日清戦争	●	
	第7回	帝国主義と列強の対立・日露戦争		●
	第8回	第一次世界大戦	●	●
	第9回	アジア・アフリカの民族運動		●
	第10回	世界恐慌とファシズムの台頭	●	●
	第11回	第二次世界大戦		●
	第12回	満州事変から終戦までの日本	●	
20世紀（戦後）の世界と日本	第13回	戦後の国際秩序と冷戦		●
	第14回	占領下の日本と日本の独立	●	
	第15回	冷戦期の集団防衛体制と核開発・米ソ関係の変化		●
	第16回	西ヨーロッパの復興・第三世界の台頭		●
	第17回	55年体制の確立と高度経済成長	●	
	第18回	キューバ危機と核軍縮・冷戦の終結・ソ連の崩壊		●
	第19回	1970年代以降の国際情勢		●
	第20回	1990年代以降の日本・現代の諸課題	●	●

< OD > 速習講義 共通テスト地理総合

講座案内 計20回(1回あたり40分～50分程度)の映像講義です。「令和7年度大学入学共通テスト 試作問題」における地理総合の入試問題では、地理の基礎知識を活用しながら、豊富な情報量を誇る地図・資料を読み、解答を導く問題が数多く出題されました。こうした問題を解くには、深い思考力や考察力も必要ですが、思考や考察の土台となる基礎知識の摂取も欠かせません。そこで本講義では、地理総合各単元の基礎知識を地図や統計資料なども交えて徹底講義。基礎知識が網羅されることはもちろん、「この地図や統計は何を意味するのか?」といった思考力・考察力をも短時間で養成していきます。

使用教材 【テキスト】『共通テスト地理総合』

指導内容と目的

第1回～第10回 ▶ 系統地理編

第1回から第10回までは、交通・通信・貿易・農牧業・鉱工業・人種民族などの人文地理分野と、地形や気候といった自然地理分野からなる系統地理を扱います。共通テストの地理総合で出題されるあらゆる基礎知識を素早く、かつ確実に網羅していきます。

第11回～第17回 ▶ 世界地誌編

試作問題第3問「生活文化の多様性」で出題された食糧生産の分布図を用いた問題や伝統料理の写真問題では、特にアジア地域における気候・農牧業・人種民族や宗教などの総合的な理解が求められました。第11回～第17回では、第10回までで学んだ系統地理的内容を活用して、アジア・ヨーロッパなどの地域を細かく学ぶことで、これらの問題を解けるようにするのみならず、系統地理分野の復習も併せて行い、より盤石な実力を築いていくことを目指します。

第18回～第20回 ▶ 現代世界の諸課題編

環境問題や人口・食料問題をはじめとした現代世界の諸課題について学んでいきます。加えて最終回では、試作問題第2問「自然環境と防災」の出題内容に直結する日本の自然環境と防災を取り扱い、共通テスト本番で40点以上を獲得するための実力を養成します。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		人文地理分野	自然地理分野
系統地理編	第1回	図法・主題図・グラフ	●
	第2回	交通・通信・貿易	●
	第3回	国家・観光	●
	第4回	大地形	●
	第5回	小地形	●
	第6回	気候I	●
	第7回	気候II	●
	第8回	農林水産業	●
	第9回	鉱工業・商業	●
	第10回	人種・民族・宗教・言語	●
世界地誌編	第11回	東アジアとASEAN 諸国	●
	第12回	南アジアとイスラーム圏	●
	第13回	アフリカ	●
	第14回	EUと周辺諸国	●
	第15回	ロシア	●
	第16回	アングロアメリカ	●
	第17回	ラテンアメリカとオセアニア	●
現代世界の諸課題編	第18回	環境問題・資源エネルギー問題	●
	第19回	人口・食料問題／居住・都市問題	●
	第20回	日本の自然環境と防災	●

< OD > 速習講義 共通テスト倫理

講座案内 20分×20回の映像講義で、倫理分野の土台を作ります。東洋史・西洋史の重要人物を題材として、それぞれの人物がどんなことを考え、何を主張したのか。押さえておかなければならないポイントは何かを確認します。この講義の動画を見るにあたって、予習をする必要はありません。講義内容をノートにまとめながら学習を進めてください。共通テスト倫理で高得点をとるための学習はここから始めましょう。

この講座からの合格大学 京都大学、大阪大学、神戸大学、大阪公立大学など

指導内容と目的

第1回～第10回 ▶ 倫理分野（東洋史編）の重要人物 10人

共通テスト倫理のうち、東洋史の重要人物をとりあげ、考え方の違いなどを講義します。飛鳥・奈良・平安・鎌倉の仏教の違い、江戸時代の学問・思想、日本におけるキリスト教の発展、天賦人権論などを、人物とともに解説し、基本的な知識の確認を行っていきます。

第1回～第10回 ▶ 倫理分野（西洋史編）の重要人物 10人

共通テスト倫理のうち、西洋史の重要人物をまとめていきます。ギリシア哲学に始まり、デカルトやカントからニーチェ、ハイデッカーなどの現代哲学までの要点を整理していきます。また西洋史だけでなく、仏教やイスラーム教、儒教や道教などを、人物とともに解説し、基本的な知識の確認を行っていきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		人物	宗教	学問・思想
東洋史編	第1回	聖徳太子	●	
	第2回	空海・最澄	●	
	第3回	法然・親鸞・道元・日蓮	●	
	第4回	中江藤樹・山鹿素行・伊藤仁斎・荻生徂徠	●	●
	第5回	本居宣長・賀茂真淵・塙保己一・平田篤胤	●	●
	第6回	安藤昌益・石田梅岩	●	●
	第7回	福沢諭吉・加藤弘之・中村正直・西周・津田真道	●	●
	第8回	中江兆民	●	●
	第9回	内村鑑三・新渡戸稲造・新島襄	●	●
	第10回	夏目漱石・森鷗外	●	●

		人物	宗教	哲学・思想
西洋史編	第1回	ソクラテス・プラトン・アリストテレス	●	●
	第2回	イエス・ムハンマド・ブッダ	●	●
	第3回	孔子・老子・荘子	●	●
	第4回	ルネサンスとモラリスト	●	●
	第5回	ルター・カルヴァン	●	●
	第6回	ベーコン・デカルト	●	●
	第7回	ホッブズ・ロック・ルソー	●	●
	第8回	カント・ヘーゲル	●	●
	第9回	マルクス・エンゲルス	●	●
	第10回	キルケゴール・ニーチェ・ハイデッカーなど	●	●

< OD > 速習講義 共通テスト政治・経済

講座案内 計20回(1回あたり20～30分程度)の映像講義で、共通テストの「政治・経済」で必要とされる基礎的な学力を養成します。政治・経済は私たちにとって身近な学問ですが、いざ入試問題を解くとすると意外と理解できていないことが多いものです。この講座では政治・経済の重要テーマをできるだけコンパクトにまとめて講義していますので、政治・経済の学習の第一歩として活用してください。視聴にあたって予習は不要です。テキストを使って講義を何度も視聴して、知識を定着させていってください。

この講座からの合格大学 京都大学・大阪大学・神戸大学・大阪公立大学など

使用教材 【テキスト】「共通テスト政治・経済」

指導内容と目的

第1回～第10回 ▶ 政治分野の重要テーマ10

共通テストの政治・経済のうち、政治分野の重要テーマをまとめていきます。民主政治の基本原理に始まり、日本国憲法の中で大切にされている基本的人権や選挙制度、また世界の政治情勢にも触れていきます。

第1回～第10回 ▶ 経済分野の重要テーマ10

共通テストの政治・経済のうち、経済分野の重要テーマをまとめていきます。経済思想に始まり、市場経済の仕組み、日本経済の歴史と諸問題、国際経済の流れなどの要点を整理していきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		人物	日本	世界
政治編	第1回	民主政治の基本原則①	●	●
	第2回	民主政治の基本原則②	●	●
	第3回	日本国憲法と基本的人権①		●
	第4回	日本国憲法と基本的人権②		●
	第5回	平和主義と日本の安全保障		●
	第6回	日本の政治機構①		●
	第7回	日本の政治機構②		●
	第8回	現代の国際政治①		●
	第9回	現代の国際政治②		●
	第10回	現代の国際政治③		●

		経済理論	国内経済	国際経済
経済編	第1回	経済思想	●	
	第2回	市場経済①	●	
	第3回	市場経済②	●	
	第4回	戦後～現在の日本経済		●
	第5回	農業・消費者問題		●
	第6回	労働問題		●
	第7回	社会保障		●
	第8回	国際経済①		●
	第9回	国際経済②		●
	第10回	国際経済③		●

< OD > 速習講義 共通テスト公共

講座案内 計20回（1回あたり30分程度）の映像講義で、共通テストの公共で必要とされる学力を養成することができます。公共は、私たちの生活に身近な政治・経済に加え、思想などについても幅広く学ぶ科目です。この講座では「公共」の重要テーマをできるだけコンパクトにまとめて講義していますので、学習の第一歩として活用してください。視聴にあたって予習は不要です。講義の要点はあらかじめテキストにまとめていますので、まずはしっかりと社会の仕組みや思想の内容などを「理解」することを意識して視聴してください。

使用教材 【テキスト】『共通テスト公共』

指導内容と目的

第1回～第5回 ▶ 倫理分野の重要テーマ

共通テストの公共のうち、倫理分野の重要テーマについて学びます。現在の政治・経済・社会などのあり方に大きな影響を与えている様々な思想の特徴について理解することができます。

第6回～第15回 ▶ 日本の政治・経済分野の重要テーマ

共通テストの公共のうち、日本の政治・経済分野の重要テーマについて学びます。現在の日本の政治・経済・社会の具体的な仕組みや問題点などについて理解することができます。

第16回～第20回 ▶ 国際政治・経済分野の重要テーマ

共通テストの公共のうち、国際政治・経済分野の重要テーマについて学びます。現在の国際政治・経済の具体的な仕組みや課題などを理解することができます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		倫理分野	国内政治・経済分野	国際政治・経済分野
倫理分野	第1回	青年期と社会	●	
	第2回	古代ギリシアの思想	●	
	第3回	世界の宗教、中国の思想	●	
	第4回	近現代の西洋思想I	●	
	第5回	近現代の西洋思想II	●	
政治・経済分野	第6回	国家と人権、世界各国の政治制度		●
	第7回	日本国憲法I	●	
	第8回	日本国憲法II	●	
	第9回	国会・内閣・裁判所	●	
	第10回	地方自治・選挙・政党政治・行政の諸課題	●	
	第11回	経済思想、市場の仕組み		●
	第12回	企業・国民所得・景気変動と経済成長	●	
	第13回	金融の仕組み・財政と租税	●	
	第14回	日本経済のあゆみ・中小企業・農業・消費者問題	●	
	第15回	社会保障・労働問題・環境問題	●	
	第16回	主権国家と安全保障・国際連合・冷戦		●
	第17回	核軍拡競争と核軍縮・世界の紛争		●
	第18回	自由貿易と保護貿易・国際収支・為替相場		●
	第19回	国際経済の動向		●
	第20回	南北問題、貿易摩擦、日本のODA、地球的課題		●

